Android 用 Citrix Workspace™ アプリ

Android 用 Citrix Workspace アプリは、外出先からタブレットや電話で以下にアクセスできます。

- 仮想アプリと仮想デスクトップ。
- デスクトップコンピューターの代替として、タブレットを低負荷で使用するためのタッチ対応アプリ。

Android 用 Citrix Workspace アプリを更新またはインストールする推奨される方法は、Android デバイスを使用してGoogle Playから行うことです。新しいバージョンが利用可能になると、自動更新が許可されます。

Android 用 Citrix Workspace アプリで利用可能な機能については、Citrix Workspace アプリの機能マトリックスを参照してください。

機能、修正された問題、既知の問題に関する詳細については、このリリースについてのページを参照してください。

非推奨の項目については、非推奨のページを参照してください。

言語サポート

Android 用 Citrix Workspace アプリは、英語以外の言語での使用に対応しています。Android 用 Citrix Workspace アプリでサポートされている言語のリストについては、言語サポートを参照してください。

参考記事

- 技術文書: Citrix Workspace アプリ クイックスタートガイド
- 技術概要: Workspace シングルサインオン
- 技術概要: Citrix Workspace アプリでのシームレスな認証オプション
- 技術概要: Citrix Workspace
- 「グローバルアプリ構成サービス」(/ja-jp/citrix-workspace/global-app-config-service)
- 開発者向けドキュメント - Citrix Virtual Channel SDK
- 開発者向けドキュメント - OEM Reference Guide

- iOS向けCitrix Workspaceアプリ
- Citrix Workspaceアプリのリリーススケジュール

関連製品の新機能

- シトリックス DaaS
- シトリックス ワークスペース
- StoreFront
- iOS版 Citrix Workspaceアプリ
- 「Workspaceユーザーインターフェイス (UI)」(/ja-jp/citrix-workspace/whats-new/whats-new-workspace-user-experience)

レガシードキュメント

サポート終了（EOL）に達した製品リリースについては、レガシードキュメントを参照してください。

このリリースについて

新機能、機能強化、修正された問題、既知の問題について説明します。

> **注:**
>
> - 最新バージョンに関する貴重なご意見をお聞かせください。ご意見は、**設定** > **問題の報告** に移動して提供できます。詳細ログとスクリーンショットの両方をここから共有できます。
> - テクニカルプレビューの機能をお探しですか？それらを1か所で見つけられるようにリストをまとめました。テクニカルプレビューの機能 ページをご覧になり、添付のGoogle フォームリンクを使用してフィードバックを共有してください。

26.7.0 の新機能

このリリースには、次の新機能と機能強化が含まれています。

- セッションツールバーエクスペリエンスの改善
- 2本指での水平スクロールのサポート
- Samsung DeX での One UI 8 のサポート
- グラフィック設定の使いやすさと自動同期の改善
- パスワードなしサインインのためのセッション内 **FIDO2** パスキーのサポート
- 非推奨のお知らせ

セッションツールバーエクスペリエンスの改善

Android 用 Citrix Workspace アプリは、Android タブレットとスマートフォンでの視覚的な一貫性と使いやすさを向上させることで、セッションツールバーのエクスペリエンスを改善します。アプリケーションの更新には、新しいツールバーノッチとキーパッドアセットが含まれます。ツールバーはすべてのタブレットの向きで一貫して機能し、セッション内キーボードとツールバー間の相互作用も改善され、シームレスなエクスペリエンスが提供されます。

2本指での水平スクロールのサポート

Android版Citrix Workspaceアプリが、トラックパッドでの2本指による水平スクロールをサポートするようになりました。

Samsung DeXでのOne UI 8のサポート

Android版Citrix Workspaceアプリは、Samsung One UI 8の外部ディスプレイDeX（Desktop eXperience）画面で、Samsung DeXでのシングルセッションにおけるデスクトップのようなエクスペリエンスをサポートするための機能強化およびディスプレイの拡張機能をサポートするようになりました。

グラフィック設定の使いやすさの向上と自動同期

Android版Citrix Workspaceアプリは、グラフィック設定の使いやすさを向上させ、ネイティブAndroid OSのディスプレイおよびDPI（Dots per Inch）の変更との自動同期を可能にします。詳しくは、「グラフィックとディスプレイ」を参照してください。

パスワードなしサインインのためのセッション内FIDO2パスキーのサポート

Android版Citrix Workspaceアプリは、HDX仮想アプリおよびデスクトップ内でのパスワードなしサインインのために**FIDO2**パスキーをサポートするようになりました。この機能強化には、クロスデバイス認証が含まれており、近くのデバイス（たとえば、Bluetooth経由の別の電話やタブレット）を使用してサインイン要求を承認できます。この機能は、パスキーを同じAndroidデバイスに制限していた以前の機能を拡張するものです。このアップデートにより、柔軟性が向上し、フィッシング耐性のあるパスキーによるセキュリティ強化、そして使い慣れたセッション内認証エクスペリエンスが提供されます。

廃止のお知らせ

Android版Citrix Workspaceアプリ2703以降、アプリケーションは**EDT**設定を**［設定］>［詳細］>［EDT］**から削除します。管理者は、引き続き管理ポリシーを通じてEDTを管理できます。この変更により、ユーザーエクスペリエンスが簡素化され、一貫した構成が保証されます。

詳しくは、「Android版Citrix Workspaceアプリの廃止」を参照してください。

26.7.0で修正された問題

このリリースでは、修正された問題はありません。

26.7.0の既知の問題

このリリースには、新しい既知の問題はありません。

> **注:**
>
> 以前のリリースにおける問題の完全なリストについては、「既知の問題」セクションを参照してください。

以前のリリース

このセクションでは、Citrix Workspaceアプリのライフサイクルマイルストーンに従ってサポートされている以前のリリースにおける新機能と修正された問題に関する情報を提供します。

26.3.10

新機能

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

修正された問題

- 自動クライアント再接続 (ACR) 中に、基になるセッションウィンドウが透過になり、アプリのアクティビティがユーザーに表示されます。
- デバイスをミラーモードで外部モニターに接続すると、**Inspect & Connect** ダイアログが操作後も閉じません。
- 初めてストアを追加し、内部ビーコンが構成されている場合、アプリに読み込み画面が表示されることがあります。アプリにアクセスできるようになるまで、この画面が最大2分間表示されることがあります。
- セッションから起動されたソフトウェアキーボードは、その下に**Inspect & Connect** ダイアログを表示したままにする場合があります。
- Samsung DeXモードで、2番目の公開アプリケーションのセッションを起動すると、**Inspect & Connect** ダイアログが引き続き表示されたままになります。
- MDMが**settings_manual_reconnect**を**true**に設定すると、Android向けCitrix Workspaceアプリがその値を適用しない場合があります。

- クラウドストアから起動された公開リソースからログアウトした後、リソースアイコンに永続的なスピナーが表示され、その後の再起動試行が失敗します。
- 最新の起動対応ストアでは、公開されたリソースからログアウトすると、アイコンが回転し続け、再起動が妨げられます。
- One UI 8の外部DeXディスプレイでは、最初のキーの組み合わせがシステムによって無視されるため、システムショートカットのパススルーには**Alt+Tab**を2回押す必要があります。

26.3.0

新機能

以下の機能があります。

- 常時オン追跡 (AOT)
- モバイルデバイス管理 (MDM) およびグローバルアプリ構成サービス (GACS) を使用した再接続アラートのよりスマートな制御
- モバイルデバイス管理 (MDM) のネストされたJSON構成のサポート
- Windows VDAとの連携によるキーボードの自動表示/非表示機能の強化
- Secure HDXによるEDT Lossy接続のサポートの改善
- Web Interfaceのアンチキーロギングサポート
- Android版Citrix Workspaceアプリのリアルタイムキーボード設定
- 非アクティブタイムアウト時のIdPチェーンログアウト
- グローバルアプリ構成サービスおよびモバイルデバイス管理によるセッションツールバー構成
- Android 13の非推奨のお知らせ
- 従来の機能の廃止通知(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new.html#deprecation-notification-of-legacy-features)

常時オンのトレース (AOT)

Android 版 Citrix Workspace アプリは、Always On Tracing (AOT) をサポートするようになりました。これにより、ユーザーセッションとシステムイベントの診断ログが継続的にキャプチャされ、トラブルシューティングが簡素化され、Citrix サポートへの依存が軽減されます。

詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktops™ ドキュメントの「Citrix Virtual Apps and Desktops のコアコンポーネントから AOT ログをアップロードする」を参照してください。

モバイルデバイス管理 (MDM) および Global App Configuration Service (GACS) を使用した再接続アラートのよりスマートな制御

この機能により、モバイルデバイス管理 (MDM) および Global App Configuration Service (GACS) を使用して、SR/ACR の有効期限が切れた後の再接続アラートダイアログをよりスマートに制御できます。

インターネット接続が失われ、アプリが再接続を試みると、アプリはセッションの信頼性 (SR) と自動クライアント再接続 (ACR) をトリガーします。SR/ACR の有効期限が切れる前にセッションが再開されない場合、アプリはユーザーに再接続を促す **再接続アラート** ダイアログを表示します。

モバイルデバイス管理 (MDM) および Global App Configuration Service (GACS) で、この再接続アラートダイアログを制御できるようになりました。MDM および GACS ポリシーは、SR と ACR の両方が期限切れになった後にシステムが **再接続アラート** ダイアログを表示するかどうかを決定します。

詳細については、*Unified Endpoint Management ソリューションを使用した Citrix Workspace アプリの構成* の記事の「モバイルデバイス管理 (MDM) および Global App Configuration Service (GACS) を使用した再接続アラートのよりスマートな制御」を参照してください。

モバイルデバイス管理 (MDM) のネストされた JSON 構成のサポート

Android 版 Citrix Workspace アプリは、モバイルデバイス管理 (MDM) 構成用の *ネストされた JSON 構造* をサポートし、*AppConfig (appconfig.org) ガイドライン* に準拠しています。組織は、両方のプラットフォームで管理対象アプリ構成の業界標準に従って、高度なユースケース向けに構造化された階層的な構成値を定義できます。

詳細については、*Unified Endpoint Management ソリューションを使用した Citrix Workspace アプリの構成* の記事の「モバイルデバイス管理 (MDM) のネストされた JSON 構成のサポート」を参照してください。

Windows VDAとの連携によるキーボードの自動表示/非表示機能の強化

Android 版 Citrix Workspace アプリ バージョン 26.3.0 では、Windows Virtual Delivery Agent (VDA) への接続時のキーボードの自動表示/非表示動作が改善されました。この機能強化により、ユーザーの操作パターンに応答するよりインテリジェントなキーボード管理が提供され、アクティブな入力セッション中の意図しないキーボードの非表示が減少します。

以前のバージョンでは、Android 版 Citrix Workspace アプリは、ユーザーの現在の操作コンテキストに関係なく、Windows **VDA がキーボード非表示要求を送信するたびに**、画面上のキーボードをすぐに非表示にしていました。このアプローチにより、アクティブな入力セッション中にキーボー

ドが予期せず消えることがあり、ユーザーのワークフローが中断され、手動でのキーボードの再アクティブ化が必要になることがありました。

詳細については、Windows VDAでのキーボードの自動表示/非表示機能の強化を参照してください。

Secure HDXによるEDT Lossy接続のサポート強化

Citrix Workspaceアプリ for Androidには、クライアントとVirtual Delivery Agent (VDA)間の直接通信シナリオにおける**EDT (Enlightened Data Transport) lossy接続**の強化されたロジックが組み込まれました。以前は、オーディオおよびグラフィック伝送でEDT lossyを有効にするには**DTLS**が必要でした。この要件は削除され、構成が簡素化され、柔軟性が向上しました。

このアップデートにより、**Secure HDX 2.0**はlossyパケットの有効な暗号化方法として認識されるようになり、Secure HDXの使用時にDTLSへの依存がなくなりました。 この改善により、より安全で柔軟な接続エクスペリエンスが提供されます。暗号化標準がDTLSのみに依存することなく維持されるため、**HDX Direct**または**Secure HDX**構成を使用する環境に役立ちます。

Web Interfaceのアンチキーロギングサポート

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、Web Interface (カスタムポータル) 環境向けにアンチキーロギングサポートを提供するようになりました。この機能は、サインイン画面、リソース列挙画面、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsセッション中に、マルウェアキーボードやカスタムキーボードによるキーストロークのキャプチャを防ぐことで、機密情報を保護します。アンチキーロギングサポートは以前はクラウドストアおよびオンプレミスストア構成でのみ利用可能でしたが、すべてのWorkspaceアプリ環境でセキュリティを強化するために、Web Interface展開にも拡張されました。

Citrix Workspaceアプリ for Androidにおけるリアルタイムキーボード設定

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、アクティブなセッション中にキーボード設定の変更をすぐに適用できるようになり、セッションの再接続は不要になりました。この機能強化により、キーボード構成の変更を有効にするためにユーザーがセッションを切断して再接続する必要があった以前のワークフローが不要になります。

以前は、Citrix Workspaceアプリ for Androidで、キーボードレイアウト同期、外部キーボード入力モード (スキャンコード/Unicode)、その他のキーボード設定など、キーボード関連の設定を変更したユーザーは、ワークフローの中断を経験していました。これらの変更を有効にするには、現在のセッションを終了し、新しい接続を確立する必要がありました。このプロセスは生産性を妨げ、特に異なる作業コンテキストやVDA環境に合わせてキーボード構成を頻繁に調整するユーザーにとって、ユーザーエクスペリエンスに摩擦を生じさせていました。

機能の制限事項

- 変更は現在の有効なセッションに適用されます。複数の同時セッションには個別の構成が必要です。
- 一部の高度なキーボード機能では、ネットワーク状況に応じて短い同期遅延が発生する場合があります。
- 外部キーボードの検出は接続時に行われます。キーボードのホットスワップには、短い構成の更新が必要になる場合があります。

詳細については、Citrix Workspaceアプリ for Androidにおけるリアルタイムキーボード設定を参照してください。

非アクティブタイムアウト時のIdP連鎖ログアウト

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、Workspaceセッションが非アクティブのためにタイムアウトした場合に、IDプロバイダー (IdP) チェーンログアウトをサポートするようになりました。この機能強化により、非アクティブタイムアウトが発生したときにWorkspaceセッションと関連するIdPセッションの両方が終了し、ユーザーはその後のログイン試行のためにIdPで再認証する必要があります。

詳細については、「非アクティブタイムアウト時のIdPチェーンログアウト」を参照してください。

グローバルアプリ構成サービスとモバイルデバイス管理によるセッションツールバー構成

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、グローバルアプリ構成サービス (GACS) とモバイルデバイス管理 (MDM) ソリューションの両方を通じて、集中型セッションツールバー構成をサポートしています。この機能強化により、管理者はユーザーがセッション中に表示するツールバーオプションを制御できるようになり、セキュリティとコンプライアンス要件を維持しながら、組織全体のユーザーエクスペリエンスを標準化できます。

詳細については、「グローバルアプリ構成サービスとモバイルデバイス管理によるセッションツールバー構成」を参照してください。

Android 13の廃止のお知らせ

バージョン26.3.0以降、Citrix Workspaceアプリ for AndroidはAndroid 13をサポートしていません。

Citrixは、最適なパフォーマンス、セキュリティ、および互換性を確保するために、デバイスを最新のAndroidバージョンに更新することをお勧めします。詳細については、「廃止」を参照してください。

レガシー機能の廃止通知

バージョン26.3.0以降、Citrix Workspaceアプリ for AndroidはMetro AppsやCitrix Castingなどのレガシー機能をサポートしていません。詳細については、「廃止」を参照してください。

修正された問題

- ユーザーがネイティブデバイス画面でWorkspaceを起動し、その後セッションを外部モニターに移動すると、UI要素が大きすぎる不適切なサイズで表示されます。アプリは、異なるDPI設定のディスプレイ間で移行する際に、フォントスケーリングとアイコンサイズを適切に調整できません。
- ユーザーがSamsung DeX画面でデスクトップセッションを起動し、セッションの読み込みが完了した後にツールバーの**Extend**ボタンをクリックすると、拡張画面のリサイズ進行状況インジケーターが無限に表示され続けます。アプリは、画面のリサイズが完了したときに進行状況インジケーターを自動的に閉じることができません。
- ポリシー設定**Use video codec for compression**を有効にし、値を**For the entire screen**に設定すると、*Samsung DeX でのマルチディスプレイサポート*機能が動作しない場合があります。このポリシーが有効な状態で**Extend**ボタンをクリックすると、アプリが応答しなくなります。
- ユーザーがツールバーにアクセスすると、USBカメラがデバイスに接続されていない場合でも、**External Camera**オプションが常に表示されます。アプリは、ツールバーオプションを表示する前にUSBカメラの存在を動的に確認しないため、ユーザーは利用できない機能を目にすることになります。

25.11.0

新機能

Entra IDに参加しているVDA向けのシームレスなシングルサインオン

バージョン2511以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、クラウド展開環境でMicrosoft Entra IDに参加しているVDAとのシームレスなシングルサインオン（SSO）をサポートします。以前は、このシナリオではSSOが利用できなかったため、Microsoft Entra IDに参加しているVDAでHDXセッションを起動する際に、ユーザーは資格情報の入力を求められていました。この変更により、管理者はSSOを構成するオプションが提供され、セッション起動時の資格情報入力の必要性を省略できるため、Entra IDを主要なIDプロバイダーとして使用している組織の認証が効率化されます。

この機能により、Active DirectoryからEntra IDに移行するユーザーは、手動で資格情報を入力することなくセッションを起動でき、認証エクスペリエンスが向上し、簡素化されます。

システム互換性とエンドツーエンドの構成手順については、Entra IDに参加しているVDA向けのシームレスなシングルサインオンを参照してください。

オーディオの損失許容モード

モバイルユーザーは、高遅延およびパケット損失のあるネットワークを介して接続する際に、仮想セッション中に途切れ途切れの音、エコー、中断などのオーディオの問題を経験します。これらの問題は、コミュニケーションと生産性に影響を与えます。Android向けCitrix Workspaceアプリバージョン25.11.0は、デスクトッププラットフォームに匹敵する一貫した高品質のオーディオを提供するために、Android向けEDTロスオーディオをサポートします。

この機能は、困難なネットワーク条件下で効果的に機能するCitrixのUDPベースプロトコルであるEDT（Enlightened Data Transport）を使用します。EDTロスオーディオは、リアルタイムオーディオストリーミングを最適化し、途切れや途絶えを最小限に抑えながら、オーディオ品質を向上させます。

この機能は、遅延やパケット損失のあるネットワークを介して接続するユーザー向けに、リアルタイムストリーミングを強化し、EDT経由のオーディオ品質を向上させます。

損失許容モードとEDTの詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントの追加情報を参照してください。

オーディオの損失許容モードは、デフォルトで有効になっています。この機能を無効または再度有効にするには、次の手順を実行します。

1. HDXアダプティブトランスポート（EDT）を有効にします。
2. オーディオの損失許容モードを有効にします。

Android向けCitrix Workspace™アプリとdeviceTRUST®のシームレスな統合

Citrix Workspace app for Androidバージョン25.11.0には、セッション内の継続的なデバイスポスチャチェックを通じてセキュリティを強化するdeviceTRUST統合が含まれています。deviceTRUSTは、Citrix Workspaceアプリと統合され、統一された展開を実現します。詳細については、deviceTRUSTを参照してください。

主な機能

主な機能は次のとおりです。

- **統合された機能**: バージョン25.11.0以降では、deviceTRUSTクライアント拡張機能がCitrix Workspaceアプリfor Androidの一部としてデフォルトでインストールされ、展開と管理が簡素化されます。
- **継続的なポスチャチェック**: この機能は、セッション内でエンドポイントデバイスのコンテキストとセキュリティポスチャを継続的にチェックすることでセキュリティを強化し、ゼロトラストセキュリティモデルをサポートします。
- **管理**: 管理者はdeviceTRUSTコンソールを使用して、ポリシーを構成し、デバイス信頼設定を管理します。
- **強化された可視性**: セキュリティ管理者向けに包括的なデバイス情報を提供します。
- **シームレスなユーザーエクスペリエンス**: ユーザーの介入なしに透過的なセキュリティチェックを実行します。

Citrix Virtual Apps and DesktopsでのDevice Trust構成については、deviceTRUST® 2507 LTSRのリモート利用開始ガイドを参照してください。

Androidデバイスの永続的なクライアント名

以前のバージョンでは、Android版Citrix Workspaceアプリは、デバイスが工場出荷時の状態にリセットされ、アプリが再インストールされるたびに、Terminal Service (TS) クライアント名（例: roid-XXXXXX）を動的に再生成していました。このプロセスは、プリンターの割り当てなど、リソースアクセスにクライアント名を使用する組織にとって問題を引き起こしていました。ユーザーはプリンター構成を失い、再度アクセスを要求する必要があったため、ユーザーとIT管理者の両方に追加の作業が発生していました。

バージョン25.11.0では、同じTSクライアント名を維持するか、安定したデバイス識別子（シリアル番号など）またはユーザー情報を使用して予測可能に生成します。この機能強化により、管理オーバーヘッドが大幅に削減されます。

利点

- **一貫したリソースアクセス**: デバイスのリセット後も、ユーザーは割り当てられたプリンターアクセスやその他の構成を保持します。
- **管理オーバーヘッドの削減**: ITチームは、デバイスの再登録後にプリンターアクセスやその他の設定を再構成する必要がなくなります。
- **ユーザーエクスペリエンスの向上**: ユーザーは設定を失うことなく、よりスムーズな操作を体験できます。
- **スケーラビリティの強化**: 組織は、モバイルデバイスでのCitrix展開をより効率的に拡張できます。

管理者は、柔軟性と制御のために、MDMまたはUEMソリューション（Intune、CEMなど）またはGACSを介してクライアント名を構成または上書きできます。

詳細については、Androidデバイスの永続的なクライアント名を参照してください。

強化されたオンスクリーンキーボードエクスペリエンス

Citrix Workspaceアプリ for Android 25.11.0では、Windows Virtual Desktop Agent (VDA) 2511デスクトップに接続する際のキーボードの自動表示動作が改善されました。

これらの機能強化により、オンスクリーンタッチキーボードを使用しながら、デスクトップセッションの下部にある入力フィールドやタスクバー要素を操作する際の使いやすさが向上します。

詳細については、強化されたオンスクリーンキーボードエクスペリエンスを参照してください。

VDA向けUSB診断ツールの強化

Citrix Workspaceアプリ for Android 25.11.0では、VDAとともに展開されるUSB診断ツールが強化されました。この機能強化により、お客様はUSBリダイレクトに関連する構成およびランタイムの問題を診断できます。

詳細については、Citrix Virtual Apps and DesktopsのドキュメントにあるUSB診断ツールの記事を参照してください。

オーディオデバイスの自動同期によるオーディオ音量制御の同期

Citrix Workspaceアプリ for Android 25.11.0は、オーディオ音量制御をサポートし、クライアントデバイスとサーバーシステム間で再生音量とミュート状態をリアルタイムで同期します。

セッションを開始すると、アプリはクライアントの再生音量をサーバーに送信し、録音音量を50に設定します。再生音量はクライアントまたはサーバーのいずれかから調整できます。プラットフォームの制限により、録音音量制御はサーバーのみに制限されます。

テクニカルプレビュー機能

- モバイルVDIユーザー向けの再接続エクスペリエンスの改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/about-this-release/features-in-technical-preview.html#improved-reconnection-experience-for-mobile-vdi-users---technical-preview)

修正された問題

- Samsung DeXデュアルモードを使用すると、セッションが自動的にプレゼンテーションモードに入り、マウスポインターが画面の左上隅でフリーズし、セッションウィンドウがマウスとキーボードの入力を受け付けなくなります。

- セッションが切断されると、CGPソケット接続が正常に閉じられず、VDAが最初のセッション状態のままになるため、その後のセッション起動が失敗します。

25.9.0

新機能

リソース起動中のリアルタイム進行状況の可視化

バージョン25.9.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、アプリとデスクトップの起動中に詳細な進行状況ステータスを提供します。この機能は、進行状況追跡システムにより、仮想デスクトップまたはアプリケーションの起動中にリアルタイムのフィードバックを提供します。この機能により、ユーザーは起動のステータスをリアルタイムで監視でき、期待値を管理し、不確実性を軽減するのに役立ちます。

詳しくは、「リソース起動中のリアルタイム進行状況の可視化」を参照してください。(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/session-experience.html#visibility-in-to-real-time-progress-during-resource-launches).

マルチモニターエクスペリエンスの改善

バージョン25.9.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、Androidタブレットでの外部ディスプレイエクスペリエンスを強化します。このアプリは、ミラーモードと画面拡張モードの両方で、外部ディスプレイでのセッション表示をシームレスにサポートするようになりました。このアプリは、OSがグラフィックをミラーリングするのではなく、外部ディスプレイの画面全体のみを尊重します。この機能により、外部モニターを接続または切断する際に、視覚的な不具合なしにスムーズな移行が保証されます。

One UI 7以前のSamsung DeXデュアルモードでは、セッションがデバイス画面で起動された場合、DeXディスプレイは無視されます。

Citrix Troubleshoot Connectionによるトラブルシューティングの強化

以前は、仮想アプリまたはデスクトップの起動に関する問題の解決には、通常、ITサポートからの支援が必要でした。Cloudストア向けの強化されたCitrix Troubleshoot Connection機能と改善されたUIにより、Citrix Workspaceアプリは、明確なエラーメッセージとガイド付きの推奨事項を通じて、ユーザーが起動の問題を自己診断し、修正できるようになりました。ユーザーは、詳細なエラー情報と「問題の修正」ボタンを確認できます。ネットワーク接続の問題や利用できないリソースなどの一般的な問題は、ワンクリックの回復アクションを使用して解決できるようになりました。これにより、ITサポートへの依存が減り、ユーザーはより迅速に作業に戻ることができま

す。詳しくは、「Citrix Troubleshoot Connection」を参照してください。(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/troubleshoot.html#citrix-troubleshoot-connection).

Android 13の非推奨のお知らせ

バージョン25.9.0以降、Android版Citrix WorkspaceアプリはAndroid 13をサポートしなくなりました。

Citrixは、最適なパフォーマンス、セキュリティ、および互換性を確保するために、デバイスを最新のAndroidバージョンに更新することを推奨します。Android 13のサポートは、26.3.0リリースで完全に非推奨となります。

詳細については、「非推奨」を参照してください。

レガシー機能の非推奨通知

これは、近い将来におけるMetro AppsおよびCitrix Castingのレガシー機能サポートの非推奨に関する通知です。これらの機能のサポートは、今後のリリースで非推奨となります。ご不明な点がございましたら、担当の営業担当者にお問い合わせください。

詳細については、「非推奨」を参照してください。

修正された問題

- ユーザーがフルH.264モードのVDAデスクトップセッション中にツールバーのキーボードボタンをクリックすると、セッション画像が暗くなります。

  この問題は、DDCポリシーの**Use Video Codec for compression**が**For the entire screen**に設定されている場合に発生し、通常のセッション表示が維持されずに画面が正しく表示されなくなります。

- CSI 2.0が、現在のバージョン（250x.xx）ではなく、誤ったWindows VDAバージョン（7.xx.xx）を表示します。

  この問題は、システムがCQIからVDAバージョンを取得できない場合に発生します。Citrix Workspaceアプリは、利用可能な場合にCQIからVDAバージョンを取得するようになり、正しいバージョンが表示されるようになりました。

- OneUI 7タブレットのDeX画面を物理キーボードで使用しているときに、セッションウィンドウを全画面表示から通常のウィンドウ状態に戻すと、セッションの両側に灰色の縁が表示されます。

  この問題は、OneUI 7.0を実行しているSamsung Galaxyデバイスでセッショングラフィックがウィンドウ全体を適切に埋められないために発生します。Citrix Workspaceアプリは、セッ

ショングラフィックを適切にレンダリングしてウィンドウ全体を埋めるようになり、灰色の縁が表示されなくなりました。

- 外部ネットワークのMicrosoft Entra ID認証から内部ネットワークのネイティブ認証に切り替える際に、**ユーザー名**フィールドが空のままにならず、ユーザーのフルネームで自動入力されます。

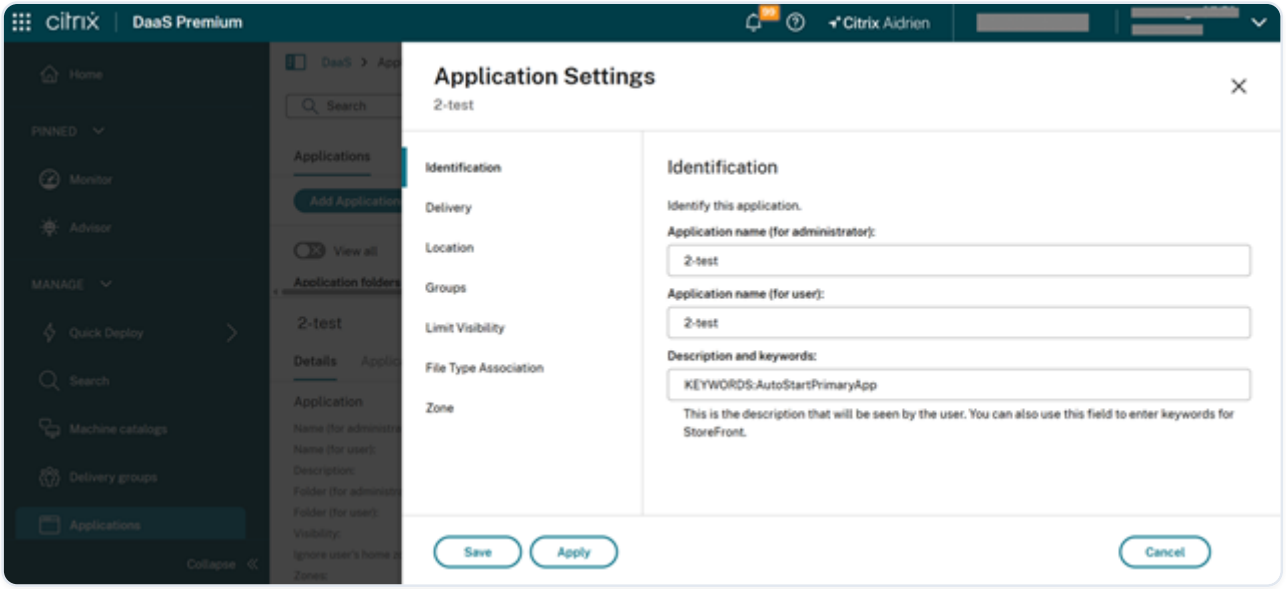
  この問題は、アプリが以前のMicrosoft Entra IDログインセッションからユーザープロファイルデータを保持し、フルネームをSharedPreferencesにユーザー名として保存するために発生します。Citrix Workspaceアプリは、認証方法を切り替える際にキャッシュされたユーザープロファイルデータを適切にクリアするようになり、ネイティブログイン画面でユーザー名フィールドが空のままになるようになりました。

25.7.0

新機能

デスクトップとアプリの自動起動

バージョン2507以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、管理者の設定に基づいて、ユーザーログイン時に指定されたデスクトップまたはアプリケーションを自動的に起動します。



詳細については、「デスクトップとアプリの自動起動」を参照してください。

Android向けエコーキャンセレーションによるセッション内オーディオの最適化

バージョン2507以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、インテリジェントなエコーキャンセレーション技術により、Citrix Virtual Apps and Desktopsセッションのオーディオおよびビデオ品質を向上させます。この機能は、オーディオおよびビデオ通話中のフィードバックとバックグラ

ウンドエコーを自動的に低減し、必要なハードウェアを備えたサポート対象デバイスでよりクリアなコミュニケーション体験を提供します。

> **注記:**
>
> この機能は、ハードウェアの制限、ソフトウェアの不整合、または既存のオーディオ処理機能との競合により、特定のデバイスで期待どおりに動作しない場合があります。

最適なパフォーマンス

当社のテストでは、この機能は**Google Pixelデバイス**で良好に動作することが示されています。Google Pixelデバイスは、一貫したオーディオ処理機能とエコーキャンセレーションに対する最適なハードウェアサポートを提供します。

App Protectionアンチキーロギングのサポート

バージョン25.7.0以降、Android向けCitrix WorkspaceアプリはApp Protectionアンチキーロギング機能をサポートします。

アンチキーロギングは、悪意のあるソフトウェア（マルウェア）がユーザーの入力内容をキャプチャするのを防ぐセキュリティ機能です。Citrix Workspaceアプリに入力された情報が、ユーザー資格情報やその他の機密情報などの機密情報の漏洩を防ぎます。

セッション起動エクスペリエンスの改善

以前は、起動の進行状況を示すダイアログボックスがユーザーにとって直感的ではありませんでした。通知メッセージは静的でした。デスクトップイメージがレンダリングされる前にグレースクリーンが表示され、ちらつきやグリッチのような効果が発生していました。

バージョン25.7.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、強化されたデスクトップ起動エクスペリエンスを提供します。中間画面なしで、デスクトップへのシームレスでちらつきのない移行を体験できます。ユーザーは起動の進行状況に関する意味のある通知を表示できます。この機能はデフォルトで有効になっています。

改善されたアプリとデスクトップの起動エクスペリエンスは、より情報量が多く、モダンで、Android向けCitrix Workspaceアプリでユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを提供します。この新しい改善された起動エクスペリエンスは、起動ステータスに関するタイムリーで関連性の高い情報を提供することで、ユーザーのエンゲージメントを維持するのに役立ちます。

強化された接続強度インジケーター

バージョン25.7.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、新しいセッション内ツールバーの既存の機能である接続強度インジケーター (CSI) に、より多くの機能をサポートします。

詳細については、「強化された接続強度インジケーター」を参照してください。

2507で修正された問題

- セッションを開始すると、AndroidデバイスはCitrix Directorで誤ったエンドポイント名を表示します。実際のデバイス名ではなく、「roid-XXXXXX」（デバイスIDに基づく）という形式のデフォルト名が表示されます。

2505.10

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

25.5.0

新機能

強化されたマウス ポインター モード

バージョン25.5.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリでは、マウス ポインター モードが強化され、よりスムーズで一貫したエクスペリエンスが提供されます。マウス ポインターは、スワイプ速度に反応してより自然に動くようになりました。

デフォルトの表示設定

以前のデフォルトの表示設定は**画面に合わせる**でした。

バージョン25.5.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、モバイルプラットフォーム全体でセッション解像度設定を統一します。デフォルトでは、セッションは**クライアントDPIに合わせる**モードを使用し、クライアントのDPIに一致させることで、デバイス間でより鮮明で一貫したエクスペリエンスを実現します。

詳しくは、「デフォルトの表示設定」を参照してください。

フローティングウィンドウモードのサポート

バージョン25.5.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリはフローティングウィンドウモードのサポートを導入しました。以前は、ユーザーが他のモバイルアプリに切り替えると、セッションウィンドウは最小化され、バックグラウンドに移動していました。

この機能強化により、ユーザーはセッションをフローティングウィンドウに切り替えることができ、柔軟性とマルチタスク機能が向上します。この機能により、ユーザーは仮想デスクトップまたはアプリケーションセッションを、サイズ変更可能で移動可能なフローティングウィンドウにシームレスに移行できます。

前提条件

この機能を有効にするには、**［設定］** > **［詳細設定］** に移動し、**［フローティングウィンドウ］** をオンにします。

利点

フローティングウィンドウ機能は、ユーザーが他のモバイルアプリを使用しながら、仮想デスクトップまたはアプリケーションセッションをサイズ変更可能で移動可能なウィンドウに保持できるようにすることで、マルチタスクを改善します。この機能は、ドキュメントを参照したり、仮想セッションと他のアプリを切り替えたりするのに役立ちます。

詳しくは、「フローティングウィンドウモードのサポート」を参照してください。

強化された仮想デスクトップ画面のサイズ変更エクスペリエンス

25.5.0バージョン以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、仮想デスクトップ画面のサイズ変更や引き伸ばし時に、スムーズな移行を保証し、グレースクリーンやちらつきを防ぎます。この機能はデフォルトで有効になっています。

アプリ保護のアンチキーロギングのサポート

25.5.0バージョン以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、アプリ保護のアンチキーロギング機能をサポートします。

アンチキーロギングは、悪意のあるソフトウェア（マルウェア）がCitrix Workspace™アプリに入力されたユーザー入力をキャプチャするのを防ぐセキュリティ機能です。この機能は、ユーザー資格情報やその他の機密情報などの機密情報の漏洩を防ぎます。

この機能の詳細については、アプリ保護のドキュメントを参照してください。

修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

25.3.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

最小サポートバージョン

Android向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0では、互換性を維持し、Android 13にアップデートされたデバイスへの継続的なサポートを確保するために、Android 13を最小サポートバージョンとして必要とします。詳細については、システム要件と互換性を参照してください。

修正された問題

いくつかのケースで、Citrix DirectorおよびCitrix StudioでAndroidクライアント名がnullと表示されました。

25.1.2

新機能

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

> **注：**
>
> リリースバージョン25.1.2には、修正とバージョン25.1.0の新機能が含まれています。

修正された問題

アプリを起動すると、使用できない小さなウィンドウで開きます。この問題は、アクティブなセッション中に解像度設定が正しく適用されないために発生します。

25.1.1

新機能

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

> **重要：**

> バージョン25.1.0は、安定性の問題によりロールバックされました。利用可能な新しいバージョンは25.1.1です。これは、最新ビルド25.1.1にはバージョン25.1.0の機能が含まれていないことを意味します。現在、バージョン25.1.0のすべての機能と必要な修正を含む新しい安定版ビルドに取り組んでいます。

修正された問題

以前の安定版ビルドと同様です。

25.1.0

新機能

マルチディスプレイモードでのSamsung DeXにおけるDPIマッチングのサポート

この機能強化により、特に企業環境において、外部モニターまたはドックに接続されたSamsung DeXデバイスのユーザーエクスペリエンスが向上します。

以前は、DeXデバイスを外部モニターで使用する場合、内蔵ディスプレイまたはタブレット画面でDPIマッチングが利用できなかったため、セカンダリモニターとして効果的ではありませんでした。DPIマッチングがないと、画面上の文字を認識して読むことが容易ではありませんでした。さらに、UI要素の選択やクリックも困難でした。

バージョン25.1.0以降、外部モニターを備えたDeXデバイス上のCitrix Workspaceアプリと、標準のデスクトップまたはラップトップでの使用との間で、統一されたエクスペリエンスが提供されます。この機能強化により、Samsung DeXのマルチスクリーンモードで発生していたスケーリングとDPI管理の不整合が解消されます。この取り組みの一環として、外部モニターをサポートするSamsung DeXでのHDXエクスペリエンスを、標準のデスクトップまたはラップトップコンピューターのエクスペリエンスと整合させています。

接続強度インジケーター

バージョン25.1.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、新しいセッション内ツールバーで接続強度インジケーター (CSI) をサポートします。この機能は、ネットワークの問題を警告するネットワーク強度アイコンを表示します。アイコンをクリックすると、クライアント、ゲートウェイ、VDAのリアルタイム接続統計を表示し、診断情報をコピーしてIT部門と共有し、高度なトラブルシューティングを行うことができます。

接続強度アイコン(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/connection-strength-icon.png)

接続強度の詳細(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/connection-strength-details.png)

> **注：**
>
> この機能はデフォルトで有効になっています。セッションを開くと、新しいツールバーに**接続強度アイコン**が表示されます。この機能は、Global App Configurationサービスを通じて次のように無効にできます。
>
> 接続強度GACS(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/connection-strength-gacs.png)

前提条件

この機能を使用するには、Improved in-session toolbar機能を有効にする必要があります。デフォルトでは、新しいツールバー機能は無効になっています。管理者は、Global App Configurationサービスを通じて新しいツールバー機能を有効にする必要があります。この機能は、VDAバージョン2407以降でのみ利用可能です。

詳しくは、Improved in-session toolbar機能を参照してください。

修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

既知の問題

バージョン26.3.10の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

バージョン26.3.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

バージョン25.11.0の既知の問題

- ポリシー設定 **Use video codec for compression** を有効にし、値を **For the entire screen** に設定すると、*Samsung DeX でのマルチディスプレイサポート* 機能が動作しない場合があります。このポリシーが有効な状態で **Extend** ボタンをクリックすると、アプリが応答しなくなります。

- OneUI 8 DeX画面では、*Samsung DeX でのマルチディスプレイサポート* 機能と、Samsung DeXでの *シングルセッションでのデスクトップのようなエクスペリエンスをサポートするための機能強化* が動作しない場合があります。

バージョン25.9.0の既知の問題

- 全画面H264モードで拡張キーが正しくレンダリングされない場合があります。
- One UI 8.0を搭載したデバイスでSamsung DeXインターフェイスを介して外部モニターに接続すると、マウスとキーボードが期待どおりに機能しない場合があります。Citrix Workspaceアプリ for Androidは、One UI 8.0のミラーモードとDeXデュアルモードを区別できず、常にプレゼンテーションモードに入ります。

  回避策として、**Esc** キーをタップしてプレゼンテーションモードを終了します。
- Citrix Workspaceアプリ for Androidバージョン25.9.0は、オンプレミスストアからApp Protectionが有効なリソースを起動できません。

  この問題が発生すると、アプリには「Session ended because of an outdated Workspace version. Contact your administrator」というトースト通知が表示されます。

バージョン22.6.5の既知の問題

- WebアプリまたはSaaSアプリを開くと、タスクバーのボタンと省略記号が期待どおりに機能しません。この問題は、**アカウントの追加**画面で**Webインターフェイス**をオンにした後に発生します。

21.4.0の既知の問題

このリリースでは、新しい既知の問題は確認されていません。

注：

Citrix Workspaceアプリのワークプロファイルに登録されている場合、パーソナルプロファイルのICAファイルからChromeブラウザーを使用してセッションを起動することはできなくなります。ただし、除外リストにICAファイルのURLを追加すると、Citrix Secure Webではこの問題は発生しません。

20.3.0の既知の問題

Samsung DeXデバイスでは、**キャンセル**ボタンをタップせずに許可プロンプトを閉じると、USBデバイスのリダイレクトをキャンセルできない場合があります。

20.2.0の既知の問題

自動クライアント再接続ダイアログで**接続**をタップすると、再接続の試行が失敗します。この問題は、Citrix XenAppおよびバージョン7.6 CU 8に接続されたセッションで発生します。

制限事項

- Citrix Workspaceアプリ内からWebアプリおよびSaaSアプリを起動する際に、アプリがGoogle IdPを使用し、エンドユーザーのサインインを要求する場合、「アクセスが拒否されました」というエラーメッセージが表示され、認証が失敗します。
- 高速スマートカードは現在、楕円曲線暗号（ECC）スマートカードをサポートしていません。

テクニカルプレビュー

テクニカルプレビューは、お客様が非本番環境または限定的な本番環境で使用し、フィードバックを共有する機会を提供するために利用できます。Citrixは機能プレビューに関するサポートケースを受け付けていませんが、改善のためのフィードバックを歓迎します。Citrixは、フィードバックの重大度、重要度、および優先度に基づいて、フィードバックに対応する場合としない場合があります。

サードパーティの通知

Citrix® 製品には、オープンソースライセンスに基づいてCitrixにライセンス供与され、使用および再配布されるサードパーティ製コードが含まれていることがよくあります。お客様への情報提供を強化するため、CitrixはCitrix製品に含まれるオープンソースコードをオープンソースライセンスコードリストで公開しています。

オープンソースライセンスコードについては、オープンソースライセンスコードを参照してください。

Citrix Workspaceアプリには、以下のドキュメントに定義されている条件に基づいてライセンス供与されたサードパーティ製ソフトウェアが含まれている場合があります。

Citrix Workspaceアプリ for Android サードパーティ通知(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/downloads/citrix-workspace-for-android-third-party-notices.pdf)

非推奨

非推奨の項目については、「非推奨」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/deprecation.html)ページを参照してください。

レガシーなドキュメント

サポート終了（EOL）に達した製品リリースについては、「レガシーなドキュメント」(/ja-jp/legacy-archive/workspace-app-and-receiver.html#citrix-workspace-app-for-android)を参照してください。

テクニカルプレビューの機能

テクニカルプレビューの機能は、非本番環境または限定的な本番環境で使用でき、お客様がフィードバックを共有する機会を提供します。Citrix® はテクニカルプレビュー機能のサポートケースを受け付けていませんが、改善のためのフィードバックを歓迎します。Citrix は、フィードバックの重大度、重要度、および重要性に基づいて対応する場合があります。

テクニカルプレビューの機能リスト

次の表に、テクニカルプレビューの機能を示します。これらの機能は、リクエストベースのプレビュー機能です。これらの機能のいずれかを有効にしてフィードバックを提供するには、それぞれのフォームにご記入ください。

タイトル	利用可能なバージョン	有効化フォーム (アイコンをクリック)	フィードバックフォーム (アイコンをクリック)
モバイルVDIユーザー向け再接続エクスペリエンスの改善 (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/about-this-release/features-in-technical-preview.html#improved-reconnection-experience-for-mobile-vdi-users---technical-preview)	25.11.0	☐	☐

タイトル	利用可能なバージョン	有効化フォーム (アイコンをクリック)	フィードバックフォーム (アイコンをクリック)
Microsoft Entra ID対応VMのシングルサインオン(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/about-this-release/features-in-technical-preview.html#single-sign-on-for-microsoft-entra-id-enabled-vm)	24.5.0	☐	☐
外部マイクによるオーディオリダイレクト	24.5.0	☐	☐
WebおよびSaaSアプリ向けに強化されたシングルサインオン（SSO）エクスペリエンスのサポート	22.3.5	☐	☐

モバイルVDIユーザー向けの再接続エクスペリエンスの改善 - テクニカルプレビュー

Citrix Workspaceアプリ for Androidバージョン25.11.0では、モバイルデバイスでのVirtual Desktop Infrastructure (VDI) セッション接続をより予測可能でユーザーフレンドリーにするための機能強化が導入されています。これらの更新により、接続中断時の不確実性が軽減され、ユーザーはセッションエクスペリエンスをより詳細に制御できるようになります。

> **注:**
>
> この機能へのアクセスをリクエストしたり、フィードバックを共有したりするには、Google フォームにご記入ください。テクニカルプレビュー機能の完全なリストについては、テクニカルプレビューの機能ページをご覧ください。

強化された機能

改善された機能は次のとおりです。

- **モバイルプラットフォーム全体での明確な再接続ステータス**: Android版Citrix Workspaceアプリは、切断されたセッションへの再接続を試行していることを明確に表示します。ユーザーは、再接続ステータスをトリガーしたり表示したりするために、アプリを切り替えたり画面を最小化したりする必要はありません。アプリは、すべての再接続アクティビティをアプリケーション内で透過的に処理します。
- **Android向けセッション制御の改善**: ユーザーはVDIセッションを直接キャンセルまたは閉じることができます。この機能により、再接続の試行が不要または予期しない場合に、より高い柔軟性と制御が提供されます。
- **情報量の多いエラーメッセージ**: セッションが切断された場合、アプリは一般的なアラートではなく、意味のある実用的なメッセージを表示します。

アプリは、以下のシナリオについて具体的な情報を提供します。

- ネットワーク接続の中断
- サーバー通信の失敗
- アイドルセッションのタイムアウト
- デバイスのロックおよびロック解除イベント中のセッション切断

これらのメッセージは、ユーザーが何が起こったかを理解し、必要な次のステップを特定するのに役立ちます。

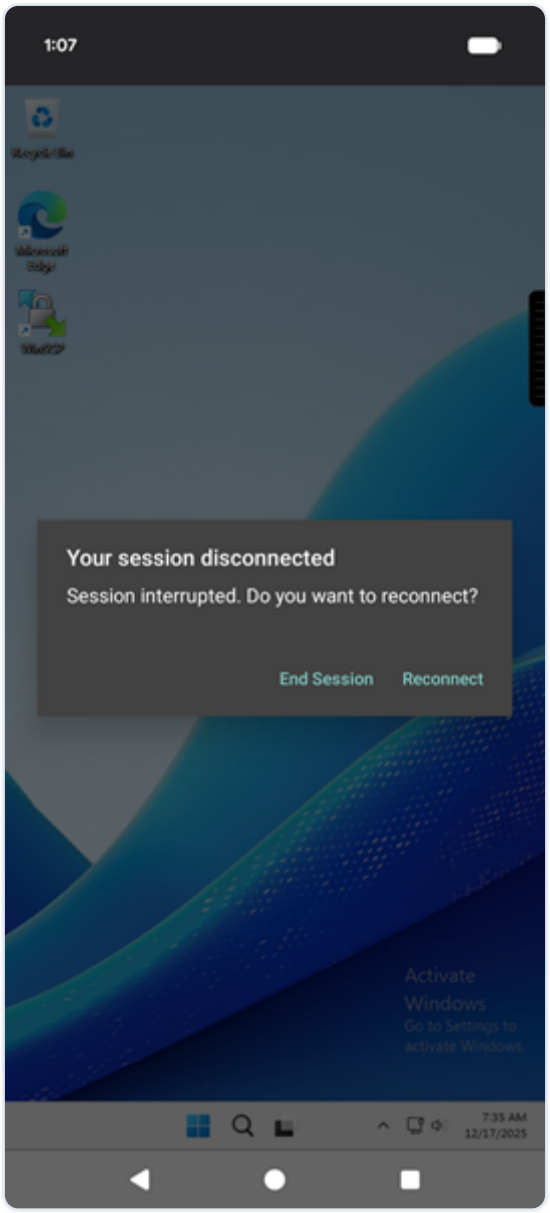
利点

これらの機能強化により、以下の改善が提供されます。

- 予期しない切断時の不確実性を軽減
- リアルタイムのステータス更新による透明性の向上
- モバイルVDI使用時の不満を最小限に抑える
- 接続の安定性と回復に対する信頼を構築

これらの機能強化を合わせることで、特に外出先で作業するユーザーにとって、よりスムーズで直感的なエクスペリエンスが提供されます。


1:04
Network issue.
Trying to reconnect for 02 :28
End Session
Activate
Windows
Go to Settings to
activate Windows.
7:34 AM
12/17/2025



Microsoft Entra ID対応VMのシングルサインオン

この機能は、リリース24.5.0以降、テクニカルプレビュー版として提供されています。

Android版Citrix Workspaceアプリは、シングルサインオン認証を使用してAzure AD参加済みVMデバイスにサインインするユーザーをサポートします。Citrix WorkspaceアプリでAzure AD参加済み仮想マシン（VM）を初めて起動する際、ユーザーは認証のためにAzureアカウントの資格情報を入力するよう求められます。その後のVDAサインインは、認証トークンの有効期限が切れるまで、資格情報の入力を求められることなく自動的に行われます。

> **注：**
>
> - この機能は、Azure AD参加済みクラウドストアにのみ適用されます。

- デフォルトでは、この機能は無効になっています。この機能はリクエストベースのプレビューです。お使いの環境でこの機能を有効にするには、Googleフォームにご記入ください。
- このテクニカルプレビューに関するフィードバックは、Googleフォームを使用して提供できます。

外部マイクによるオーディオリダイレクト

この機能は、リリース24.5.0以降、テクニカルプレビュー版として提供されています。

以前は、セッションで1つのオーディオデバイスしか使用できませんでした。バージョン24.5.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、セッション内で利用可能なすべてのローカルオーディオデバイスをその名前とともに表示します。さらに、プラグアンドプレイオーディオデバイスもサポートされます。

注：

- デフォルトでは、この機能は無効になっています。この機能はリクエストベースのプレビューです。お使いの環境でこの機能を有効にするには、Googleフォームにご記入ください。
- このテクニカルプレビューに関するフィードバックは、Googleフォームを使用して提供できます。

WebアプリおよびSaaSアプリ向けに強化されたシングルサインオン (SSO) エクスペリエンスのサポート

この機能は、リリース22.3.5からテクニカルプレビュー版です。

この機能により、サードパーティのIDプロバイダー (IdP) を使用しながら、社内WebアプリおよびSaaSアプリのSSO構成が簡素化されます。

強化されたSSOエクスペリエンスにより、プロセス全体がいくつかのコマンドに短縮されます。SSOをセットアップするためにIdPチェーンでCitrix Secure Private Accessを構成するという必須の前提条件が不要になります。また、Workspaceアプリと起動される特定のWebアプリまたはSaaSアプリの両方で認証に同じIdPが使用されている場合、ユーザーエクスペリエンスも向上します。

このテクニカルプレビューには、このGoogleフォームを使用して登録できます。

テクニカルプレビューから一般提供 (GA) へ

機能名	一般提供バージョン
DPIマッチング	24.1.0
UEMを介したCitrix Workspaceアプリ設定のプッシュ	24.3.5
ドキュメントスキャナー	24.5.0
適応型オーディオのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/peripherals.html#support-for-adaptive-audio)	24.7.0
Samsung DeXでのマルチウィンドウセッション共有アプリのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/session-experience.html#enhancement-to-support-desktop-like-experience-in-a-single-session-on-samsung-dex)	24.7.0
Samsung DeX向けCitrix Workspaceアプリからのセッションウィンドウの分離(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/session-experience.html#enhancement-to-support-desktop-like-experience-in-a-single-session-on-samsung-dex)	24.7.0
UEMを使用して多数のストアを追加(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/mdm.html#add-many-stores-using-uem)	24.7.0

Android 向け Citrix Workspace アプリ - プレビュー

このドキュメントでは、Citrix Workspace アプリ 2607 の機能と構成について説明します。このバージョンは、Android 向け Citrix Workspace アプリの最新バージョンのプレビューです。

2607 の早期導入リリース (EAR) ビルドは、今後のリリースに備えて組織が準備できるように、テストまたは検証を目的として Google Play ストアで入手できますが、本番環境への展開は推奨されません。

Google Play ストアで EAR ビルドにアクセスするには、Citrix Workspace アプリを検索してアプリを開きます。「**ベータ版に参加**」セクションまでスクロールし、「**参加**」をクリックします。

2607 の新機能

セッションツールバーエクスペリエンスの向上

Android 向け Citrix Workspace アプリは、Android タブレットおよびスマートフォンでの視覚的な一貫性と使いやすさを向上させることで、セッションツールバーエクスペリエンスを改善します。アプリケーションの更新には、新しいツールバーのノッチとキーパッドアセットが含まれています。ツールバーはすべてのタブレットの向きで一貫して機能し、セッション内キーボードとツールバー間のインタラクションも改善され、シームレスなエクスペリエンスを提供します。

2本指での水平スクロールのサポート

Android 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの2本指での水平スクロールをサポートするようになりました。

Samsung DeX での One UI 8 のサポート

Android 向け Citrix Workspace アプリは、Samsung One UI 8 外部ディスプレイ DeX (Desktop eXperience) 画面で、Samsung DeX でのシングルセッションでのデスクトップのようなエクスペリエンスをサポートするための機能強化 および ディスプレイの拡張 機能をサポートするようになりました。

グラフィック設定の使いやすさと自動同期の改善

Android 向け Citrix Workspace アプリは、グラフィック設定の使いやすさを向上させ、ネイティブ Android OS のディスプレイと DPI (Dots per Inch) の変更との自動同期を可能にします。

パスワードなしサインインのためのセッション内 FIDO2 パスキーのサポート

Android 向け Citrix Workspace アプリは、HDX 仮想アプリおよびデスクトップ内でのパスワードなしサインインのために **FIDO2** パスキーをサポートするようになりました。この機能強化には、クロスデバイス認証が含まれており、近くのデバイス（たとえば、Bluetooth を介した別の電話やタブレット）を使用してサインイン要求を承認できます。この機能は、パスキーを同じ Android デバイスに制限していた以前の機能を拡張します。この更新により、柔軟性が向上し、フィッシング耐性のあるパスキーによるセキュリティが強化され、使い慣れたセッション内認証エクスペリエンスが提供されます。

非推奨のお知らせ

Citrix Workspaceアプリ for Android 2703以降、アプリケーションは、**設定 > 詳細 > EDT** から **EDT** 設定を削除します。管理者は、引き続き管理ポリシーを通じてEDTを管理できます。この変更により、ユーザーエクスペリエンスが簡素化され、一貫した構成が保証されます。

詳細については、Citrix Workspaceアプリ for Androidの非推奨を参照してください。

2607で修正された問題

このリリースには、修正された問題はありません。

2607の既知の問題

このリリースには、既知の問題はありません。

Citrix Workspaceアプリ for Android - EARフィードバック

EARフィードバックは、https://forms.office.com/r/nWPg4D9C1Gから送信できます。

> **重要:**

> Early Adopter Release (EAR) ドキュメントは、情報提供のみを目的としています。 これは、いかなる資料、コード、または機能を提供するというコミットメント、約束、または法的義

務ではなく、Citrix®製品の購入決定を行う際に依拠すべきではありません。EARドキュメントに記載されている機能の開発、リリース、およびタイミングは、当社の単独の裁量に委ねられており、通知や協議なしに変更される場合があります。CitrixはEARに関するサポートケースを受け付けていませんが、改善のためのフィードバックを歓迎します。Citrixは、フィードバックの重大度、重要度、および重要性に基づいて対応する場合があります。

インストール要件

システム要件と互換性

デバイス要件

Citrix Workspaceアプリは、Androidバージョン14以降をサポートしています。

最良の結果を得るには、Androidデバイスを最新のAndroidオペレーティングシステムに更新してください。

WebブラウザがWorkspace for Webと互換性がある場合、Workspace for WebからCitrix Workspaceアプリセッションを開始できます。セッションを開始できない場合は、Citrix Workspaceアプリから直接アカウントを設定してください。

> **重要:**

> Android版Citrix Workspaceアプリのテクニカルプレビューバージョンがインストールされている場合は、新しいバージョンをインストールする前にアンインストールしてください。

サーバー要件

StoreFront:

- StoreFront 2.6以降

  StoreFrontストアへの直接アクセスを提供します。Android版Citrix Workspaceアプリは、以前のバージョンのStoreFrontもサポートしています。

- Workspace for Webサイトで構成されたStoreFront

  WebブラウザからStoreFrontストアへのアクセスを提供します。この展開の制限については、StoreFrontのドキュメントを参照してください。

Citrix Gatewayが提供する書き換えポリシーを有効にします。

Citrix Virtual Apps and Desktops (以下のいずれかの製品):

- シトリックス バーチャル アプリ 7.5 以降
- シトリックス バーチャル アプリケーションズ アンド デスクトップ 7.x 以降

ChromeOSデバイスとの互換性

ChromeOSデバイスではCitrix Workspace™ app for Androidはサポートされていません

以前、ユーザーはCitrix Workspace app for ChromeOSの代わりに、誤ってChromeOSデバイスにCitrix Workspace app for Androidをインストールしていました。この誤ったインストールは、互換性の問題と劣悪なユーザーエクスペリエンスを引き起こしました。

この混乱を防ぐため、CitrixはChromeOSデバイスのPlayストアからCitrix Workspace app for Androidの表示を削除しました。

Citrix Workspace app for ChromeOSが必要なユーザーは、こちらからアクセスできます。

接続と証明書

Citrix Workspaceアプリは、以下のいずれかの構成を介して、Citrix Virtual Appsサーバーへの HTTP、HTTPS、およびICA-over-TLS接続をサポートしています。

LAN接続の場合:

- StoreFront 2.6以降
- XenApp® サービス (旧 プログラム ネイバーフッド エージェント) サイト。

セキュアなリモート接続の場合 (以下のいずれかの製品):

- Citrix Gateway 12.1以降 (VPX、MPX、およびSDXバージョンを含む)。

TLS証明書

TLSを使用してリモート接続を保護する場合、モバイルデバイスは次の処理を行います。

1. リモートゲートウェイのTLS証明書を、信頼されたルート証明機関のローカルストアに対して認証します。
2. ルート証明機関のルート証明書がローカルキーストアに存在する場合、商用発行された証明書（VerisignやThawteなど）を自動的に認識します。

プライベート（自己署名）証明書

リモートゲートウェイにプライベート証明書をインストールする場合は、組織の証明機関のルート証明書がモバイルデバイスにインストールされていることを確認してください。この構成により、Citrix Workspaceアプリfor Androidを使用してCitrixリソースに正常にアクセスできます。

> **注：**
>
> 接続時にゲートウェイの証明書を検証できない場合（ルート証明書がローカルキーストアに含まれていないため）、信頼されていない証明書の警告が表示されます。ユーザーが警告を無視して続行することを選択した場合、アプリケーションのリストが表示されます。ただし、アプリケーションは起動に失敗します。

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、同じドメイン内の任意のサーバーに対して、個々のサーバー証明書の代わりに使用されます。Citrix Workspaceアプリfor Androidはワイルドカード証明書をサポートしています。

中間証明書とCitrix Gateway

証明書チェーンに中間証明書が含まれている場合、中間証明書はCitrix Gatewayサーバー証明書に追加する必要があります。Citrix Gatewayのエディションに一致するKnowledge Centerの記事を参照してください：CTX114146およびCTX124937

共同サーバー証明書検証ポリシー

Citrix Workspaceアプリfor Androidには、サーバー証明書に対するより厳格な検証ポリシーがあります。

> **重要：**
>
> 「Citrix Workspaceアプリ for Android」をインストールする前に、サーバーまたはCitrix Gatewayの証明書がここに記載されているとおりに正しく構成されていることを確認してください。接続は次の場合に失敗する可能性があります。

- サーバーまたはCitrix Gatewayの構成に誤ったルート証明書が含まれている場合。

- サーバーまたはCitrix Gatewayの構成にすべての中間証明書が含まれていない場合。
- サーバーまたはCitrix Gatewayの構成に、期限切れまたはその他の理由で無効な中間証明書が含まれている場合。
- サーバーまたはCitrix Gatewayの構成に、クロス署名された中間証明書が含まれている場合。

サーバー証明書を検証する際、「Citrix Workspaceアプリ for Android」は、サーバー証明書の検証時にサーバー（またはCitrix Gateway）から提供された**すべての**証明書を使用します。その後、証明書が信頼されているかどうかも検証します。すべての証明書が信頼されていない場合、接続は失敗します。

このポリシーは、Webブラウザの証明書ポリシーよりも厳格です。多くのWebブラウザは、信頼する多数のルート証明書を含んでいます。

サーバー（またはCitrix Gateway）は、正しい証明書のセットで構成されている必要があります。証明書のセットが正しくないと、「Citrix Workspaceアプリ for Android」の接続が失敗する可能性があります。

Citrix Gatewayがこれらの有効な証明書で構成されていると仮定します。これは、より厳格な検証を必要とするお客様に推奨されます。彼らは、「Citrix Workspaceアプリ for Android」が使用するルート証明書を正確に特定することで、より厳格な検証を強制できます。

- 「Example サーバー証明書」
- 「Example 中間証明書」
- 「Example ルート証明書」

その後、「Citrix Workspaceアプリ for Android」は、これらの証明書がすべて有効であるかどうかを検証します。「Citrix Workspaceアプリ for Android」は、「Example Root Certificate」をすでに信頼しているかどうかも検証します。「Citrix Workspaceアプリ for Android」が「Example Root Certificate」を信頼していない場合、接続は失敗します。

重要

一部の認証局は、複数のルート証明書を持っています。このより厳格な検証が必要な場合は、構成が適切なルート証明書を使用していることを確認してください。たとえば、現在、同じサーバー証明書を検証できる2つの証明書（「DigiCert」/「GTE CyberTrust Global Root」と「DigiCert Baltimore Root」/「Baltimore CyberTrust Root」）があります。

一部のユーザーデバイスでは、両方のルート証明書が利用可能です。他のデバイスでは、いずれか一方のみが利用可能です（「DigiCert Baltimore Root」/「Baltimore CyberTrust Root」）。ゲートウェイで「GTE CyberTrust Global Root」を構成した場合、それらのユーザーデバイスでのCitrix Workspaceアプリ for Androidの接続は失敗します。どのルート証明書を使用できるかについては、証明機関のドキュメントを参照してください。また、すべての証明書と同様に、ルート証明書も最終的には有効期限が切れることに注意してください。

注：

一部のサーバーおよびCitrix Gatewayは、構成されていてもルート証明書を送信しない場合があります。その場合、より厳密な検証はできません。

ここで、ゲートウェイがこれらの有効な証明書を使用して構成されていると仮定します。ルート証明書を含まないこの構成は、通常推奨されます。

- 「例のサーバー証明書」
- 「例の中間証明書」

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、これら2つの証明書を使用します。次に、ユーザーデバイス上でルート証明書を検索します。正しく検証され、「Example Root Certificate」のように信頼されている証明書が見つかった場合、接続は成功します。そうでない場合、接続は失敗します。この構成は、Citrix Workspaceアプリ for Androidが必要とする中間証明書を提供しますが、Citrix Workspaceアプリ for Androidが任意の有効で信頼されたルート証明書を選択することも可能にします。

ここで、Citrix Gatewayがこれらの証明書を使用して構成されていると仮定します。

- 「例のサーバー証明書」
- 「例の中間証明書」
- 「誤ったルート証明書」

Citrix Workspaceアプリ for Androidは誤ったルート証明書を読み込み、接続は失敗します。

一部の証明機関は複数の中間証明書を使用します。この場合、Citrix Gatewayは通常、すべての中間証明書（ルート証明書は除く）で構成されます。例：

- 「例のサーバー証明書」

- 「例の中間証明書 1」
- 「例の中間証明書 2」

一部の認証局は、クロス署名された中間証明書を使用します。これは、複数のルート証明書が見つかり、 以前のルート証明書が新しいルート証明書と同時にまだ使用されている状況を想定しています。この場合、少なくとも2つの中間証明書が存在します。たとえば、以前のルート証明書「Class 3 Public Primary Certification Authority」には、対応するクロス署名された中間証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」があります。

しかし、「Class 3 Public Primary Certification Authority」を置き換える、対応する新しいルート証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」も利用可能です。新しいルート証明書は、クロス署名された中間証明書を使用しません。

クロス署名された中間証明書とルート証明書は、同じサブジェクト名（発行先）を持っています。しかし、クロス署名された中間証明書は、異なる発行者名（発行元）を持っています。これにより、クロス署名された中間証明書は、通常の中間証明書（「例の中間証明書 2」など）と区別されます。

ルート証明書とクロス署名された中間証明書を含まないこの構成が、通常推奨されます。

- 「例のサーバー証明書」
- 「例の中間証明書」

Citrix Gatewayがクロス署名された中間証明書を使用するように構成することは避けてください。これは、以前のルート証明書が選択されるためです。

- 「例のサーバー証明書」
- 「例の中間証明書」
- 「例のクロス署名された中間証明書」

サーバー証明書のみを使用してCitrix Gatewayを構成することは推奨されません。

- 「例のサーバー証明書」

Citrix Workspaceアプリ for Androidがすべての中間証明書を見つけられない場合、接続は失敗します。

インストール、アップグレード

以下のいずれかの方法を使用して、最新のCitrix Workspace™アプリをインストールします。

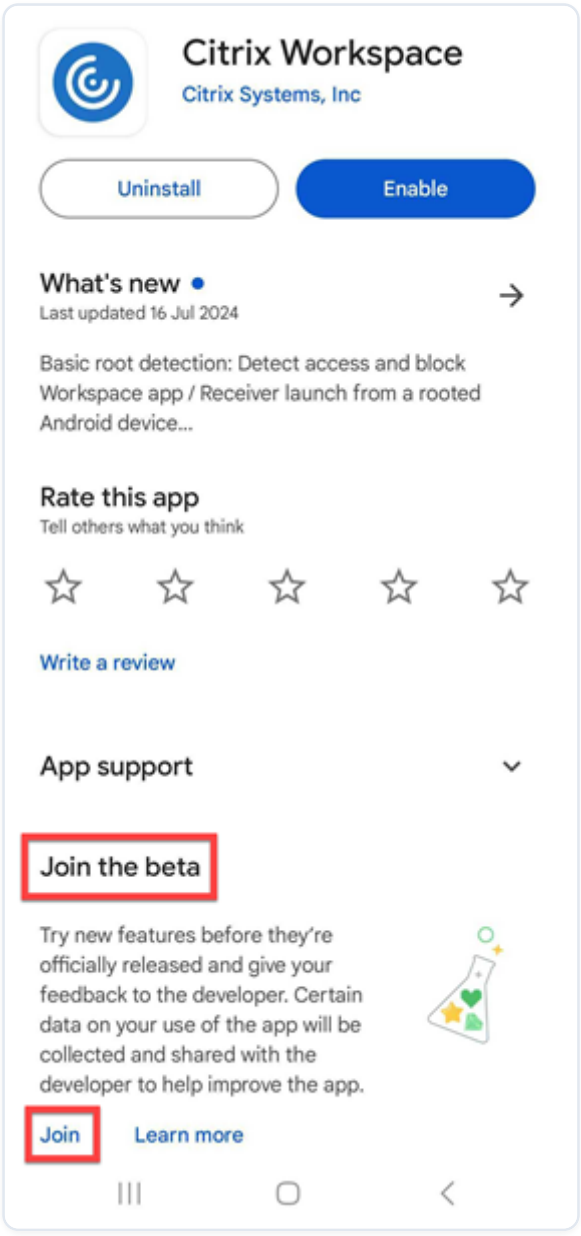
Google Play ストア

- 一般提供 (GA) ビルドにアクセスするには、ここをクリックしてください。

  これは、新しいバージョンが利用可能になったときに自動更新を受け取るための推奨される方法であることに注意してください。

- 早期アクセスリリース (EAR) ビルドにアクセスするには、ここをクリックしてください。

  このページで、Google Play ストアでCitrix Workspaceアプリを検索し、**ベータ版に参加**セクションまでスクロールして、**参加**をクリックします。



重要:

The Early Adopter Release (EAR) documentation is available from the Google Play Store for information purposes only. It isn't a commitment, promise, or legal obligation to deliver any material, code, or functionality and must not be relied upon in making Citrix® product purchase decisions. The development, release, and timing of any features or functionality described in the EAR documentation remain at our sole discretion and are subject to change without notice or consultation. Citrix does not accept support cases for EAR but welcomes feedback for improving them. Citrix might act on feedback based on its severity, criticality, and importance.

アップグレード

Google Playを使用してCitrix Workspaceアプリをアップグレードします。

Android版Citrix Workspaceアプリで利用可能な機能については、Citrix Workspaceアプリの機能マトリックスを参照してください。

Android版Citrix Receiverのドキュメントについては、Citrix Receiverを参照してください。

はじめに

アカウント

アカウントを作成するには、次の手順を実行します。

1. **アドレス**フィールドに、有効なストアURLまたはメールアドレスを入力します。例：storefront.organization.com。その他のフィールドには、必要な詳細を入力します。
2. ユーザー資格情報を入力します。

Citrix Gatewayを介したStoreFrontへのアクセス

Citrix Gatewayを介したStoreFrontへのアクセス構成については、以下を参照してください。

- ストアの構成と管理
- ストアフロントとシトリックス ゲートウェイの統合

メールベースのアカウント検出

Citrix Workspaceアプリをメールベースのアカウント検出を使用するように構成できます。構成すると、ユーザーはCitrix Workspaceアプリ for Androidの初回インストールおよび構成時に、サーバーURLではなくメールアドレスを入力します。

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、ドメインネームシステム（DNS）サービス（SRV）レコードに基づいて、メールアドレスに関連付けられているCitrix GatewayまたはStoreFrontサーバーを特定します。その後、ホストされているアプリケーション、デスクトップ、データにアクセスするために、ユーザーにサインインを促します。

プロビジョニングファイル

StoreFrontを使用して、アカウントの接続詳細を含むプロビジョニングファイルを作成できます。これらのファイルをユーザーが利用できるようにすることで、Citrix Workspaceアプリ for Androidを自動的に構成できるようになります。

Citrix Workspaceアプリ for Androidのインストール後、ユーザーはデバイスで **.cr** ファイルを開くだけでCitrix Workspaceアプリ for Androidを構成できます。Webサイト向けWorkspaceを構成して

いる場合、ユーザーはそれらのサイトからCitrix Workspaceアプリ for Androidのプロビジョニングファイルを取得することもできます。

詳細については、StoreFrontのドキュメントを参照してください。

ユーザーに手動で入力するアカウント情報を提供する

ユーザーに手動で入力する必要があるアカウントの詳細を提供する場合、以下の情報を配布してください。以下の情報により、ユーザーはホストされているデスクトップに正常に接続できます。

- StoreFront URLまたはリソースをホストするXenAppおよびXenDesktopサイト。例: servername.company.com。
- Citrix Gatewayを使用してアクセスするには、Citrix Gatewayのアドレスと必要な認証方法を提供します。

  詳細については、Citrix Gatewayのドキュメントを参照してください。

ユーザーが新しいアカウントの詳細を入力すると、Citrix Workspaceアプリは接続の検証を試みます。成功した場合、Citrix Workspaceアプリはユーザーにアカウントへのログオンを促します。

Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSへのアクセスを提供する

Citrix Workspaceアプリは、Citrix Virtual Apps and DesktopsまたはCitrix DaaS（旧称Citrix Virtual Apps and Desktopsサービス）の展開からアプリ、デスクトップ、およびファイルを配信するために、StoreFrontの構成を必要とします。

StoreFront

StoreFrontを構成して、Citrix Workspaceアプリの認証およびリソース配信サービスを提供できます。これにより、集中型エンタープライズストアを作成して以下を配信できます。

- Citrix Virtual Apps and DesktopsまたはCitrix DaaSを介したデスクトップおよびアプリケーション。
- XenMobileを介して組織向けに準備したXenMobile®アプリおよびモバイルアプリ。

Citrix WorkspaceアプリとStoreFrontストア間の認証は、さまざまなソリューションを使用して処理できます。

- ファイアウォール内のユーザーは、StoreFrontに直接接続できます。
- ファイアウォールの外部のユーザーは、Citrix Gateway を介して StoreFront に接続できます。

- ファイアウォールの外部のユーザーは、Citrix Gateway を介して StoreFront に接続できます。

StoreFront への接続

Web ブラウザーが Workspace for Web と互換性がある場合、Citrix Workspace アプリ for Android は Workspace for Web からセッションの起動をサポートします。起動が行われない場合は、Citrix Workspace アプリ for Android を介してアカウントを直接構成してください。

> **ヒント**
>
> ブラウザーから Workspace for Web を使用する場合、**.ICA®** ファイルをダウンロードしてもセッションは自動的に起動されません。セッションを起動するには、ダウンロード後すぐに **.ICA** ファイルを手動で開く必要があります。

> StoreFront を使用すると、作成するストアは、Citrix Workspace アプリの認証およびリソース配信インフラストラクチャを提供するサービスで構成されます。XenDesktop サイトおよび XenApp からのデスクトップとアプリケーションをカウントおよび集約し、これらのリソースをユーザーが利用できるようにするストアを作成します。

より詳細な制御が必要な管理者向けに、Citrix は Citrix Workspace アプリ for Android のダウンロードサイトを作成するために使用できるテンプレートを提供しています。

Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS を構成するのと同じように、StoreFront のストアを構成します。モバイルデバイスに特別な構成は必要ありません。

Citrix Gateway を介して接続する

Citrix Workspace アプリ for Android は、Citrix Gateway 11 以降をサポートしており、以下にアクセスできます。

- XenApp および XenDesktop® サイト
- StoreFront 2.6、3.0、3.5、3.6、3.7、3.8、3.9、および 3.11 ストア

以下の条件に応じて、同じ仮想サーバー上に複数のセッションポリシーを作成できます。

- 接続の種類（ICA、クライアントレス VPN、VPN など）
- Workspace展開の種類 (Web用WorkspaceまたはローカルにインストールされたCitrix Workspaceアプリ)。

ポリシーは単一の仮想サーバーから実現できます。

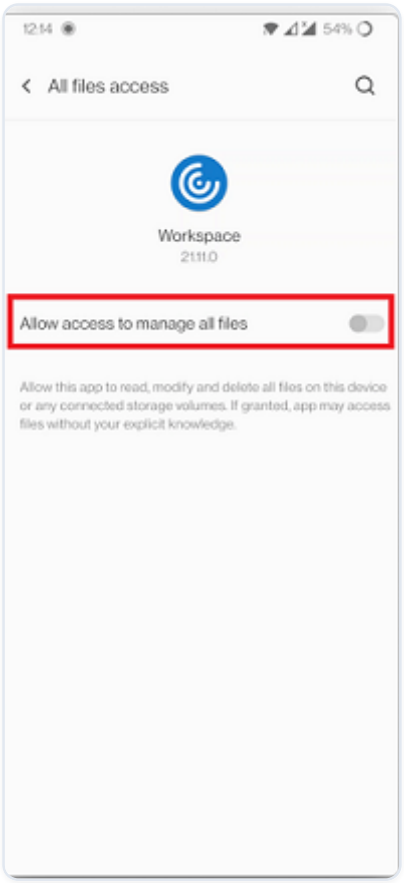
ユーザーがCitrix Workspaceアプリでアカウントを作成する際、メールアドレスまたはCitrix Gatewayサーバーの一致するFQDNを入力する必要があります。たとえば、デフォルトパスを使用しているときに接続が失敗した場合は、Citrix Gatewayサーバーへの完全なパスを入力してください。

VPN機能

アクセス場所に関係なく、社内でホストされている内部Web、Software-as-a-Service (SaaS) アプリ、およびWebサイトにアクセスできます。これらの社内リソースには、VPN接続なしでアクセスできます。この機能は、クラウドストアをご利用のお客様のみが利用できます。

すべてのファイルを管理するためのアクセスを許可する

「**すべてのファイルを管理するためのアクセスを許可する**」というアクセス許可オプションを導入しました。最適なパフォーマンスを得るために、このアクセス許可を有効にすることをお勧めします。ファイルは安全に保たれます。



構成

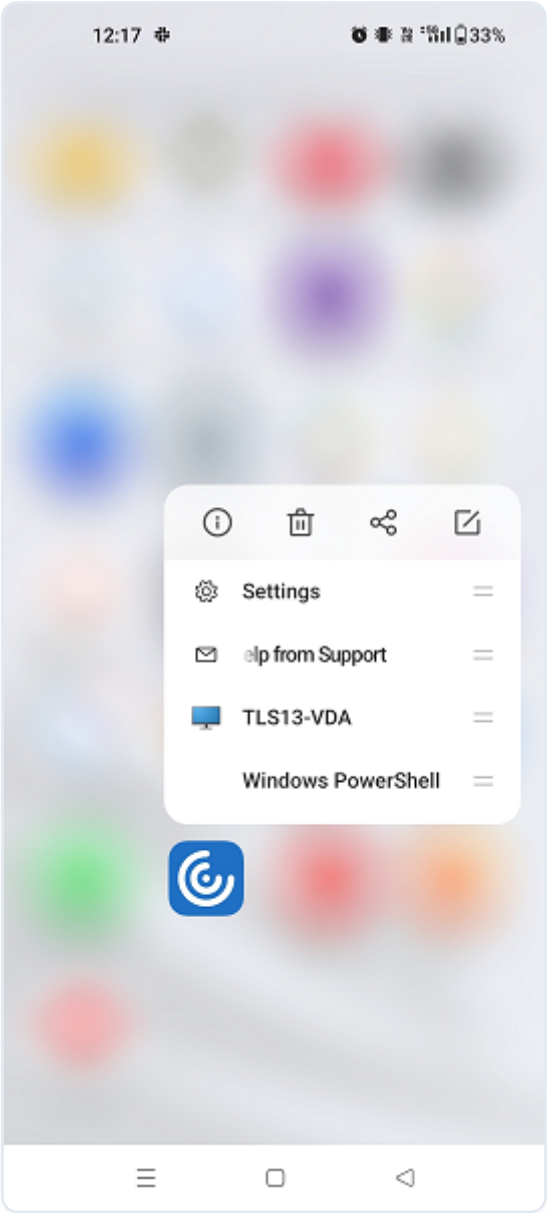
各ストアのマイクアクセス

クライアント選択的信頼機能により、Citrix WorkspaceアプリはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。ローカルクライアントドライブや、マイク、Webカメラなどのハードウェアデバイスへのアクセスを許可できます。

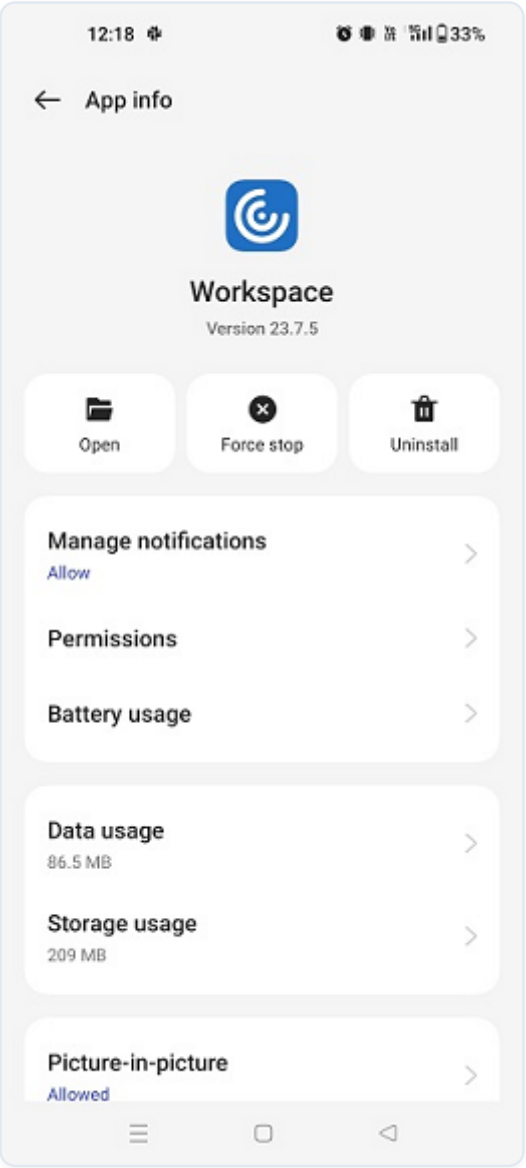
以前は、マイクアクセスの設定は構成されているすべてのストアに適用されていました。

現在、Citrix Workspaceアプリは、各ストアのマイクにアクセスするためにエンドユーザーの許可を必要とします。マイクにアクセスするための許可を次のように付与します。

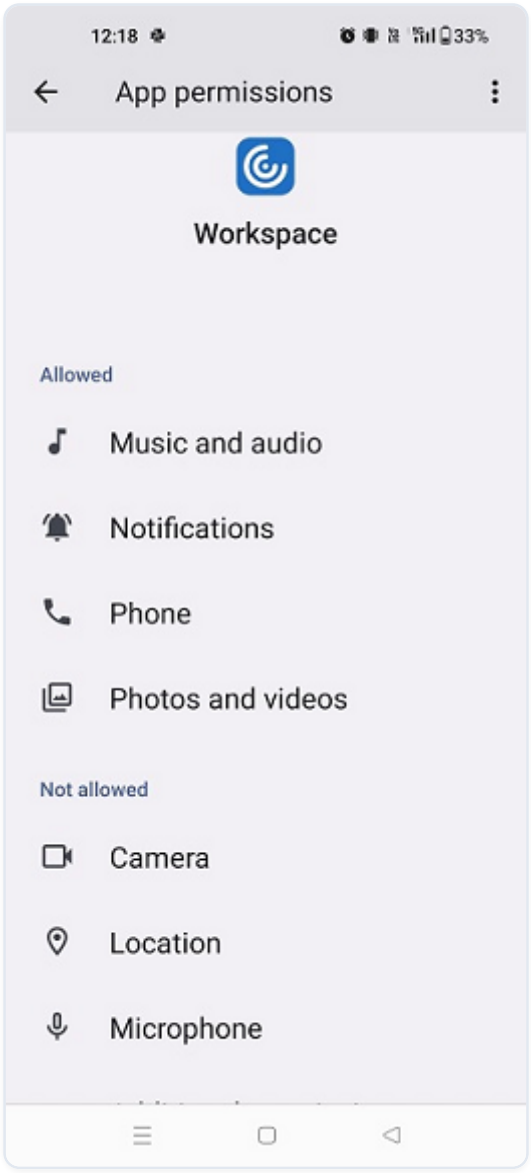
1. Citrix Workspaceアプリのアイコンを長押しし、**アプリ情報** (/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/appinfo-icon.png) アイコンをタップします。


12:17
33%
Settings
lp from Support
TLS13-VDA
Windows PowerShell

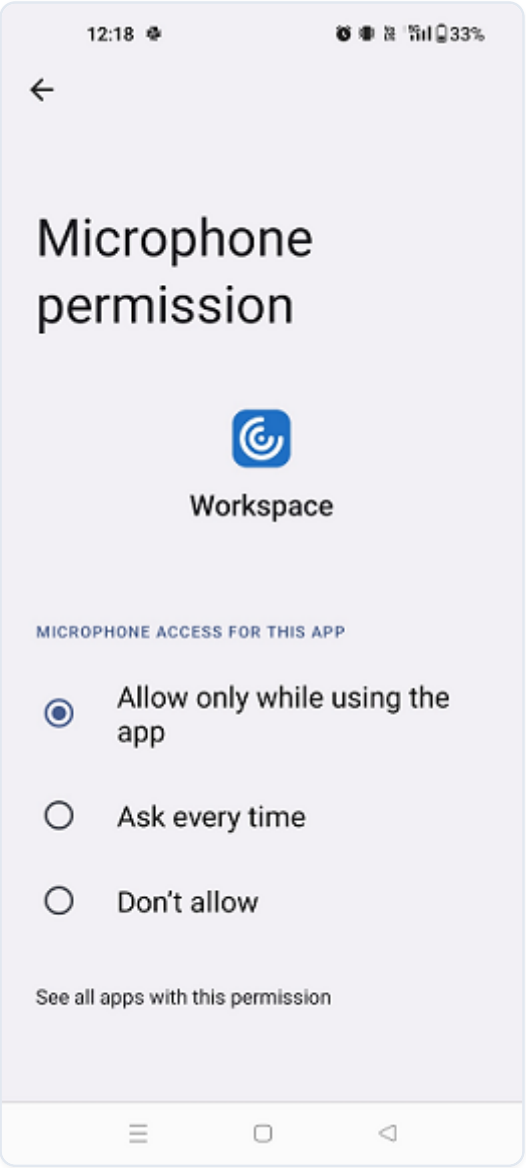
2. **権限**をタップします。



3. **マイク**をタップします。



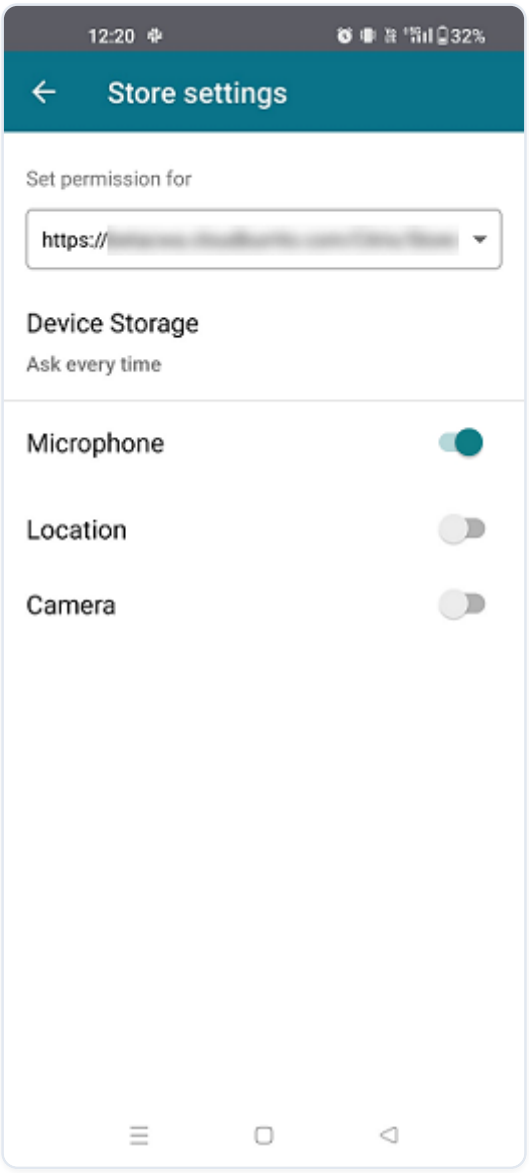
4. **このアプリの使用中のみ許可**を選択します。



これで、Citrix Workspaceアプリの使用中にマイクにアクセスできます。

アクセスレベルを次のように構成します。

1. Citrix Workspaceアプリを開き、**設定** > **ストア設定**を選択します。
2. **アクセス許可の設定**オプションの下で、ドロップダウンメニューからストアを選択します。



3. **マイク**を有効にします。

   これでマイクが有効になり、AndroidデバイスでCitrix Workspaceアプリを使用中にマイクを使用できます。

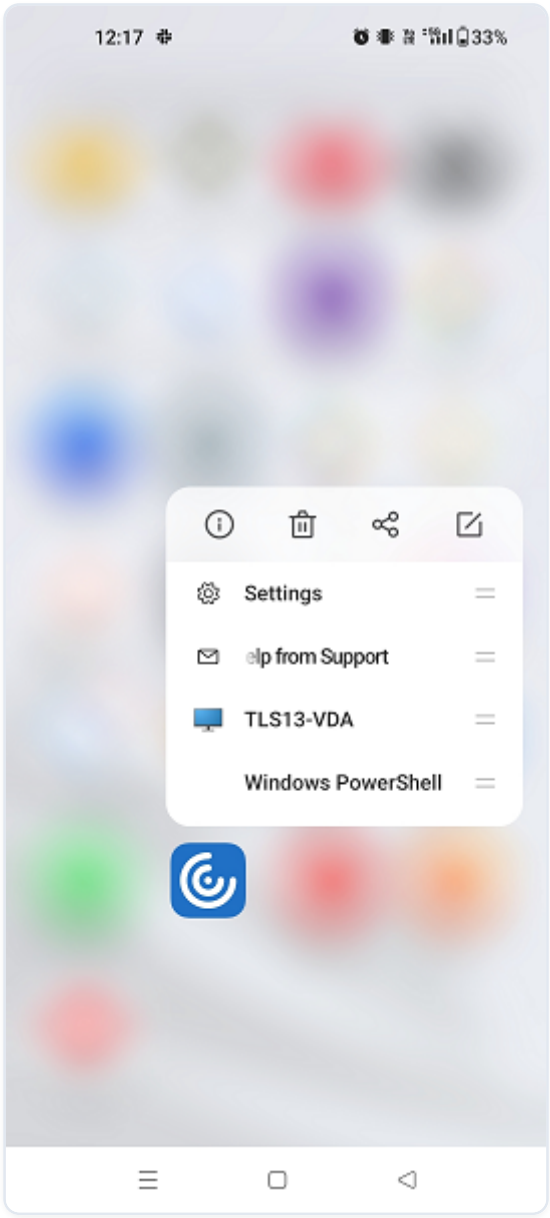
各ストアのロケーションアクセス

クライアント選択的信頼機能により、Citrix WorkspaceアプリはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。

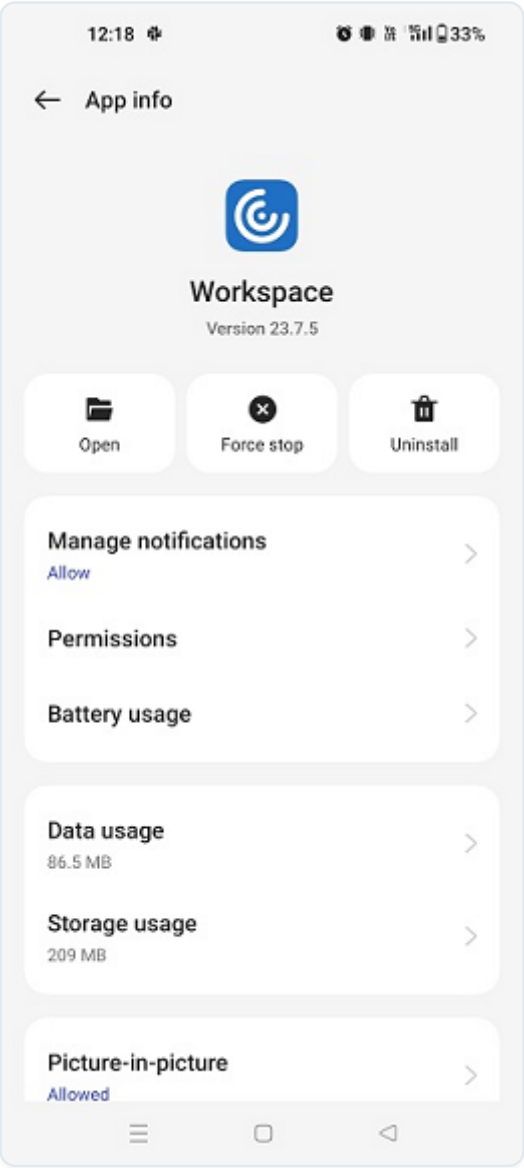
以前は、ロケーションアクセス設定は構成されているすべてのストアに適用されていました。

バージョン21.3.0以降、Citrix Workspaceアプリは、各ストアがロケーションにアクセスするためにエンドユーザーの許可を必要とします。ロケーションにアクセスするための許可を次のように付与します。

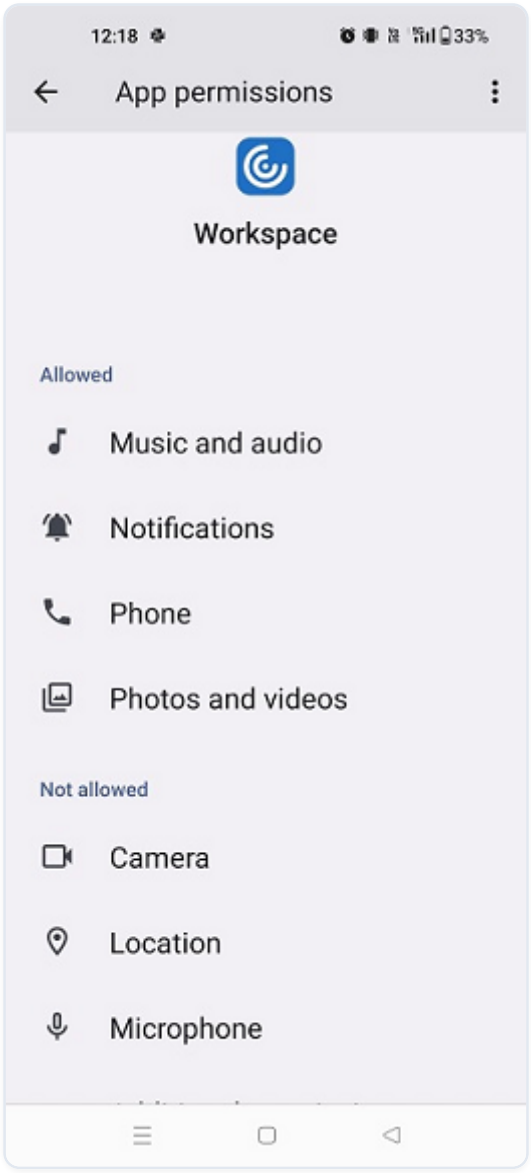
1. Citrix Workspaceアプリのアイコンを長押しし、**アプリ情報** ⓘ アイコンをタップします。



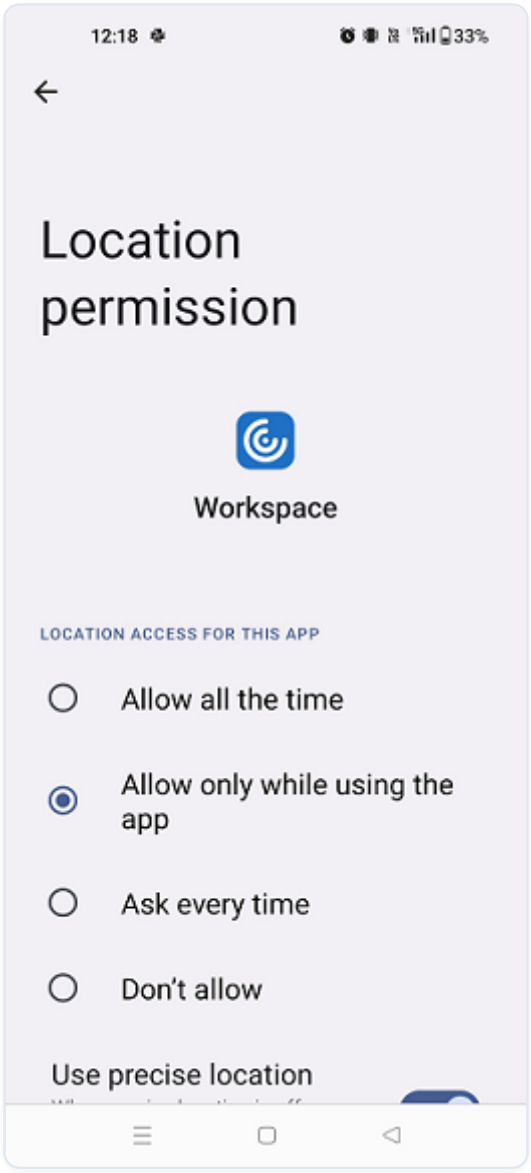
2. **アクセス許可**をタップします。



3. **位置情報**をタップします。



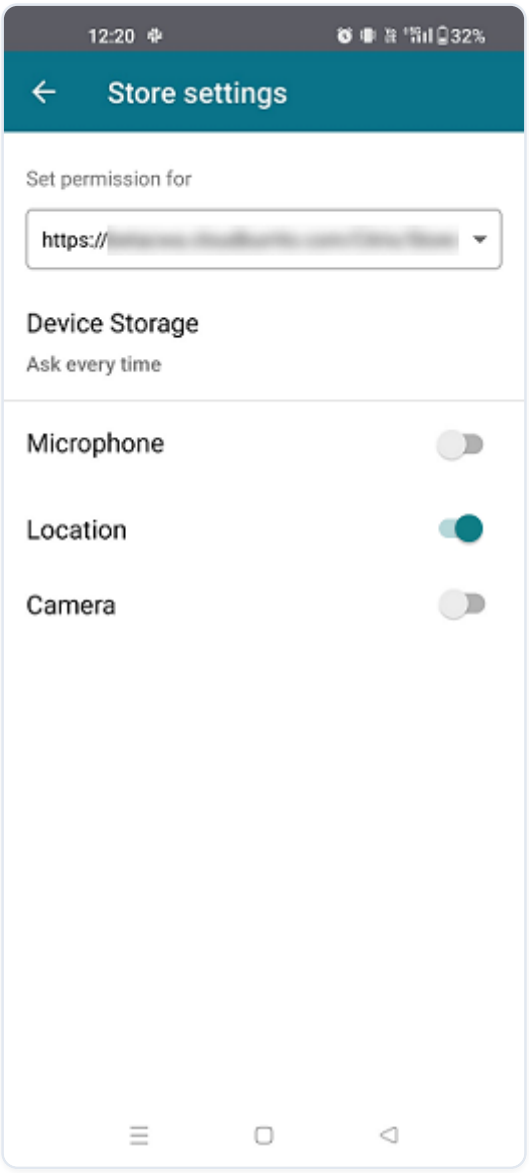
4. 「**このアプリの使用中のみ許可**」を選択します。



これで、Citrix Workspaceアプリの使用中に位置情報にアクセスできます。

アクセスレベルは次のように構成します。

1. Citrix Workspaceアプリを開き、**設定** > **ストア設定**を選択します。
2. **アクセス許可の設定**オプションで、ドロップダウンメニューからストアを選択します。



3. **位置情報**を有効にします。

   これで位置情報が有効になり、AndroidデバイスでCitrix Workspaceアプリを使用中に利用できます。

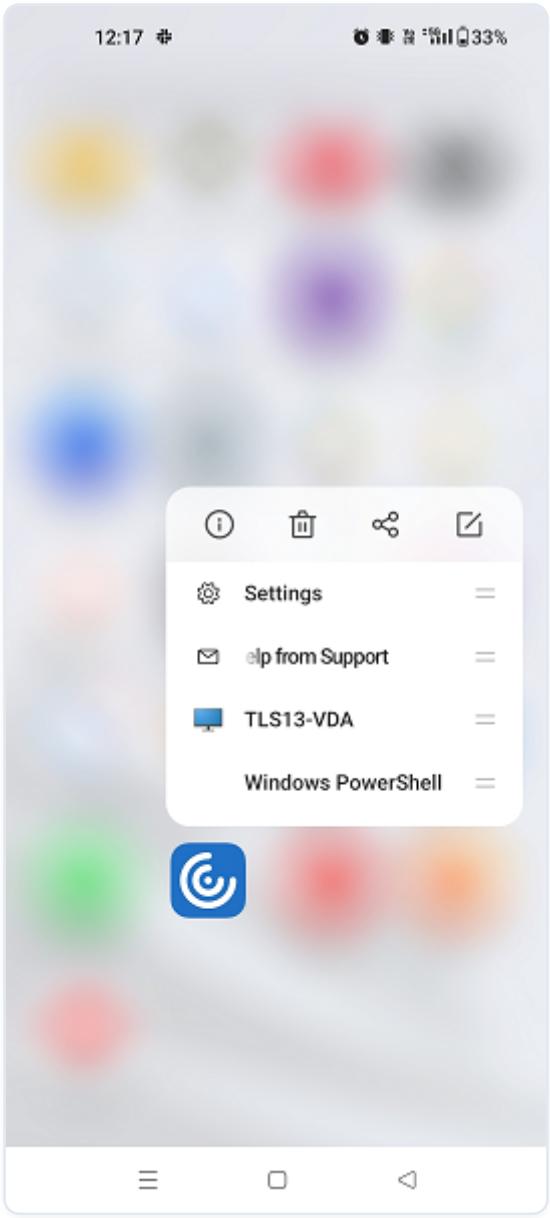
各ストアのカメラアクセス

クライアント選択的信頼機能により、Citrix WorkspaceアプリはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。ローカルクライアントドライブや、マイクやWebカメラなどのハードウェアデバイスへのアクセスを許可できます。

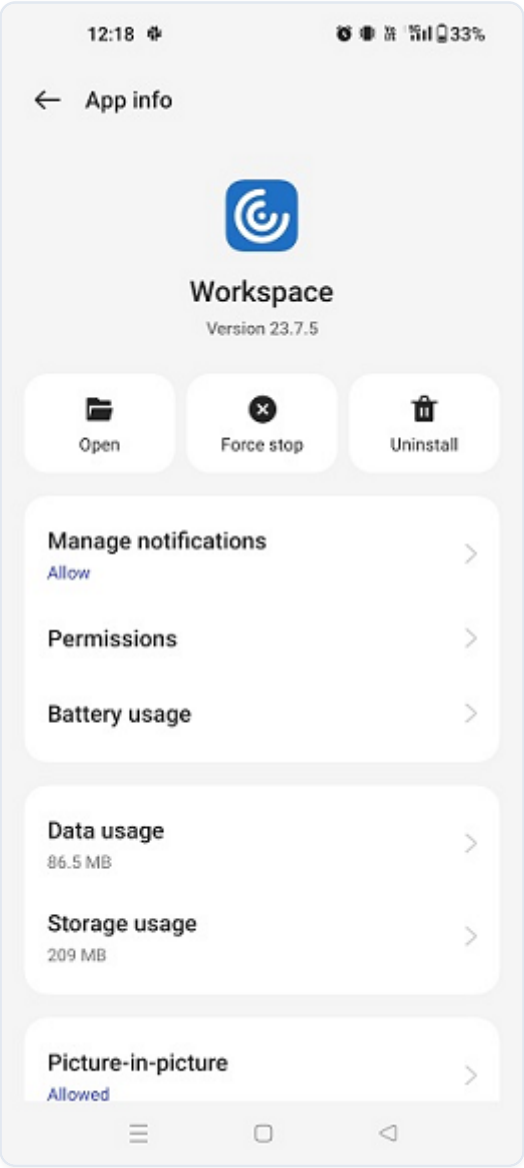
以前は、カメラアクセス設定は構成されているすべてのストアに適用されていました。

現在、Citrix Workspaceアプリは、各ストアがカメラ付き携帯電話にアクセスするためにエンドユーザーの許可を必要とします。カメラにアクセスするための許可は次のように付与します。

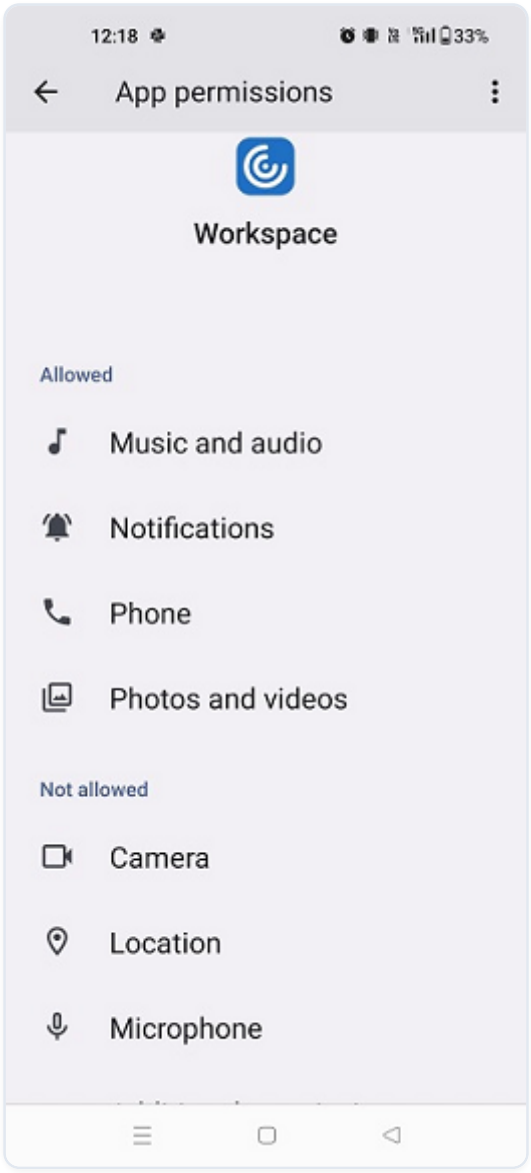
1. Citrix Workspaceアプリのアイコンを長押しし、**アプリ情報** アイコンをタップします。



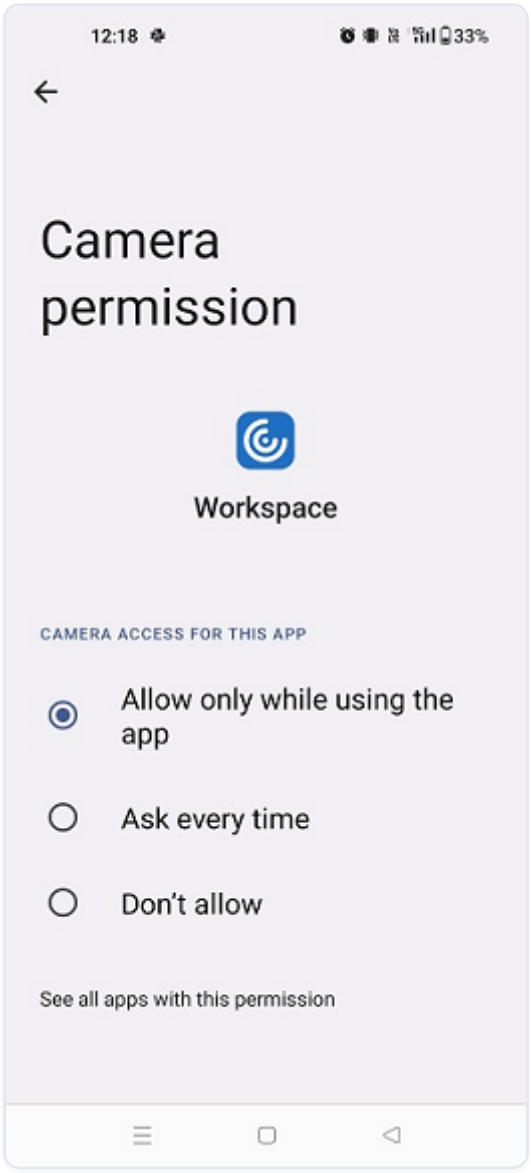
2. 「**Permissions**」をタップします。



3. 「**Camera**」をタップします。



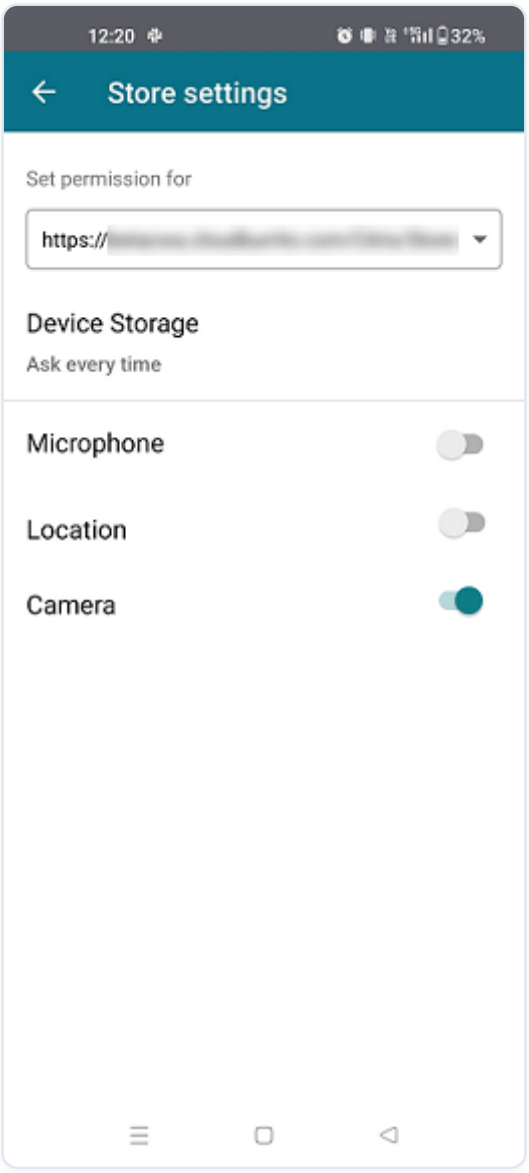
4. 「**Allow only while using this app**」を選択します。



これで、Citrix Workspaceアプリの使用中にカメラにアクセスできます。

アクセスレベルを次の手順で構成します。

1. Citrix Workspaceアプリを開き、「**Settings**」>「**Store settings**」を選択します。
2. 「**Set permissions for**」オプションで、ドロップダウンメニューからストアを選択します。



3. 「**Camera**」を有効にします。

   これでカメラが有効になり、AndroidデバイスでCitrix Workspaceアプリを使用中にカメラを使用できます。

機能フラグの管理

機能フラグは、機能を動的に有効または無効にするために使用されます。Citrix Workspace™アプリで本番環境で問題が発生した場合、その機能が出荷された後でも、影響を受ける機能を動的に無効にすることができます。

ファイアウォールまたはプロキシがアウトバウンドトラフィックをブロックしている場合を除き、機能管理のトラフィックを有効にするための構成は不要です。そのような場合は、ポリシー要件に応じて、特定のURLまたはIPアドレスを使用してトラフィックを有効にする必要があります。

機能フラグ管理のトラフィックを有効にする

Citrix Workspaceアプリバージョン24.9.0以降の場合：

最適な機能とプレビュー機能へのアクセスを確保するには、次のURLへのトラフィックを有効にする必要があります。

- `features.netscalergateway.net`。

> **注：**
>
> 2025年1月以降、Citrix Workspaceアプリのバージョン24.9.0より前のバージョンでは、機能フラグ管理サービスがサポートされなくなります。問題を回避するには、Citrix Workspaceアプリバージョン24.9.0以降にアップグレードしてください。さらに、`features.netscalergateway.net`設定が有効になっていることを確認してください。そうしないと、バージョン24.9.0以降で問題が発生する可能性があります。

ファイルタイプの関連付け

この機能が動作するための前提条件として、Citrix Workspaceアプリの設定に移動し、**デバイスストレージを使用**オプションを**フルアクセス**に設定します。追加オプションとして**毎回確認**も利用でき、セッションでデバイスストレージにアクセスする前に許可を求められます。

> **注：**
>
> **毎回確認**オプションは、セッションごとに適用される設定です。次のセッションには引き継がれません。

> **毎回確認**を選択すると、システムによって生成されたデバイスストレージへのアクセス（ログオフ時など）により、**デバイスストレージを使用**のプロンプトが表示される場合がありますが、これは予期される動作です。

Citrix Workspaceアプリは、管理者がCitrix Studioで構成した設定を読み取り、適用します。 セッションでFTAを適用するには、エンドユーザーがFTAが構成されているStoreサーバーに接続していることを確認してください。

ユーザーデバイスで、ファイルエクスプローラーを起動したいファイルを選択し、**開く**をタップします。Androidオペレーティングシステムは、Citrix Workspaceアプリを使用してファイルを開く（管理者によって構成されたFTAを適用する）か、別のアプリケーションを使用するかのオプションを提供します。以前の選択によっては、デフォルトのアプリケーションが設定されている場合とされていない場合があります。「デフォルトを変更」オプションを使用して、デフォルトのアプリケーションを変更できます。

> **注：**
>
> この機能はStoreFrontでのみ利用可能で、Citrix Virtual Apps and Desktopsバージョン7以降が必要です。

機能における既知の問題と制限

1. スマートカード認証はパスワード認証よりも遅くなる場合があります。たとえば、セッションから切断した後、再接続を試みる前に約30秒待ってください。切断されたセッションにあまりにも早く再接続すると、Citrix Workspaceアプリが応答しなくなる可能性があります。
2. スマートカード認証は、マルチサーバー（ファーム）環境ではサポートされていません。
3. 一部のユーザーはスマートカードのグローバルPIN番号を持っている場合があります。ただし、ユーザーがスマートカードアカウントを使用してサインインする場合、PIV PINを入力する必要があり、グローバルスマートカードPINではありません。これはサードパーティの制限です。
4. Citrixは、スマートカードアカウントからログオフした後、Citrix Workspaceアプリのセッションを終了して再起動することを推奨します。
5. 複数のUSBスマートカードはサポートされていません。
6. ファイルタイプ関連付け機能を使用すると、Microsoft Office、Adobe Acrobat Reader、およびメモ帳アプリケーションでサポートされているMIMEファイル形式のみにアクセスできます。

カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

Citrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、Citrix AnalyticsおよびGoogle Firebaseに自動的に送信します。このデータにより、CitrixはCitrix Workspaceアプリのパフォーマンスを分析し、品質、機能、パフォーマンスを向上させ、製品開発のためのリソース割り当てを最適化し、効果的な人員配置とインフラ投資を通じてサービスレベルをサポートすることができます。

すべてのデータは集計形式でのみ使用および分析され、個々のユーザーやデバイスが特定されたり、具体的に分析されたりすることはありません。CitrixはCEIPを通じて個人を特定できる情報 (PII) を収集せず、すべてのデータ収集は関連する業界のデータプライバシーおよびセキュリティ標準に準拠しています。

収集されるデータ	説明	使用目的?
構成データと使用状況データ	Citrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、そのデータをCitrix AnalyticsおよびGoogle Firebaseに自動的に送信します。	このデータは、CitrixがCitrix Workspaceアプリの品質、信頼性、およびパフォーマンスを向上させるのに役立ちます。

注：

Google Firebaseはユーザーデータを収集しませんが、Citrix Analyticsは欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)、スイス、および英国 (UK) でユーザーデータを収集します。

追加情報

Citrixは、お客様とCitrixとの契約条件に従ってお客様のデータを処理します。お客様のデータは、Citrixサービスセキュリティに関する補足資料に記載されているとおりに保護されます。この補足資料は、Citrixトラストセンターで入手できます。

Citrix AnalyticsおよびGoogle FirebaseへのCEIPデータの送信は、次の方法で無効にできます（ただし、次の表で*で示されている2つのデータ要素は除きます）。

1. Citrix Workspaceアプリを開き、**［設定］**に移動します。
2. **［高度な設定］**を選択します。

   ［高度な設定］ダイアログが表示されます。
3. **［使用状況統計を送信］**オプションのチェックを外します。

Citrix AnalyticsおよびGoogle Firebaseによって収集される特定のCEIPデータ要素は次のとおりです。

オペレーティングシステムのバージョン*	Workspaceアプリのバージョン*	認証構成	デバイス情報
セッション起動方法	Citrixストアの種類	クライアントドライブマッピング構成	
セッション情報	`Recieverconfig.txt` の使用状況	USBリダイレクト構成	HDX RTMEユーザー情報
HTTPおよびHTTPS接続構成	ICA®接続プロトコル情報	Workspaceアプリのレビューアクション	Firebase構成の無効化
追加されたストアの数	画面キャプチャアクション	RSA機能のユーザーアクション	StoreFront と Workspace アプリのユーザー数
アプリの更新アクション	オペレーティングシステムの更新	画面表示アクション	アプリの削除
Web ビュー接続	アプリのデータ消去	アプリの実行	アプリセッションの開始

オンプレミスからクラウドアカウントへの移行

管理者は、オンプレミスのStoreFrontストアURLからWorkspace URLへ、エンドユーザーをシームレスに移行できます。管理者は、Global App Configuration service を使用して、エンドユーザーの操作を最小限に抑えながら移行を実行できます。

構成するには：

1. Global App Configuration Store Settings API URLに移動し、クラウドストアURLを入力します。 例: `https://discovery.cem.cloud.us/ads/root/url/<hash coded store URL>/product/workspace/os/ios`。
2. **API Exploration** > **SettingsController** > **postDiscoveryApiUsingPOST** に移動し、**POST** をタップします。
3. **INVOKE API** をタップします。
4. ペイロードの詳細を入力してアップロードします。StoreFrontストアの有効期限をミリ秒単位のエポックタイムスタンプ形式で入力します。

   例：

```
"migrationUrl": [

{



"url": "<cloud store url>"

"storeFrontValidUntil": "<epoch timestamp in milliseconds>",

}

]   ,
```

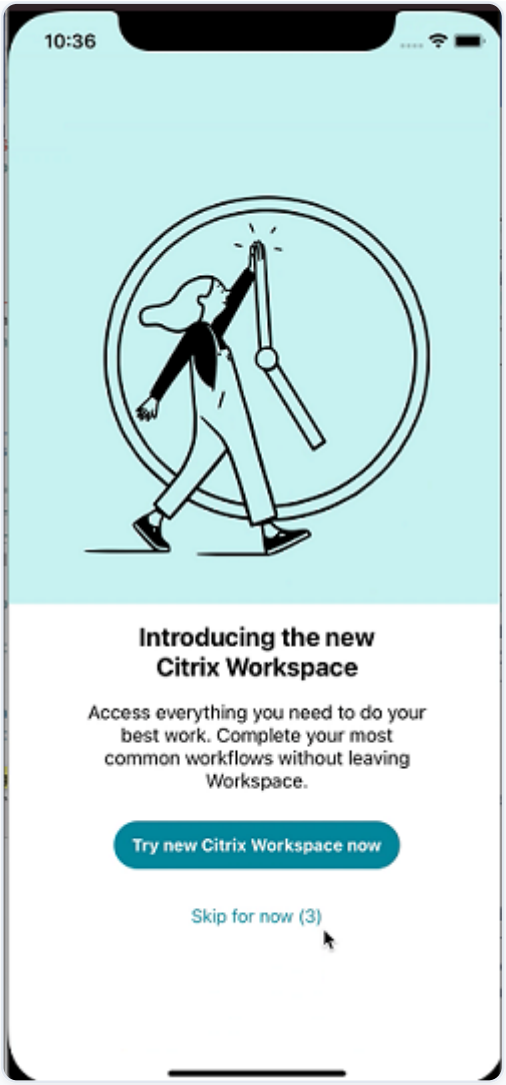
5. サービスをプッシュするには、**EXECUTE** をタップします。

この機能のエンドユーザーエクスペリエンス

エンドユーザーとして、Citrix Workspaceアプリを初めて使用する場合、認証が成功すると、**新しいCitrix Workspaceの紹介**移行画面が表示されます（対象の場合）。**今すぐ新しいCitrix Workspaceを試す**オプションをタップすると、移行が開始されます。移行が成功すると、Workspaceストア（クラウドストア）にアクセスできます。

注：

移行は3回までスキップできます。それ以降は、スキップするオプションなしで移行が強制されます。



Workspace（クラウド）ストアに移行すると、**設定**でStoreFrontストアとWorkspaceストアの両方を確認できます。クラウドストアからオンプレミスのStoreFrontストアに切り替えると、フィードバック画面が表示され、回答が収集されます。

注：

StoreFrontストアには有効期限があります。有効期限が過ぎると、ストアは削除されます。

最新バージョンを使用する

この機能は、Citrix Workspaceアプリの最新バージョンを使用するのに役立ちます。エンドユーザーがPlayストアバージョンよりも古いバージョンのCitrix Workspaceアプリを使用している場合、アプリ内プロンプトで最新バージョンへの更新が求められます。

更新をタップすると、更新がバックグラウンドで行われ、アプリを使い続けることができます。進行状況はスナックバーで確認できます。ダウンロードが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

「ダウンロード完了」(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/download-complete.png)

最新バージョンを使用するには、**今すぐ再起動**をタップします。**後で実行**をタップすると、次回のアプリ起動時にアプリを再起動するよう促すメッセージが表示されます。

グローバルアプリ構成サービスチャネルのサポート

23.4.5リリース以降、管理者はグローバルアプリ構成サービスを使用して、すべてのエンドユーザーに構成を展開する前に設定を定義し、テストできます。このプロセスにより、機能が本番環境に導入される前に十分にテストされることが保証されます。

> **注:**
>
> - Android版Citrix Workspaceアプリは、**デフォルト**および**テストチャネル**構成をサポートしています。デフォルトでは、すべてのユーザーが**デフォルト**チャネルを使用しています。

> 詳細については、グローバルアプリ構成サービスのドキュメントを参照してください。

この機能の使用方法

構成をテストするには：

1. Citrix Workspaceアプリの**設定** > **詳細** > **アプリ構成**に移動します。
2. **テストチャネル**を選択します。

   「テストチャネル」(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/gacs-test-channel.png)

   これでテストを開始できます。

> **注:**

- アプリ構成が**テストチャネル**に存在することを確認してください。サポートが必要な場合は、組織の管理者に問い合わせてください。

GACS認証済みマイクロサービスをサポート（クラウド）

以前は、Android版Citrix Workspaceアプリは、認証されていないエンドポイントからGACS設定を受信していました。バージョン24.9.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは認証済みマイクロサービスをサポートしており、これによりGACSは企業向けユーザーグループを管理できます。この機能は、組織内のさまざまなユーザーグループを管理するための柔軟性と制御を強化することで、管理者を支援します。

注：

この機能は現在、クラウドストアでのみサポートされています。

詳細については、「構成プロファイルを使用したユーザーグループの設定管理（プレビュー）」を参照してください。

アプリ保護のサポート

Android版Citrix Workspaceアプリバージョン24.7.0以降、アプリ保護機能がサポートされています。

アプリ保護は、Citrix Workspaceアプリの機能であり、Citrix Virtual Apps and Desktopsで公開されたリソースを使用する際に強化されたセキュリティを提供します。この機能は、クライアントが画面キャプチャマルウェアによって侵害される可能性を制限します。また、不正な画面キャプチャ、録画、ミラーリング、画面共有、アプリ切り替えを防ぎます。

画面キャプチャ防止機能は、認証プロセス、WebまたはSaaSアプリ、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsで利用できます。Android版Citrix Workspaceアプリでは、スクリーンショットを撮ることはできません。画面をキャプチャしようとすると、スクリーンショットを撮ることは許可されていないというプロンプトが表示されます。

管理者は、以下の項目に対して画面キャプチャ防止機能を有効にすることを選択できます。

- 仮想アプリとデスクトップ
- WebおよびSaaSアプリ

- 認証画面

Android版Citrix Workspaceアプリバージョン24.7.0以降、画面キャプチャ防止機能はデフォルトで利用可能です。ただし、この機能を有効にするには、構成セクションに記載されている構成手順を実行してください。

> **免責事項：**

> アプリ保護ポリシーは、基盤となるオペレーティングシステムの必須機能（画面キャプチャやキーボード入力の取得に必要な特定のAPI呼び出し）へのアクセスをフィルタリングすることで機能します。これは、アプリ保護ポリシーが、カスタムおよび専用のハッカーツールに対しても保護を提供するということです。しかし、オペレーティングシステムが進化するにつれて、画面をキャプチャする新しい方法が出現します。当社はそれらを特定し対処し続けていますが、特定の構成や展開において完全な保護を保証することはできません。

前提条件

- Citrix Virtual Apps and Desktops™ バージョン 1912 LTSR 以降。
- StoreFront™ バージョン 1912 LTSR または Workspace。
- Android 版 Citrix Workspace アプリ バージョン 24.7.0 以降。
- 有効なアプリ保護ライセンス

制限事項

- アプリ保護ポリシーはストアごとにダウンロードされます。ポリシーがダウンロードされているストアから、ポリシーがダウンロードされていない別のストアに移動する場合、新しいストアでは画面キャプチャ防止機能が保護されません。
- **ChromeCustomTab** が使用されている場合、認証画面では画面キャプチャ防止機能はサポートされません。ただし、この機能はネイティブ認証または WebView を使用している場合はサポートされます。**ChromeCustomTab** はクラウドストアでデフォルトで有効になっており、PowerShell モジュールを使用して AndroidWebViewType を webview に変更することで WebView に変更できます。詳細については、「Set-WorkspaceCustomConfigurations」を参照してください。

詳細については、以下を参照してください。

- 「システム要件」
- 「画面キャプチャ防止」

- 「Android 版 Citrix Workspace アプリでキーロギング防止機能付きアプリを開いた場合の動作」

Android 版 Citrix Workspace™ アプリと deviceTRUST® のシームレスな統合

Android 版 Citrix Workspace アプリ バージョン 25.11.0 には deviceTRUST 統合が含まれており、セッション内での継続的なデバイスポスチャチェックを通じてセキュリティを強化します。deviceTRUST は、統合された展開のために Citrix Workspace アプリと統合されます。詳細については、「deviceTRUST」を参照してください。

主要な機能

主な機能は次のとおりです。

- **統合された機能**: バージョン25.11.0以降では、Citrix Workspaceアプリ for Androidの一部としてdeviceTRUSTクライアント拡張機能がデフォルトでインストールされ、展開と管理が簡素化されます。
- **継続的なポスチャチェック**: この機能は、セッション内でエンドポイントデバイスのコンテキストとセキュリティポスチャを継続的にチェックすることでセキュリティを強化し、ゼロトラストセキュリティモデルをサポートします。
- **管理**: 管理者はdeviceTRUSTコンソールを使用して、ポリシーを構成し、デバイス信頼設定を管理します。
- **可視性の向上**: セキュリティ管理者向けに包括的なデバイス情報を提供します。
- **シームレスなユーザーエクスペリエンス**: ユーザーの介入なしに透過的なセキュリティチェックを実行します。

Citrix Virtual Apps and DesktopsでのDevice Trust構成については、「Getting Started for Remote in deviceTRUST® 2507 LTSR」を参照してください。

Unified Endpoint Managementソリューションを使用してCitrix Workspaceアプリを構成する

Unified Endpoint Managementソリューションを使用したストア構成のサポート

Android版Citrix Workspaceアプリは、Unified Endpoint Managementソリューションを使用したWorkspace Store URLのリモート構成をサポートするようになりました。管理者として、Unified

Endpoint Managementソリューションを使用してAppConfigベースのキーと値のペアを使用してストアURLをリモートで管理できます。

Unified Endpoint Managementソリューションを使用してWorkspace Store URLを構成するには、次の手順に従います。

Unified Endpoint Managementソリューションを使用してストアを構成する

Android版Citrix Workspaceアプリは、Unified Endpoint Managementソリューションを使用したWorkspace Store URLのリモート構成をサポートしています。

既存のUnified Endpoint Managementソリューションを使用してWorkspace Store URLをリモートで構成するには、次の手順に従います。

1. Unified Endpoint Managementソリューションプロバイダーにサインインします。
2. アプリのアプリ構成ポリシーを作成します。
3. キーと値のペアをJSONプロパティリストに追加し、次の値を入力します。

    - **キー:** url
    - **値の型:** String
    - **値:** ストアURL (例: prodcwa.cloud.com)

> **注:**
>
> - この例では、説明のためにMicrosoft IntuneがUnified Endpoint Managementソリューションとして使用されています。表示されるUIは、Unified Endpoint Managementソリューションプロバイダーによって異なります。



制限事項

- クラウドストアがすでに設定されており、管理者が新しいクラウドストアを構成した場合、既存のクラウドストアおよび関連するデータや設定は削除されます。Citrix Workspaceで削除を

通知するメッセージが表示されます。その後、新しいクラウドストアがCitrix Workspaceに追加されるように、再度サインインする必要があります。

- 新しい構成を適用するには、Citrix Workspaceアプリを閉じてから再度開く必要があります。

ストアタイプの構成のサポート

23.6.0リリース以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、AppConfigベースのキーと値のペアを使用してストアタイプを構成することをサポートし、Citrix Workspaceアプリを構成できるようになりました。これにより、管理者はアプリの表示方法を制御できます。

キーと値のペアは次のとおりです。

- **キー:** storeType
- **値のタイプ:** 整数
- **値:**

  ◈ 1（デフォルト）に設定されている場合、ユーザーはネイティブまたはデフォルトのストアの読み込みを表示できます。 ◈ 2に設定されている場合、ユーザーはWebインターフェイス内でストアを表示できます。

> **注:**
>
> この機能は有効化を必要としません。

統合エンドポイント管理ソリューションを使用したストア構成の制御

Android向けCitrix Workspaceアプリは、バージョン23.4.5から、統合エンドポイント管理ソリューションを使用してWorkspace Store URLのリモート構成をサポートし始めました。管理者は、統合エンドポイント管理ソリューションを使用して、AppConfigベースのキーと値のペアでストアURLをリモートで管理できます。

詳細については、統合エンドポイント管理ソリューションを使用したストア構成のサポートを参照してください。

バージョン23.7.5以降、管理者はAppConfigベースのキーと値のペアを使用して、エンドユーザーがストアURLを変更できるかどうかを構成できます。

- **キー:** restrict_user_store_modification
- **値のタイプ:** Boolean

- **値:**

  ◈ **true**に設定されている場合、エンドユーザーはストアを変更できません（追加、削除、編集）。

  ◈ **false**に設定されている場合、エンドユーザーはストアを変更できます。

> **注:**
>
> **restrict_user_store_modification**フラグが**true**に設定されている場合、新しい統合エンドポイント管理構成ストアを追加する前に、既存のすべてのストアが削除されます。

統合エンドポイント管理ソリューションによるスクリーンショットの検出と防止

バージョン23.10.0以降、管理者はCitrix Workspaceアプリレベルでエンドユーザーがスクリーンショットを撮るのを防ぐことができます。この機能は、機密情報や個人情報の漏洩を防ぎます。管理者は、AppConfigベースのキーと値のペアを使用してこの機能を構成できます。

- キー: restrictScreenshot
- 値のタイプ: Boolean
- 値:

  ◈ trueに設定されている場合、エンドユーザーはスクリーンショットを撮ることができません。

  ◈ 「false」に設定されている場合、エンドユーザーはスクリーンショットを撮ることができます。

UEM を介して Citrix Workspace アプリの設定をプッシュする

以前は、Citrix Workspace アプリでストア URL を構成できました。

このリリース以降、インフラストラクチャに展開されている任意の統合エンドポイント管理 (UEM) ソリューションツールを介して、管理対象デバイス上の Citrix Workspace アプリ設定を構成できます。

> **注:**

> 管理者として、UEM とグローバルアプリ構成サービス (GACS) を使用して Citrix Workspace アプリ設定を構成するオプションがある場合、UEM は常に GACS よりも優先されます。

構成

次の JSON データは、この機能を構成する方法を示す MS Intune のサンプルです。

```
{

    "kind": "androidenterprise#managedConfiguration",

    "productId": "app:com.citrix.Receiver",

    "managedProperty": [

        {

            "key": "stores",

            "valueBundleArray": [

                {

                    "managedProperty": [

                        {

                            "key": "url",

                            "valueString": ""

                        },

                        {

                            "key": "storeType",

                            "valueInteger": 1

                        },

                        {
```

```
                    "key": "displayName",
                    "valueString": ""
                }
            ]
        }
    ]
},
{
    "key": "url",
    "valueString": "prodcwa.cloud.com"
},
{
    "key": "storeType",
    "valueInteger": 1
},
{
    "key": "displayName",
    "valueString": ""
},
{
    "key": "restrict_user_store_modification",
    "valueBool": false
```

```
        },
        {
            "key": "restrictScreenshot",
            "valueBool": true
        },
        {
            "key": "appSettings",
            "valueBundleArray": [
                {
                    "managedProperty": [
                        {
                            "key": "name",
                            "valueString": ""
                        },
                        {
                            "key": "value",
                            "valueString": ""
                        },
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": false
                        }
```

```
                    ]

                }

            ]

        }

    ]

}
```

キーと値のペアの表

次の表に、キーと値のペアの情報を示します。

設定	説明	キー	値	値の型	既定値
オーディオ	ユーザーがアプリまたはデスクトップ内でオーディオおよびマイク接続を制御できるようにします。	audioRecordingSettingsKey	再生と録音	文字列	再生と録音
予測入力	ユーザーが入力中にテキスト候補を有効にします。	predictiveText	FALSE	ブール値	FALSE
拡張キーボード	セッションで拡張キーボードのサポートを有効にします。	showExtendedKeyboard	TRUE	ブール値	TRUE

設定	説明	キー	値	値の型	既定値
汎用USBリダイレクト	クライアントデバイスからVDAへの任意のUSBデバイスの自動リダイレクトを有効にします。	autoUSB	TRUE	ブール値	FALSE
セッション切断のユーザー確認 (終了前に確認)	セッションを切断する前に、ユーザーが確認できる確認ダイアログを表示します。	askBeforeExiting	TRUE	ブール値	TRUE
クリップボードリダイレクト (Clipboard)	ユーザーがセッション内で切り取り、コピー、貼り付けなどのクリップボード操作を使用できるようにします。	clipboardAccess	TRUE	ブール値	FALSE
アダプティブトランスポート (EDT)	データ転送を最適化するために、TCPよりも優先されるプロトコルとしてEnlightened Data Transportを	edtSetting	TRUE	ブール値	TRUE

設定	説明	キー	値	値の型	既定値
	有効にします。				
表示の向き	ユーザーがデバイスの位置に基づいて表示の向きを選択できるようにします。	displayOrientationKey	ランドスケープモード	文字列	自動
ディスプレイをオンのままにする	ディスプレイをアクティブにし、画面をオンのままにします。	keepscreenOnKey	TRUE	ブール値	FALSE
厳格な証明書検証	サーバー証明書の検証に対して、より厳格な制御を適用します。	`strictcertificatevalidation`	TRUE	ブール値	FALSE
レガシーストアアクセス	ユーザーが以前のバージョンのストアにアクセスできるようにします。	`allowlegacystoreaccess`	TRUE	ブール値	FALSE
リアルタイムメディアエンジン	高解像度の音声通話とビデオ通話のサポートを有効にします。	`RTMEAccess`	TRUE	ブール値	FALSE

設定	説明	キー	値	値の型	既定値
USB自動リダイレクト	クライアントデバイスからVDAへの任意のUSBデバイスの自動リダイレクトを有効にします。	autoUSB	真	ブール値	偽
ネットワーク監視メッセージ	ネットワークパフォーマンスの詳細を提供するアラートメッセージを無効にします。	DisableChannelMonitoringWarnings	偽	ブール値	偽
拡張キー	セッションキーボードで使用するショートカット。	key_map	["strAltTab", "strAlt", "strBackspace", "strAltF4"]	MultiList	ヌル
セッション解像度	ユーザーが画面解像度を選択できるようにします。	sessionResolutionKey	["Fit screen"; "Match server"; "Optimize for high resolution"; "Optimize for metro apps"]	MultiList	"クライアントDPIに合わせる"
表示の向き	ユーザーが表示の向きを選択できるようにします。	displayOrientationKey	["Automatic"; "Portrait mode"; "Landscape mode";]	MultiList	"自動"

以下はJSONデータの例です。この例では、次のようなさまざまな設定値が表示されます。

- ブール値
- 整数
- 文字列
- 文字列のリスト

```
{

    "kind": "androidenterprise#managedConfiguration",

    "productId": "app:com.citrix.Receiver",

    "managedProperty": [

        {

            "key": "stores",

            "valueBundleArray": [

                {

                    "managedProperty": [

                        {

                            "key": "url",

                            "valueString": ""

                        },

                        {

                            "key": "storeType",

                            "valueInteger": 1

                        },

                        {
```

```
                    "key": "displayName",
                    "valueString": ""
                }
            ]
        }
    ]
},
{
    "key": "url",
    "valueString": "your_store_url"
},
{
    "key": "storeType",
    "valueInteger": 1
},
{
    "key": "displayName",
    "valueString": ""
},
{
    "key": "restrict_user_store_modification",
    "valueBool": false
```

```
        },
        {
            "key": "restrictScreenshot",
            "valueBool": true
        },
        {
            "key": "appSettings",
            "valueBundleArray": [
                {
                    "managedProperty": [
                        {
                            "key": "name",
                            "valueString": "showExtendedKeyboard"
                        },
                        {
                            "key": "value",
                            "valueString": "false"
                        },
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": false
                        }
```

```
            ]
        },
        {
            "managedProperty": [
                {
                    "key": "name",
                    "valueString": "enterRegion"
                },
                {
                    "key": "value",
                    "valueString": "-40"
                },
                {
                    "key": "userOverride",
                    "valueBool": false
                }
            ]
        },
        {
            "managedProperty": [
                {
                    "key": "name",
```

```
                    "valueString": "displayOrientationKey"
                },
                {
                    "key": "value",
                    "valueString": "Landscape mode"
                },
                {
                    "key": "userOverride",
                    "valueBool": false
                }
            ]
        },
        {
            "managedProperty": [
                {
                    "key": "name",
                    "valueString": "askBeforeExiting"
                },
                {
                    "key": "value",
                    "valueString": "true"
                },
```

```
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": false
                        }
                    ]
                },
                {
                    "managedProperty": [
                        {
                            "key": "name",
                            "valueString": "key_map"
                        },
                        {
                            "key": "value",
                            "valueString":
"['strAltTab','strAlt','strBackspace','strAltF4']"
                        },
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": true
                        }
                    {
```

```
                    "managedProperty": [
                        {
                            "key": "sessionResolutionKey",
                            "valueString": "key_map"
                        },
                        {
                            "key": "value",
                            "valueString": "['Fit screen'; 'Match server';
'Optimize for high resolution'; 'Optimize for metro apps';]"
                        },
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": true
                        }
                    ]
                    }


                    {
                    "managedProperty": [
                        {
                            "key": "displayOrientationKey",
                            "valueString": "key_map"
```

```
                        },
                        {
                            "key": "value",
                            "valueString": "['Automatic'; 'Portrait mode';
'Landscape mode';]"
                        },
                        {
                            "key": "userOverride",
                            "valueBool": true
                        }
                    ]
                    }
                    ]
                }
            ]
        }
    ]
}
```

UEMを使用して多数のストアを追加する

管理者は、Unified Endpoint Management (UEM) ソリューションを使用して、管理対象のAndroidデバイスに多数のストアを構成できるようになりました。

各ストアの詳細はJSONファイルに追加できます。このJSONファイルは、アプリ構成ポリシーの構成時にアップロードできます。詳細には以下が含まれます。

- ストアURL
- ストアの種類 (オプション)

> **注:**
>
> ストアの種類が指定されていない場合、デフォルトのインターフェイスはネイティブと見なされます。

- ストア名 (オプション)

> **注:**
>
> UEMは、1つのクラウドストアと多数のオンプレミスストアをサポートしています。

> JSONファイルはキーと値の形式である必要があります。詳細については、以下のJSONサンプルデータを参照してください。

> **注:**
>
> サンプルのJSONデータはMicrosoft Intuneに関連しています。JSONデータは他のUEMソリューションでは異なる場合があります。

```
{

    "kind": "androidenterprise#managedConfiguration",

    "productId": "app:com.citrix.Receiver",

    "managedProperty": [

        {

            "key": "stores",

            "valueBundleArray": [
```

```
            {
                "managedProperty": [
                    {
                        "key": "url",
                        "valueString": "test.cloud.com"
                    },
                    {
                        "key": "storeType",
                        "valueInteger": 1
                    },
                    {
                        "key": "displayName",
                        "valueString": "1"
                    }
                ]
            },
            {
                "managedProperty": [
                    {
                        "key": "url",
                        "valueString": "test2.cloud.com"
                    },
```

```
                        {
                            "key": "storeType",
                            "valueInteger": 2
                        },
                        {
                            "key": "displayName",
                            "valueString": "2"
                        }
                    ]
                }
            ]
        },
        {
            "key": "restrict_user_store_modification",
            "valueBool": false
        }
    ]
}
```

注:

- (デフォルト) 整数が1に設定されている場合、ユーザーはネイティブまたはデフォルトのストアの読み込みを表示できます。
- 整数が2に設定されている場合、ユーザーはWebインターフェイス内でストアを表示できます。

ストア構成を含むJSONファイルをアップロードするには、**Configuration settings format** ドロップダウンリストから**Enter JSON data**を選択します。

アプリ構成ポリシーの作成(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/create-app-config-policy.png)

Androidデバイスの永続的なクライアント名

以前のバージョンでは、Android版Citrix Workspaceアプリは、デバイスが工場出荷時の状態にリセットされ、アプリが再インストールされるたびに、Terminal Service (TS) クライアント名（例: roid-XXXXXX）を動的に再生成していました。このプロセスは、プリンターの割り当てなど、リソースアクセスにクライアント名を使用する組織にとって問題を引き起こしていました。ユーザーはプリンター構成を失い、再度アクセスを要求する必要があったため、ユーザーとIT管理者の両方にとって追加の作業が発生していました。

バージョン25.11.0では、同じTSクライアント名を維持するか、安定したデバイス識別子（シリアル番号など）またはユーザー情報を使用して予測可能に生成します。この機能強化により、管理オーバーヘッドが大幅に削減されます。

利点

- **一貫したリソースアクセス**: デバイスのリセット後も、ユーザーは割り当てられたプリンターアクセスやその他の構成を保持します。
- **管理オーバーヘッドの削減**: ITチームは、デバイスの再登録後にプリンターアクセスやその他の設定を再構成する必要がなくなります。
- **ユーザーエクスペリエンスの向上**: ユーザーは設定を失うことなく、よりスムーズな操作を体験できます。
- **拡張性の向上**: 組織はモバイルデバイスでのCitrix展開をより効率的に拡張できます。

管理者は、柔軟性と制御のために、MDMまたはUEMソリューション（例: Intune、CEM）またはGACSを通じてクライアント名を構成または上書きできます。

構成方法

構成方法	説明	構成構文
MDM/UEM	管理者は、MDM/UEMシステム（例：XenMobile、Intune）を使用してクライアント名を事前定義または上書きできます。	`{ "clientName": "Any String" }`
GACS	Citrix GACS展開による構成をサポートします。	`{ "clientName": "Any String" }`

モバイルデバイス管理 (MDM) およびグローバルアプリ構成サービス (GACS) を使用した再接続アラートのよりスマートな制御

26.3.0リリース以降、モバイルデバイス管理 (MDM) およびグローバルアプリ構成サービス (GACS) を使用して、SR/ACRの有効期限切れ後の再接続アラートダイアログをよりスマートに制御できます。

インターネット接続が失われ、アプリが再接続を試みると、アプリはセッションの信頼性 (SR) と自動クライアント再接続 (ACR) をトリガーします。SR/ACRの有効期限が切れる前にセッションが再開されない場合、アプリはユーザーに再接続を促す **再接続アラート** ダイアログを表示します。

モバイルデバイス管理 (MDM) およびグローバルアプリ構成サービス (GACS) で、この再接続アラートダイアログを制御できるようになりました。MDMおよびGACSポリシーは、SRとACRの両方が期限切れになった後にシステムが **再接続アラート** ダイアログを表示するかどうかを決定します。

アプリは、セッションの信頼性 (SR) または自動クライアント再接続 (ACR) の有効期限切れによりセッションが終了した場合に、**再接続アラート** ダイアログを表示するかどうかを決定するために、モバイルデバイス管理およびグローバルアプリ構成サービスのポリシーを尊重します。

管理者は、**settings_manual_reconnect** キーを使用してこの動作を構成します。

- **キー:** settings_manual_reconnect
- **タイプ:** ブール値 (true または false)

動作:

- **settings_manual_reconnect = 有効**

- SR-ACR の有効期限切れによりセッションが終了した場合、アプリは **再接続アラート** ダイアログを表示し、ユーザーが手動で再接続するかどうかを決定できるようにします。
- **注:** このダイアログは、対応する機能が内部的にも有効になっている場合 (機能フラグ経由) にのみ表示されます。

- **settings_manual_reconnect = 無効**
  - このシナリオでは、アプリは **再接続アラート** ダイアログを**表示せず**、セッションを終了します。

この設定により、管理者はユーザーが **再接続アラート** ダイアログを表示するかどうかを一元的に制御し、再接続エクスペリエンスを環境に合わせて調整できます。

より明確でユーザーフレンドリーな再接続メッセージ

アプリが再接続を試みると、ユーザーにはセッションが中断された理由とアプリが何をしているかを説明する**状況に応じたメッセージ**が表示されます。この機能強化により、エクスペリエンスがより透過的になり、混乱が軽減されます。

例:

- **ネットワーク中断**

  「ネットワークが中断されました。00:30 に再接続を試行しています」

  接続の問題によりセッションが切断され、アプリがセッションの復元を試みる場合に、このメッセージが表示されます。
- **デバイスがロックされました**

  「デバイスがロックされました。00:30後に再接続を試行しています」

  デバイスがロックされたためにセッションが中断され、アプリがセッションの再開を試みる場合に、このメッセージが表示されます。
- **アプリが長時間バックグラウンドにある**

  「アプリがバックグラウンドに移動しました。00:30後に再接続を試行しています」

  このメッセージは、アプリがバックグラウンドで長時間実行され、セッションが中断された後、接続を再確立するときに表示されます。
- **フォールバック（汎用）エラー**

  「接続が失われました。00:30後に再接続を試行しています」

切断の正確な原因が不明な場合でも、アプリが再接続を試みる場合に、このメッセージが使用されます。

モバイルデバイス管理（MDM）のネストされたJSON構成のサポート

2603リリース以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、モバイルデバイス管理（MDM）構成用の*ネストされたJSON構造*をサポートし、*AppConfig (appconfig.org) ガイドライン*に準拠しています。組織は、両プラットフォームでの管理対象アプリ構成に関する業界標準に従い、高度なユースケース向けに構造化された階層的な構成値を定義できます。

ネストされたJSONのサポートは、MDMプロバイダーの機能によって異なります。アプリケーションはネストされたJSONペイロードを正しく解析して適用しますが、一部のMDMソリューションは、AppConfigの実装の一部としてネストされたJSON構造を完全にサポートしていないか、正しく配信していません。

ネストされたJSON構成が必要で、次のような問題が発生する場合：

- 構成値が期待どおりに適用されない
- ネストされたキーがフラット化される、無視される、または拒否される
- AppConfigペイロードの保存中または展開中のエラー

ネストされたJSON AppConfigペイロードに対するサポートレベル、および適用される制限や必要なフォーマットについて、MDMプロバイダーに直接お問い合わせください。

サポートされている構成スキーマとキーはAppConfig標準に準拠しており、ネストされたJSON配信を完全にサポートするMDMソリューションを使用する場合、アプリケーション側の変更を行う必要はありません。

周辺機器

強化されたオンスクリーンキーボードエクスペリエンス

Citrix Workspaceアプリ for Android 25.11.0では、Windows Virtual Desktop Agent (VDA) 2511デスクトップに接続する際の自動キーボード表示の動作が改善されました。

これらの機能強化により、オンスクリーンタッチキーボードを使用しながら、デスクトップセッションの下部にある入力フィールドやタスクバー要素を操作する際の使いやすさが向上します。

自動キーボード表示機能を有効にして、Citrix Workspaceアプリ for AndroidからWindowsデスクトップにアクセスすると、次のようになります。

- セッションの下部にある入力フィールドに入力する際、アプリはテキスト入力カーソルを表示したままにします。
- タスクバーの**Windows検索**ボックスまたは**スタートメニュー**をタップすると、セッションビューが自動的に調整され、UI要素がタッチキーボードの上に表示されたままになります。
- セッションビューを手動で調整することなく、検索ボックスに表示される入力内容を確認したり、他のタスクバー要素を操作したりできます。

これらの改善により、タッチベースのAndroidデバイスでの入力エクスペリエンスがよりスムーズで予測可能になります。

構成方法

前提条件:

- Citrix Workspaceアプリ for Android: バージョン25.11.0以降
- Windows Virtual Desktop Agent (VDA): バージョン2511以降

自動キーボード表示を有効にする

VDAでは、この機能はデフォルトで無効になっています。有効にするには、次の手順を実行します。

1. VDAで自動キーボード表示ポリシーを有効にします。
2. 次のレジストリキーと値を作成します。
    - レジストリパス: HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\IcaMrvc
    - 値の名前: DisableInputPane
    - 値の型: DWORD
    - 値のデータ: 0
3. 変更を有効にするには、VDAセッションを再起動します。

外部キーボードのスキャンコード入力モード

24.1.0リリース以降、外部物理キーボードを使用する際に、キーボード入力モードとしてスキャンコードを選択できるようになりました。この機能は、Androidデバイスを外部Windows PCの標準キーボードと組み合わせて使用する場合に役立ちます。Samsung DeX機能の使用に似ています。

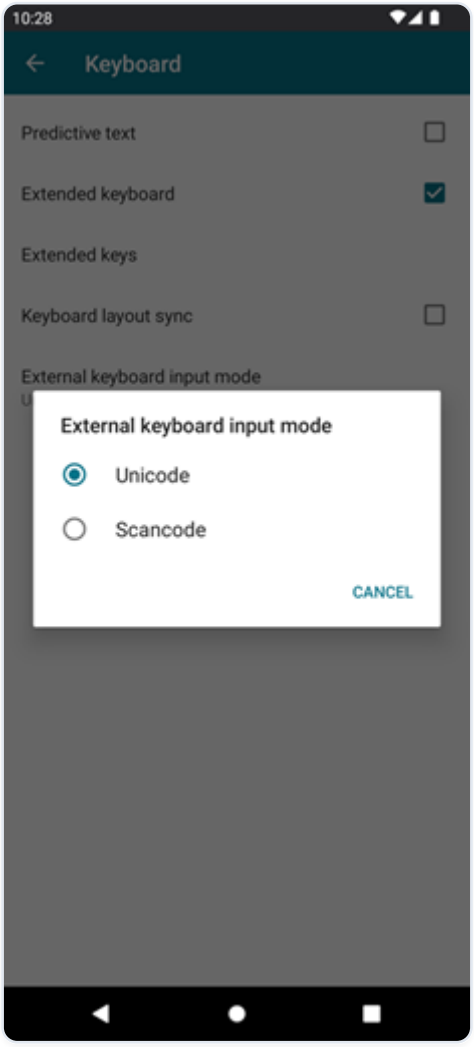
スキャンコードを使用すると、Androidのソフトキーボードではなく、VDAのキーボードレイアウトを使用できます。これにより、AndroidではなくWindowsの入力スタイルに完全に従うことができます。東アジア言語で入力する場合に非常に役立ち、全体的なユーザーエクスペリエンスを大幅

に向上させます。エンドユーザーは、クライアントではなくサーバーのキーボードレイアウトを使用していると感じるかもしれません。言い換えれば、ユーザーはキーボードがAndroidキーボードではなくWindowsキーボードのように動作すると感じるかもしれません。詳細については、この記事のユースケースセクションを参照してください。

機能の使用方法

スキャンコード機能を使用するには：

1. Android版Citrix Workspaceアプリを開き、**設定** > **一般** > **キーボード**に移動します。
2. **外部キーボード入力モード**をタップします。



3. 以下のいずれかのオプションを選択します。

   - **スキャンコード** - クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置を送信し、VDAが対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
   - **Unicode** - クライアント側のキーボードからVDAにキーを送信し、VDAがVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。

デフォルトでは、外部キーボード入力モードとして**Unicode**が選択されています。

4. **スキャンコード**をタップします。

   セッション中に、IME機能を使用してリモートキーボードを切り替え、サーバーのキーボードレイアウトで入力できます。

ユースケース

たとえば、Androidデバイスに接続されたUSインターナショナルキーボードレイアウトを使用しているシナリオを考えてみましょう。

スキャンコードを選択し、外部キーボードのCapsLockの隣にあるキーを入力すると、スキャンコード`1E`がVDAに送信されます。VDAは`1E`を使用して文字`a`を表示します。

Unicodeを選択し、外部キーボードのCapsLockの隣にあるキーを入力すると、文字`a`がVDAに送信されます。そのため、VDAが同じ位置に異なる文字を持つ別のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字`a`が画面に表示されます。

> **注：**
>
> モバイルデバイスでタッチキーボードを使用する場合、Unicodeは推奨される入力モードです。これは、タッチキーボードのキーが通常スキャンコードを生成しないためです。

外部Webカメラのサポート

Citrix Workspaceアプリfor Androidは、セッション内で外部接続されたWebカメラをサポートするようになりました。USB Webカメラを接続し、カメラアイコンをタップして外部Webカメラ名を選択することで、ビデオ会議に利用できます。これにより、エンドユーザーが利用できるリソースを活用してセッションエクスペリエンスが向上します。

> **注：**
>
> 外部ウェブカメラの名前は、外部カメラが検出された後にのみ表示されます。

> 外部ウェブカメラ(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/external-webcam.png)

次回ビデオ会議アプリを使用する際、システムは設定を記憶し、それに応じてカメラ設定を使用します。たとえば、前回のビデオ通話を外部ウェブカメラの設定で完了した場合、次回は外部ウェブカメラがデフォルトで選択されます。

画面上のカメラアイコンをタップして、カメラ設定を変更できます。通話中にカメラ設定を変更することも可能です。

注:

- 外部カメラを取り外すと、フローティングの複数カメラアイコン  がフリップボタン  に変わります。**カメラの選択**ダイアログが開いている場合は閉じ、VDA上の外部カメラビューは応答しなくなります。
- この機能は、オンプレミス展開とクラウド展開の両方に適用されます。

クライアントドライブマッピング

Citrix Workspaceアプリは、利用可能なクライアントドライブをサーバーに通知します。デフォルトでは、クライアントドライブはサーバーのドライブ文字にマッピングされ、セッションに直接接続されているように表示されます。これらのマッピングは、現在のセッション中の現在のユーザーのみが利用できます。

注:

この機能は、SDKバージョン24以降を実行しているAndroidバージョンでのみサポートされています。

クライアントドライブマッピング (CDM) により、セッション内でプラグアンドプレイストレージデバイスを使用できます。そのため、大容量ストレージデバイス (例: ペンドライブ) を使用して、ペンドライブとユーザーデバイス間でドキュメントをコピー＆ペーストできます。

さらに、CDM設定がフルアクセスまたは読み取りアクセスに設定されている場合、デバイスの内部ストレージをセッションへのマッピングされたドライブとして利用できます。

機能の制限事項:

- Android APIは動作が遅いことが確認されており、特定の操作が遅延します。
- Pixelデバイスでは、外部ストレージ用のCDMはサポートされていません。
- 外部ストレージデバイスでは、ファイルタイプの関連付けはサポートされていません。

この機能の既知の問題:

- 外部ストレージデバイスを接続すると、Workspaceアプリの画面がフォアグラウンドとバックグラウンドの間で切り替わることがあります。

クライアントドライブマッピングの機能強化

以前は、選択されたデバイスストレージの選択肢が、構成されているすべてのストアに適用されていました。

リリース20.8.0以降、Citrix Workspaceアプリでは、構成されているストアごとに専用のデバイスストレージを選択できるようになりました。

セッション起動時に、ストアの詳細とともにデバイスストレージの種類の選択を求めるプロンプトが表示されます。次のいずれかを実行できます。

- デバイスストレージオプションのいずれかを選択し、**OK**をタップします - この選択は現在のセッションにのみ適用されます。起動するたびにデバイスストレージの種類を選択するプロンプトが表示されます。
- デバイスストレージオプションのいずれかを選択し、**今後表示しない**を選択して**OK**をタップします - この選択は、そのストアのすべてのセッション起動に適用されます。それ以降、プロンプトは表示されません。
- **キャンセル**を選択します - 起動するたびに、またセッション内でもデバイスストレージの種類を選択するよう求められます。セッションはデバイスストレージにアクセスできません。

> **注:**
>
> この機能は、直接ICA起動およびCitrix Gatewayが構成されたストアにのみ適用されます。エンドツーエンドSSL設定のストアはサポートされています。

シトリックス キャスティング™

Citrix Castingは、デジタル環境と物理環境を組み合わせて、安全なスマートスペース内でアプリとデータを提供します。この完全なシステムは、モバイルアプリやセンサーなどのデバイス（またはモノ）を接続し、インテリジェントで応答性の高い環境を作り出します。

Citrix Ready workspace hub は Raspberry Pi 3 プラットフォーム上に構築されています。Citrix Workspace アプリを実行しているデバイスは Citrix Ready workspace hub に接続し、アプリまたはデスクトップをより大きなディスプレイにキャストします。

Citrix Casting を使用すると、次のことができます。

- モバイルデバイスで VDA セッションを起動せずに、セッションをローミングできます。
- **Workspace hub** ダイアログから **View hub list** をタップして、利用可能なワークスペースハブのリストを表示します。

Citrix Casting の構成

Citrix Casting は、以下のすべてのシステム要件が満たされている場合に有効になります。

- Citrix Workspace アプリ 1809 for Android 以降がインストールされていること
- Bluetooth が有効になっていること
- 位置情報が有効になっていること
- モバイルデバイスとワークスペースハブが同じ Wi-Fi ネットワークを使用していること

Citrix Casting 機能をオンにするには、デバイスで **Settings** と **Citrix Casting** をタップします。

Citrix Workspace アプリでの Citrix Ready workspace hub の詳細については、「Citrix Ready workspace hub の構成」を参照してください。

Citrix Ready workspace hub の詳細については、Citrix Ready workspace hub のドキュメントを参照してください。

USB スマートカード

Citrix Workspace アプリは、StoreFront と連携する USB スマートカードリーダーをサポートしています。有効にすると、USB スマートカードを以下の目的で使用できます。

- スマートカードログオン - ユーザーをCitrix Workspaceアプリに認証します。
- スマートカードアプリケーションのサポート - スマートカード対応の公開アプリケーションがローカルのスマートカードデバイスにアクセスできるようにします。

Citrix Workspaceアプリは、Biometric Associatesに記載されているすべてのAndroidデバイスでこの機能をサポートしています。

Citrix Workspaceアプリは、以下の種類のUSBスマートカードをサポートしています。

- 個人識別検証 (PIV) カード

- 共通アクセスカード (CAC)

USBスマートカードは、Androidオペレーティングシステムバージョン7.xから11.xまでサポートされています。

USBスマートカード認証は、**設定** > **アカウントの管理** から有効にすることもできます。

USBスマートカードの構成

前提条件:

- Google PlayストアからAndroid PC/SC-Liteサービスをダウンロードしてインストールします。

1. USBスマートカードリーダーをモバイルデバイスに接続します。スマートカードリーダーの接続については、製造元が提供するスマートカードリーダーの仕様を参照してください。
2. スマートカード対応のStoreFrontアカウントを追加します。
3. Citrix Workspaceアプリのログオンページで、**アカウントの追加** をタップします。**スマートカードを使用** オプションをタップします。
4. 既存のアカウントを編集してUSBスマートカード認証を使用するには、**アカウント** > **編集** をタップし、**スマートカードを使用** オプションをタップします。

ウェブカメラリダイレクトのサポート

デバイスのフロントカメラをセッションにリダイレクトできるようになりました。32ビットおよび64ビットアプリケーションの両方がサポートされています。デフォルトでは、ウェブカメラの自動リダイレクトは無効になっています。

フロントカメラとリアカメラのリダイレクトのサポート

Citrix Workspaceアプリ for Androidでは、HDXセッション内でカメラの位置をフロントからリアへ、またはその逆に切り替えることができるようになりました。32ビットおよび64ビットアプリケーションの両方がサポートされています。

カメラを起動するとフローティングボタンが表示されます。フローティングボタンを1回タップすると、フロントカメラとリアカメラの位置が切り替わります。フローティングボタンは画面上で自由に移動させ、どこにでも配置できます。

この機能の既知の問題

- キャスト機能またはドキュメントスキャン機能が有効になっている場合、フローティングボタンが部分的または完全に遮られます。

外部マイクのサポート

以前は、Citrix Workspaceアプリ for Androidはデバイスのマイクを介したオーディオリダイレクトのみをサポートしていました。

バージョン23.10.5以降、Citrix Workspaceアプリ for Androidは外部マイクをサポートしています。マイクはUSBまたはBluetoothベースの周辺機器にすることができます。

USBまたはBluetoothマイクを接続すると、音声は外部マイクからセッションにリダイレクトされます。デバイスから外部マイクを取り外すと、音声は自動的にデバイスのマイクにリダイレクトされます。

この機能は、たとえば外部マイクを次のものに接続する場合に役立ちます。

- 電話
- タブレット
- スマートテレビ
- 会議室の外部モニター。

アダプティブオーディオのサポート

Android向けCitrix Workspaceアプリは、HDXアダプティブオーディオをサポートしています。この機能は、優れたオーディオ品質と低遅延をユーザーに提供するように設計されています。

この機能は、**アダプティブオーディオ**ポリシーを有効にすることで構成できます。

ポリシーの作成(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/create-policy.png)

機能の制限

セッション中に、あるデバイスでオーディオを再生してから別のデバイスに切り替えると、オーディオが適切に聞こえなくなることがあります。回避策として、オーディオを一時停止し、約5〜10秒待つと、音声が聞こえるようになります。

詳しくは、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントにあるオーディオポリシー設定の記事を参照してください。

Android向けエコーキャンセレーションによるセッション内オーディオの最適化

バージョン2507以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、インテリジェントなエコーキャンセレーション技術により、Citrix Virtual Apps and Desktopsセッションのオーディオおよびビデオ品質を向上させます。この機能は、オーディオおよびビデオ通話中のフィードバックとバックグラ

ウンドエコーを自動的に低減し、必要なハードウェアを備えたサポート対象デバイスでよりクリアなコミュニケーション体験を提供します。

> **注：**
>
> この機能は、ハードウェアの制限、ソフトウェアの不整合、または既存のオーディオ処理機能との競合により、特定のデバイスで期待どおりに動作しない場合があります。

最適なパフォーマンス

当社のテストでは、この機能は**Google Pixelデバイス**でうまく機能することが示されています。これらのデバイスは、一貫したオーディオ処理機能とエコーキャンセレーションに対する最適なハードウェアサポートを提供します。

オーディオのロス耐性モード

モバイルユーザーは、高遅延およびパケット損失のあるネットワーク経由で接続する際に、仮想セッション中に途切れ途切れの音、エコー、中断などのオーディオの問題を経験します。これらの問題は、コミュニケーションと生産性に影響を与えます。Android版Citrix Workspaceアプリバージョン25.11.0は、デスクトッププラットフォームに匹敵する一貫した高品質のオーディオを提供するために、Android向けEDTロスオーディオをサポートしています。

この機能は、困難なネットワーク条件下で効果的に機能するCitrixのUDPベースのプロトコルであるEDT (Enlightened Data Transport) を使用します。EDTロスオーディオは、リアルタイムオーディオストリーミングを最適化し、途切れや途絶えを最小限に抑えながら、改善されたオーディオ品質を提供します。

この機能は、遅延とパケット損失のあるネットワーク経由で接続するユーザー向けに、リアルタイムストリーミングを強化し、EDT経由のオーディオ品質を向上させます。

ロス許容モードとEDTの詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントにある追加情報を参照してください。

オーディオのロス許容モードはデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするか、再度有効にするには、次の手順を完了してください。

1. HDXアダプティブトランスポート (EDT)を有効にします。
2. オーディオのロス許容モードを有効にします。

オーディオデバイスの自動同期によるオーディオ音量制御の同期

Android版Citrix Workspaceアプリ25.11.0は、オーディオ音量制御をサポートし、クライアントデバイスとサーバーシステム間で再生音量とミュート状態をリアルタイムで同期します。

セッションを開始すると、アプリはクライアントの再生音量をサーバーに送信し、録音音量を50に設定します。再生音量はクライアントまたはサーバーのいずれかから調整できます。プラットフォームの制限により、録音音量制御はサーバーのみに制限されます。

ウィンドウズ VDAによる強化された自動キーボード表示・非表示

Android版Citrix Workspaceアプリバージョン26.3.0は、Windows Virtual Delivery Agent (VDA) に接続する際の自動キーボード表示/非表示の動作を改善します。この強化により、ユーザーの操作パターンに応答するよりインテリジェントなキーボード管理が提供され、アクティブな入力セッション中の意図しないキーボードの非表示が減少します。

以前のバージョンでは、Android版Citrix Workspaceアプリは、ユーザーの現在の操作コンテキストに関係なく、Windows **VDAがキーボード非表示要求を送信するたびに**、オンスクリーンキーボードを即座に非表示にしていました。このアプローチは、アクティブなタイピングセッション中にキーボードが予期せず消える原因となることがあり、ユーザーのワークフローを中断し、手動でのキーボード再アクティブ化を必要としました。

改善された機能は、Windows VDAからのキーボード非表示要求を実行する前に、インテリジェントなコンテキスト分析を導入します。Android版Citrix Workspaceアプリがキーボード非表示要求を受信すると、アプリは最近のユーザー操作を評価するようになりました。

- **アクティブなユーザー操作が検出されました**: アプリが有効なユーザーのシングルタップイベントを検出した場合、応答性の高い動作を維持するためにキーボードはすぐに非表示になります。
- **最近のユーザー操作がない場合**: 有効なシングルタップイベントが発生しなかった場合、非表示要求は即座に実行されず、保留状態のままになります
- **実行の延期**: 保留中の非表示要求は、ユーザーが編集不可能な領域で次にシングルタップを実行したときに実行され、ユーザーの意図とアクションが一致するようにします

利点

- **ワークフローの中断を軽減**: アクティブなタイピングセッション中に、意図しないキーボードの非表示が少なくなり、ユーザーは中断を軽減できます
- **ユーザーエクスペリエンスの向上**: ユーザーが最も必要とするときにキーボードが表示されたままになり、入力タスクへの集中を維持できます

- **インテリジェントなインタラクション処理**: この機能は、システム生成の要求とユーザーが開始したアクションを区別します
- **シームレスなVDA統合**: 強化された動作は、Windows VDAキーボード管理と透過的に連携します

この機能強化は、Windows VDAセッション内でテキストフィールド、フォーム、および継続的なキーボード入力を必要とするアプリケーションを頻繁に操作するユーザーに特に役立ちます。

Secure HDXによるEDT Lossy接続のサポートの改善

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、クライアントとVirtual Delivery Agent (VDA)間の直接通信シナリオにおける**EDT (Enlightened Data Transport) lossy connections**の強化されたロジックを搭載しました。以前は、オーディオおよびグラフィック伝送でEDT lossyを有効にするには**DTLS**が必要でした。現在、この要件は削除され、構成が簡素化され、柔軟性が向上しました。

このアップデートにより、**Secure HDX 2.0**はlossyパケットの有効な暗号化方法として認識され、Secure HDXの使用時にDTLSへの依存がなくなりました。 この改善により、より安全で柔軟な接続エクスペリエンスが提供されます。これは、**HDX Direct**または**Secure HDX**構成を使用する環境に有益であり、DTLSのみに依存することなく暗号化標準が維持されます。

Web Interfaceのアンチキーロギングサポート

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、Web Interface (カスタムポータル) 環境向けのアンチキーロギングサポートを提供するようになりました。この機能は、サインイン画面、リソース列挙画面、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsセッション中に、マルウェアキーボードやカスタムキーボードがキーストロークをキャプチャするのを防ぐことで、機密情報を保護します。アンチキーロギングサポートは以前はクラウドストアおよびオンプレミスストア構成でのみ利用可能でしたが、すべてのWorkspaceアプリ環境でセキュリティを強化するためにWeb Interface展開にも拡張されました。

Citrix Workspaceアプリ for Androidのリアルタイムキーボード設定

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、セッションの再接続を必要とせずに、アクティブなセッション中にキーボード設定の変更を即座に適用するようになりました。この機能強化により、キーボード構成の変更を有効にするためにユーザーがセッションを切断して再接続する必要があった以前のワークフローが不要になります。

これまで、Android版Citrix Workspaceアプリで、キーボードレイアウト同期、外部キーボード入力モード（スキャンコード/Unicode）、その他のキーボード設定など、キーボード関連の設定を変更したユーザーは、ワークフローの中断を経験していました。これらの変更を有効にするには、現在のセッションを終了し、新しい接続を確立する必要がありました。このプロセスは生産

性を阻害し、特に異なる作業コンテキストやVDA環境に合わせてキーボード設定を頻繁に調整するユーザーにとって、ユーザーエクスペリエンスに摩擦を生じさせていました。

リアルタイムキーボード設定機能により、サポートされているすべてのキーボード設定で構成変更が即座に適用されます。

- **キーボードレイアウト同期**: セッションを中断することなく、AndroidデバイスとVDA間の自動キーボードレイアウト同期を有効または無効にします
- **外部キーボード入力モード**: アクティブなセッション中に、外部キーボードのスキャンコードモードとUnicodeモードを即座に切り替えます
- **キーボードショートカットとホットキー**: ローカルデバイスとリモートセッション間でのシステムショートカットの動作を変更します
- **IME (入力メソッドエディター) 設定**: 言語入力メソッドとキーボードレイアウトをその場で調整します

利点

- **生産性の向上** - ユーザーは、セッションの状態、未保存の作業、またはアクティブなアプリケーションを失うことなく、キーボード設定を即座に適用することで、ワークフローの継続性を維持できます。
- **ユーザーエクスペリエンスの向上** - この機能により、セッション再接続の摩擦が解消され、最新のアプリケーションに対するユーザーの期待に応えるシームレスな設定エクスペリエンスが作成されます。
- **柔軟な構成管理** - ユーザーは、複数回のセッション再起動なしに、キーボード設定をリアルタイムでテストおよび調整し、特定のユースケースに最適な構成を見つけることができます。
- **混在環境のサポート強化** - さまざまなキーボード要件を持つ組織は、異なるVDA環境やタスクを切り替える際に、ユーザーが入力メソッドを迅速に適応させる能力から恩恵を受けます。

機能の制限事項

- 変更は現在の有効なセッションに適用されます。複数の同時セッションには個別の構成が必要です。
- 一部の高度なキーボード機能では、ネットワークの状態によっては短い同期遅延が発生する可能性があります。
- 外部キーボードの検出は接続時に行われます。キーボードのホットスワップには、短い構成の更新が必要になる場合があります。

追加情報

キーボード構成オプションの詳細については、以下を参照してください。

- 外部キーボードのスキャンコード入力モード。
- キーボードレイアウトの同期。
- 強化されたオンスクリーンキーボードエクスペリエンス。

グラフィックとディスプレイ

2607以降、この機能はAndroid版Citrix Workspaceアプリのディスプレイ設定を再設計します。これにより、設定がより理解しやすく、使いやすくなります。新しいグラフィック設定は、デバイスのネイティブディスプレイ構成と自動的に同期されるため、手動で調整することなく最高の視覚体験が得られます。

グラフィック設定のAndroidネイティブ設定との自動同期

主な改善点

- **セッション解像度設定の簡素化:** セッション解像度設定は、5つの技術的なオプションから3つの直感的な選択肢に簡素化されました。
- **集中化されたディスプレイ設定: ディスプレイの向き**と**ディスプレイをオンのままにする**設定は、**設定 > ディスプレイ**で見つけることができるようになりました。
- **DPI変更の即時適用:** DPI調整などのディスプレイ設定の変更は、すぐに適用されます。これらの変更を有効にするために、セッションを切断して再接続する必要はありません。

既知の制限事項

- ライブDPI変更には、互換性のあるVDAバージョンが必要です。古いVDAでは、セッションの再接続が必要になる場合があります。
- **最小セッションサイズを制限する**トグルは、**画面に合わせる**が選択されている場合にのみ利用できます。
- 「**サーバー設定に合わせる**」が有効になっている場合、他のすべての解像度オプションは無効になります。

使用例

ネイティブ解像度が `2264 x 1080` のデバイスを想定します。

設定	セッション解像度	表示結果
デバイスのディスプレイに合わせる	`2264 x 1080`	シャープで適切にスケーリングされ、ネイティブアプリの表示と一致します
高解像度向けにスケーリング	`1132 x 540`	すべてが大きく、読みやすくなります
画面に合わせる	`2264 x 1080`	最大のワークスペース領域。テキストが小さく表示される場合があります。

セッション解像度を構成する

1. **設定 > ディスプレイ > セッション解像度**に移動します。
2. 次のいずれかのオプションを選択できます。

   - **デバイスのディスプレイに合わせる:** デバイスのネイティブ解像度とDPI設定に合わせます。テキストと画像が鮮明で適切なサイズで表示されます。
   - **高解像度向けにスケーリング:** テキストと画像を大きくします。セッションはデバイスの解像度の半分で実行されます。
   - **画面に合わせる:** セッションを画面いっぱいに拡大します。これにより、最大のワークスペース領域が得られます。

追加設定を構成する

1. **サーバー設定に合わせる:**

   - このオプションを有効にすると、IT管理者がサーバーで定義した解像度が使用されます。これは、ディスプレイ設定が標準化されている管理環境で役立ちます。
   - このトグルがオンの場合、上記の3つの解像度オプションはグレー表示されます。
   - デフォルトでは、公開デスクトップは全画面で起動します。公開アプリケーションは`1024 x 768`で起動します。
   - IT管理者は、StoreFrontの設定を通じてこれらのデフォルトをカスタマイズできます。

2. **最小セッションサイズを制限する:**

   - **画面に合わせる**が選択されている場合にこのオプションを有効にします。セッションは`1366 x 768`ピクセルより小さくなることはありません。これにより、最小ウィンドウサイズを必要とするアプリケーションとの互換性が確保されます。

3. **表示の向き:**
    - セッションがデバイスの回転にどのように応答するかを選択します。
        - **自動回転**: セッションはデバイスの向きに従います。
        - **縦向き**: セッションは縦向きモードを維持します。
        - **横向き**: セッションは横向きモードを維持します。
4. **ディスプレイをオンのままにする**:
    - 仮想セッションがアクティブなときにデバイスの画面をオンのままにするには、このオプションを有効にします。これにより、使用中にディスプレイが暗くなったりロックされたりするのを防ぎます。

StoreFront を使用して構成する

サーバー設定に合わせるが有効になっている場合、IT管理者はStoreFront構成を通じてデフォルトの解像度をカスタマイズできます。デフォルトの解像度をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. StoreFront の `default.ica` ファイルを編集します。
2. 目的の水平および垂直解像度を設定するには、`[Application]` セクションの下に次の行を追加します。

```
[Application]

DesiredHRES=1920

DesiredVRES=1080
```

これにより、**サーバー設定に合わせる**が有効になっているすべての接続ユーザーのセッション解像度が設定されます。アプリケーションごとの上書きもサポートされています。

セッション中の設定変更

セッションの実行中に表示設定を変更できます。解像度とDPI設定の変更はすぐに有効になります。新しい設定が適用されると、セッション表示は一時的に調整されます。

以前のバージョンからのアップグレード

以前のバージョンのCitrix Workspaceアプリからアップグレードすると、既存の表示設定は自動的に移行されます。操作は不要です。

以前の設定	新しい設定
クライアントDPIに合わせる	デバイスのディスプレイに合わせる
高解像度向けに最適化	高解像度向けにスケーリング
画面に合わせる	画面に合わせる
Metroアプリ向けに最適化	画面に合わせる + **最小セッションサイズを制限** (有効)
サーバーからの解像度	**サーバー設定に合わせる** が有効

GACSによるディスプレイ設定の管理

Global App Configuration Service (GACS) を介して、ディスプレイ設定を一元的に管理できます。GACSポリシーがセッション解像度用に構成されている場合、Workspaceアプリの対応する設定はロックされます。ユーザーはそれらを変更できません。

ディスプレイの拡張

ゼブラ ワークステーション コネクトのサポート

このリリースでは、Zebraタブレットの機能（デスクトップランチャーとデスクトップモードでのエクスペリエンス）との互換性を導入します。Androidタブレットのユーザーエクスペリエンスは、Zebra Workspace Connectorを使用してクライアントモニターにミラーリングされます。

Citrix Workspaceアプリは、以下のZebraデバイスをサポートしています。

- EC50、EC55、ET56 モバイルコンピューター
- TC52x,
- TC57x,
- TC52ax モデル,
- TC52x-HC モデル
- TC52ax-HC

Zebraデバイスの管理について詳しくは、Citrix Analytics for Performanceドキュメントの「Zebra Androidデバイスの管理」を参照してください。

Samsung DeXでのマルチディスプレイサポート

Samsung DeX (Desktop eXperience) は、一部のハイエンドSamsungハンドヘルドデバイスで利用できます。DeX機能を使用すると、キーボード、マウス、モニターを接続することで、デバイスをデスクトップのようなエクスペリエンスに拡張できます。

DeX対応デバイスと外部ディスプレイを接続して、デスクトップセッションを外部ディスプレイに拡張できます。外部ディスプレイはDeXプロトコルをサポートしている必要があります。
Samsung DeX画面と外部ディスプレイで異なるコンテンツを拡張または表示できます。

> **重要：**

- この機能はSamsung DeXプラットフォームにのみ適用され、ChromeOSやその他のAndroidデバイスには適用されません。
- この機能はCitrix®デスクトップセッション専用であり、アプリセッションには適用されません。
- **Extend**アイコンはDeX画面でのみ利用できます。デスクトップセッションはDeX画面から開始してください。
- 外部ディスプレイの解像度は、Samsung DeXデバイス、外部ディスプレイ、および使用されるその他のハードウェアによって異なります。

拡張モードの構成

Extendモードを有効にするには：

1. Samsung DeXプロトコルを搭載したデバイスをケーブルを使用して外部モニターに接続します。Samsung DeX対応デバイスをSamsungモニターに接続することもできます。Samsungモニターはワイヤレスモードで DeXプロトコルをサポートしている必要があります。

   > **注：**
   >
   > このセットアップは、USB Type-C HDMIおよびUSB-Cドックアダプターで最適に動作します。

2. Citrix Workspaceアプリを開き、Samsung DeX画面からデスクトップセッションを開始します。

3. ツールバーに移動し、**Extend**アイコンをタップします。 

> **ヒント：**
>
> 画面拡張を解除するには、**Extend**アイコンをもう一度タップします。 

4. ドラッグアンドドロップ機能を使用して、アプリケーションウィンドウを外部モニターに移動します。

> **制限事項：**
>
> 別のディスプレイにウィンドウをドラッグするときは、画面の端でマウスポインターを放します。ターゲットディスプレイからマウスを使用してドラッグアンドドロップ操作を続行し、ウィンドウを移動します。

> **注：**
>
> - 必要に応じてデバイスの画面を回転できます。
> - セッションの表示設定の**拡大/縮小とレイアウト**セクションで、読みやすさのためにフォントサイズを調整します。

ディスプレイ配置の構成

ディスプレイ配置を構成するには：

> **前提条件：**
>
> セッションを開始する前に、ディスプレイ配置を構成してください。

1. Citrix Workspaceアプリを開き、**設定**アイコン > **設定** > **一般** > **ディスプレイ** > **ディスプレイ配置**に移動します。

ディスプレイ(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/display-arrangement.png)

2. 適切なオプションを選択します。 デバイスのディスプレイは、右または左に表示されます。

> **重要：**
>
> - Samsung DeX画面がプライマリディスプレイです。
> - Citrix WorkspaceアプリのUIを表示できる画面は1つだけです。
> - 外部ディスプレイは1台のみ接続できます。
> - セッションを開始すると、Citrix Workspaceアプリが閉じます。

Samsung Knox搭載のSamsung DeXでの複数セッションのサポート

以前は、Samsung Knox搭載のSamsung DeXでは、Android向けCitrix Workspaceアプリは一度に1つの仮想セッションのみをサポートしていました。

バージョン24.9.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、Samsung Knox搭載のSamsung DeXデバイスで複数のセッションを実行することをサポートしています。これは、エンドユーザーがDeXモードで外部モニターに1つのインスタンスを表示し、もう1つをデバイスのディスプレイに表示できることを意味します。この構成により、ユーザーエクスペリエンスが向上し、Samsung Knox搭載のSamsung DeXデバイスは従来のデスクトップデバイスの強力な代替手段となります。さらに、ユーザーは仮想セッションにSecure Folderの利点を統合し、すべての機密ファイルをSecure Folderに安全に保存できます。このフォルダーはSamsung Knoxによって保護されており、そこに保存されているすべてのファイルを暗号化することで、情報が悪意のある攻撃から安全に保たれるようにします。Secure Folder機能のサポートを統合するために、アプリはCitrix Workspaceアプリの2つのインスタンスを起動する機能を活用します。ユーザーはSecure Folderを有効にすることで、Citrix Workspaceアプリの2番目のインスタンスを実行できます。

前提条件

- お使いのデバイスはAndroid 12以降を実行している必要があります。
- お使いのデバイスにはOne UI 6.0がインストールされている必要があります（サポートされる最小バージョンはOne UI 2.0です）。

Samsung DeXでの複数セッション(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/samsung-dex-more-sessions.png)

ここで、画像では：

1. Samsung DeXデバイスで開いているCitrix Workspace™アプリウィンドウ。
2. ウィンドウ1から開かれたVirtual Desktopセッション。
3. Secure Folderから開かれているCitrix Workspaceアプリウィンドウ。
4. ウィンドウ3から開かれたVirtual Desktopセッション。

OneUI 6.0デバイスでの画面拡張

Dex対応デバイス（電話およびタブレット）は、Androidアプリ用に2つのディスプレイを提供します。このマルチディスプレイ機能を使用すると、OneUI 6.0を実行しているSamsung Dex対応デバイスで、エンドユーザーはデバイス画面で仮想アプリを実行しながら、外部モニターで仮想デスクトップを操作できます。

この機能強化により、小型のモバイル画面やタブレット画面の制限が解消され、より没入感のある生産的なワークスペースが提供されます。エンドユーザーは、Citrix Workspaceアプリを通じて利用できる複数のデスクトップやアプリでマルチタスクを実行できます。

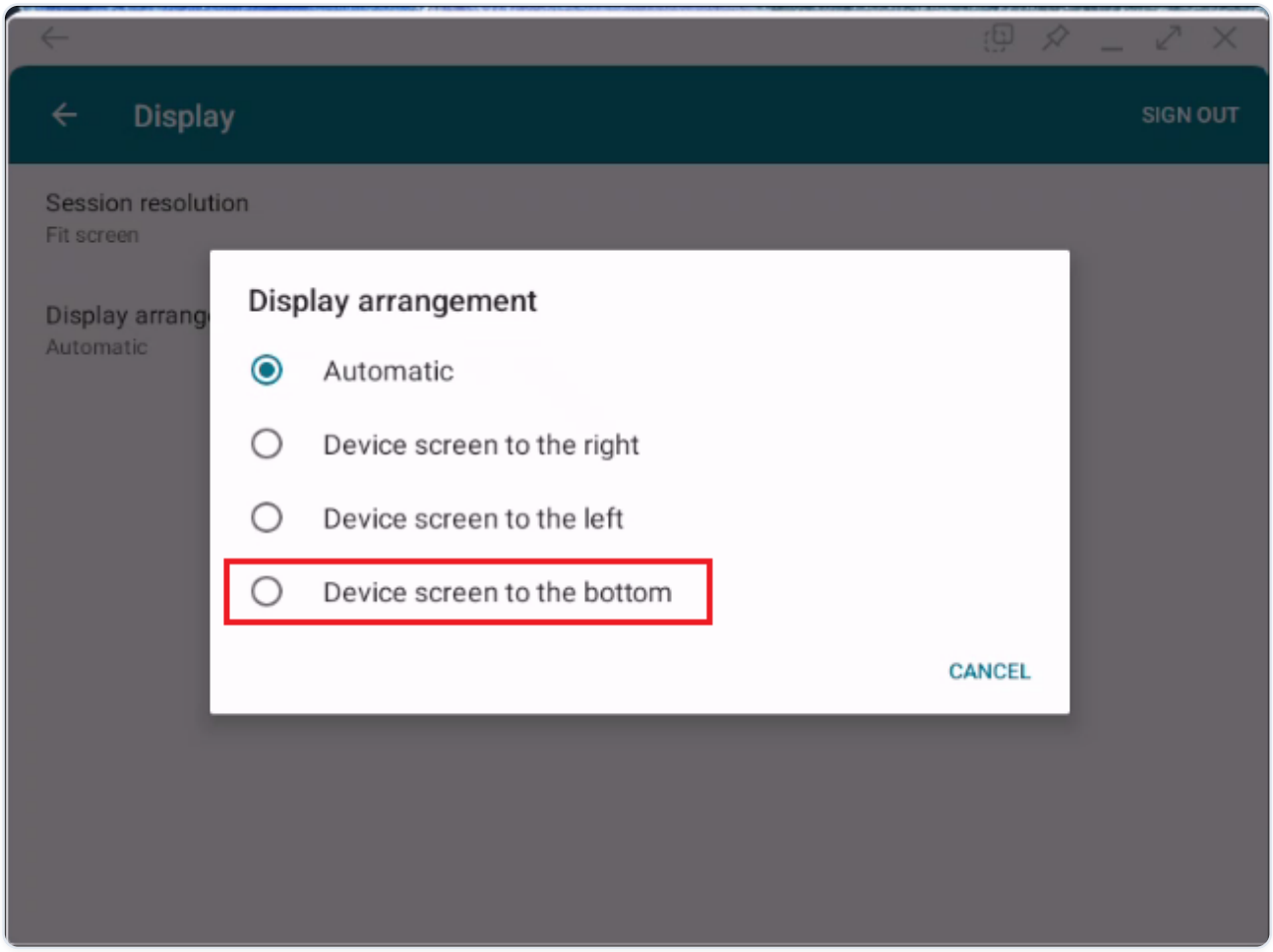
Samsung OneUI 5.1以降のデバイスでの画面下部表示配置のサポート

以前は、Android版Citrix Workspaceアプリは、表示レイアウトとして**デバイス画面を右に**と**デバイス画面を左に**をサポートしていました。

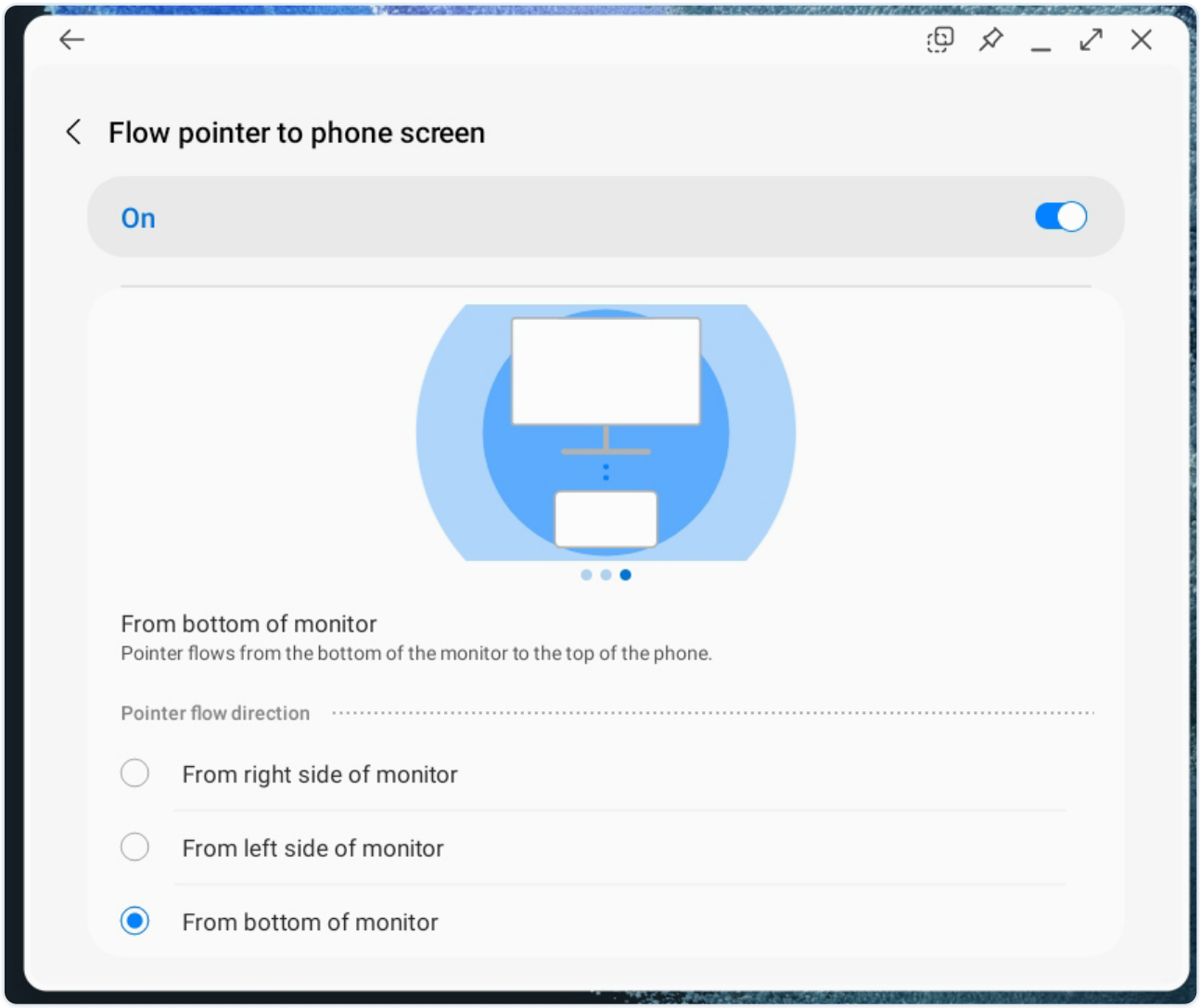
バージョン24.11.0では、Citrix Workspaceアプリは新しい表示レイアウトをサポートし、ユーザーはプライマリデバイス画面を外部モニターの下部に配置できるようになりました。**モニターの下部から**のレイアウトは、Samsungデバイスを外部モニターで使用する際に、より自然で人間工学に基づいた設定を提供します。

エンドユーザーエクスペリエンス

エンドユーザーは、モニターの下部に配置されたSamsungデバイスにセッションを拡張できます。Citrix Workspaceアプリの**設定 > 表示配置**に、新しい設定**デバイス画面を下部に**が追加されました。


Display
SIGN OUT
Session resolution
Fit screen
Display arrang
Automatic
Display arrangement
Automatic
Device screen to the right
Device screen to the left
Device screen to the bottom
CANCEL

設定方法:



1. Samsung DeXをサポートするSamsungデバイスを外部モニターに接続します。
2. Samsung DeXのフローポインターから電話画面設定で、**モニターの下部から**を選択します。
3. モニターで、Citrix Workspaceアプリ > **設定** > **表示** > **表示配置** > **デバイス画面を下部に**を開きます。
4. 公開デスクトップセッションを開始します。
5. セッションツールバーの**拡張**をクリックします。 セッションがデバイス画面に拡張されます。

ユーザーは、マウスを動かしたり、ウィンドウをモニターの下部からデバイスの上部にドラッグ＆ドロップしたりできます。画面間のマウスの移動とウィンドウのドラッグはシームレスです。さらに、デバイスの回転もサポートされており、画像は正しく更新されます。

制限事項

画面間でウィンドウをドラッグしているときに、Samsung DeXのタスクバーが引き続きポップアップ表示されることがあります。回避策として、エンドユーザーはシステムキー（例：Shift + Windows + 左/右）を使用してウィンドウを切り替えることができます。

マルチディスプレイモードでのSamsung DeXにおけるDPIマッチングのサポート

この機能強化により、外部モニターまたはドックに接続されたSamsung DeXデバイスのユーザーエクスペリエンスが向上します。特にエンタープライズ環境で効果的です。

以前は、外部モニターでDeXデバイスを使用している場合、内蔵ディスプレイまたはタブレット画面でDPIマッチングが利用できず、セカンダリモニターとして効果的ではありませんでした。DPIマッチングがないと、画面上の文字を認識して読むことが容易ではありませんでした。さらに、UI要素の選択やクリックも困難でした。

バージョン25.1.0以降、外部モニターを備えたDeXデバイス上のCitrix Workspaceアプリと、標準のデスクトップまたはラップトップでの使用との間で、統一されたエクスペリエンスが提供されます。この機能強化により、Samsung DeXのマルチスクリーンモードで発生していたスケーリングとDPI管理の不整合が解消されます。この取り組みの一環として、外部モニターをサポートするSamsung DeXでのHDXエクスペリエンスを、標準のデスクトップまたはラップトップコンピューターのエクスペリエンスと一致させています。

フローティングウィンドウモードのサポート

バージョン25.5.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリはフローティングウィンドウモードのサポートを導入します。以前は、ユーザーが他のモバイルアプリに切り替えると、セッションウィンドウは最小化され、バックグラウンドに移動していました。

この機能強化により、ユーザーはセッションをフローティングウィンドウに切り替えることができ、より高い柔軟性とマルチタスク機能を提供します。この機能により、ユーザーは仮想デスクトップまたはアプリケーションセッションを、サイズ変更可能で移動可能なフローティングウィンドウにシームレスに移行できます。

前提条件

この機能を有効にするには、**設定** > **詳細設定** に移動し、**フローティングウィンドウ** をオンにします。

利点

フローティングウィンドウ機能は、ユーザーが他のモバイルアプリを使用しながら、仮想デスクトップまたはアプリケーションセッションをサイズ変更可能で移動可能なウィンドウに保持できるようにすることで、マルチタスクを向上させます。この機能は、ドキュメントを参照したり、仮想セッションと他のアプリを切り替えたりするのに役立ちます。

設定方法

この機能を有効にするには、Android版Citrix Workspaceアプリの **設定** > **詳細設定** > **フローティングウィンドウ** に移動し、オンに切り替えます。有効にした後、**ホーム** または **戻る** ボタンを押してシステム通知を操作するか、上にスワイプしてセッションをフローティングウィンドウモードに切り替えます。

> **注：**
>
> Samsungデバイスでは、セッションは記載どおりに動作します。その他のデバイスでは、**ホーム**ボタンまたは**戻る**ボタンを押すと、セッションウィンドウがPiPモードになります。
>
> フローティングウィンドウ(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/floating-window.png)

制限事項

- 変更されたユーザー設定を適用するには、セッションを再起動する必要があります。
- フローティングウィンドウ機能は、ソフトウェアの制限により、すべてのデバイスと互換性がない場合があります。

Samsungモバイルデバイスでの画面キャプチャ

Samsungでのフローティングウィンドウ(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/floating-samsung-mobile.png)

その他のデバイスからの画面キャプチャ

その他のデバイスでのフローティングウィンドウ(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/floating-other-devices.png)

マルチモニターおよび抜き差し時の操作性の向上

バージョン25.9.0以降、Citrix WorkspaceアプリはAndroidタブレットでの外部ディスプレイエクスペリエンスを強化します。このアプリは、ミラーモードと画面拡張モードの両方で、外部ディスプレイにセッションを表示するためのシームレスなサポートを提供するようになりました。このアプリは、OSが行うようにグラフィックをミラーリングするのではなく、外部ディスプレイの画面全体のみを利用します。この機能により、外部モニターを接続または切断する際に、視覚的な不具合なしにスムーズな移行が保証されます。

One UI 7以前のSamsung DeXデュアルモードでは、セッションがデバイス画面で起動された場合、DeXディスプレイは無視されます。

ユーザーエクスペリエンス

Citrix Workspaceアプリセッションの非アクティブタイムアウト

管理者は、許可されるアイドル時間を指定できます。タイムアウト値を超えると、認証プロンプトが表示されます。

非アクティブタイムアウト値は、1分から24時間まで設定できます。デフォルトでは、非アクティブタイムアウトは構成されていません。管理者は、PowerShellモジュールを使用して**inactivityTimeoutInMinutesMobile**プロパティを構成できます。Citrix Workspaceアプリ構成用のPowerShellモジュールをダウンロードするには、ここをタップしてください。

指定されたタイムアウト値に達すると、構成されている認証タイプに応じて、エンドユーザーエクスペリエンスは次のようになります。

- 非アクティブタイムアウト後、Citrix Workspaceアプリに再度アクセスするために生体認証を提供するよう求められます。
- 生体認証プロンプトをキャンセルできる場合、次のメッセージが表示されます。

  Citrix Workspaceアプリはロックされています。

  Workspaceアプリを継続して使用するには、認証する必要があります。
- Androidでパスコードが構成されていない場合、非アクティブタイムアウト後に資格情報でサインインする必要があります。

> **注：**
>
> この機能は、Workspace (Cloud) のお客様にのみ適用されます。

非アクティブ後の生体認証のサポート

非アクティブタイマーが期限切れになると、エンドユーザーは顔認識や指紋スキャンなどの生体認証機能を使用して認証を求められます。

エンドユーザーが利用できる最も堅牢な生体認証形式は、デバイスのOEMによって異なり、それに応じてプロンプトが表示されます。

非アクティビティタイマーの構成について詳しくは、「Citrix Workspaceアプリセッションの非アクティビティタイムアウト」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/user-experience#inactivity-timeout-for-citrix-workspace-app-sessions)を参照してください。

エラーメッセージの表示を無効にするオプション

ネットワーク監視に関連する以下のエラーメッセージの表示を無効にできるようになりました。

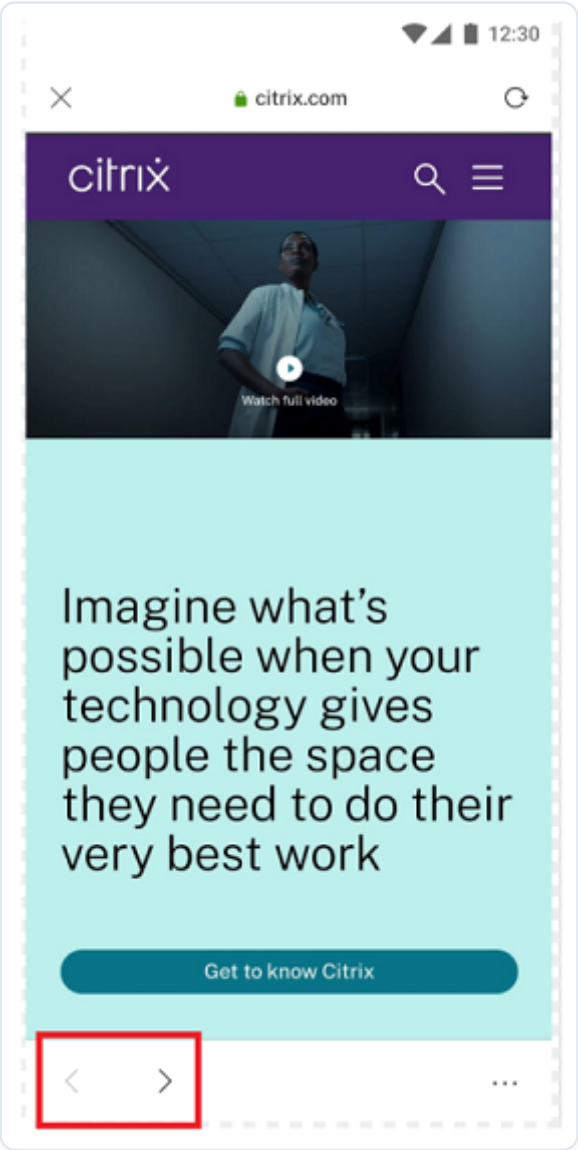
「接続が一時的に遅くなる可能性があります。」

セッションでのネットワークの問題に関するエラーメッセージを無効にするには、**Advanced** に移動し、**Disable network monitoring messages** オプションを選択します。

ユーザーインターフェイスの機能強化

- 20.7.0リリース以降、**Edit** オプションからストアアカウントの詳細を削除できます。アカウントの詳細を削除するには、**Remove account** をタップします。
- 20.7.5リリース以降、**Recent** タブには、公開済みアプリおよびデスクトップとともにネイティブモバイルアプリが表示されます。
- 20.10.0リリース以降、Citrix WorkspaceアプリはAndroid 10のGoogle Playの現在のターゲットAPI要件をサポートします。
- 20.10.0リリース以降、HTTPストアを追加しようとすると、安全でない接続に関する通知を受け取ります。
- 21.3.5リリース以降、WebおよびSoftware-as-a-Service (SaaS) アプリ内で前後に移動できるようになりました。

  ナビゲーションボタンは、モバイルフォンのワークスペースWebおよびSaaSアプリセッションの左下に表示されます。

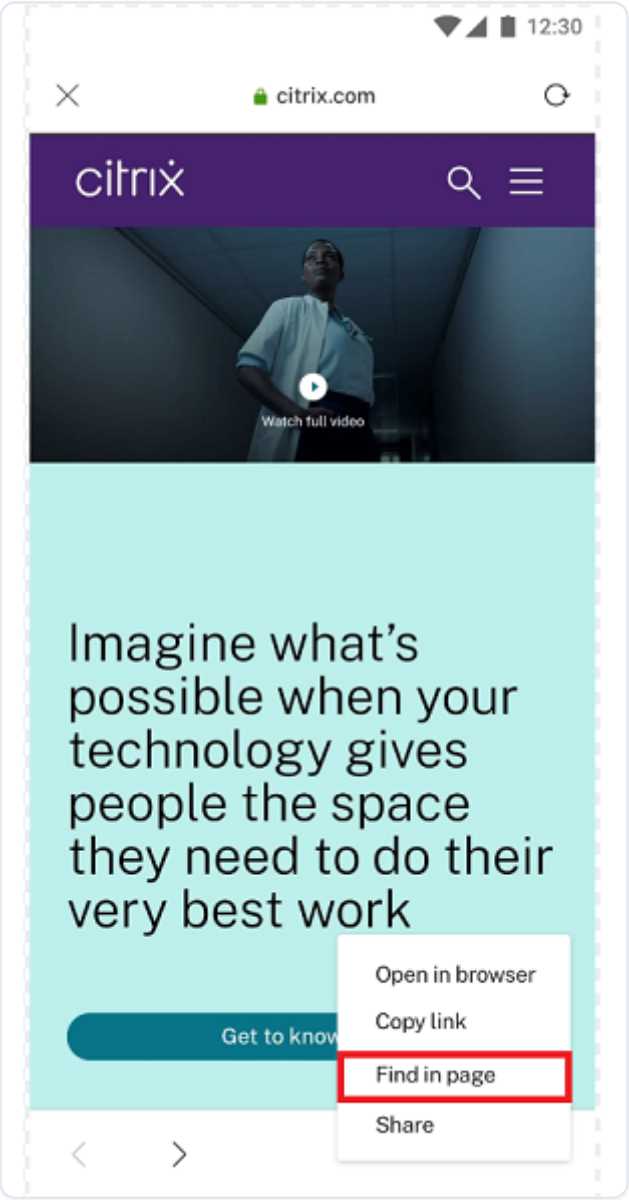


ナビゲーションボタンは、タブレットのSaaSアプリセッションの左上に表示されます。

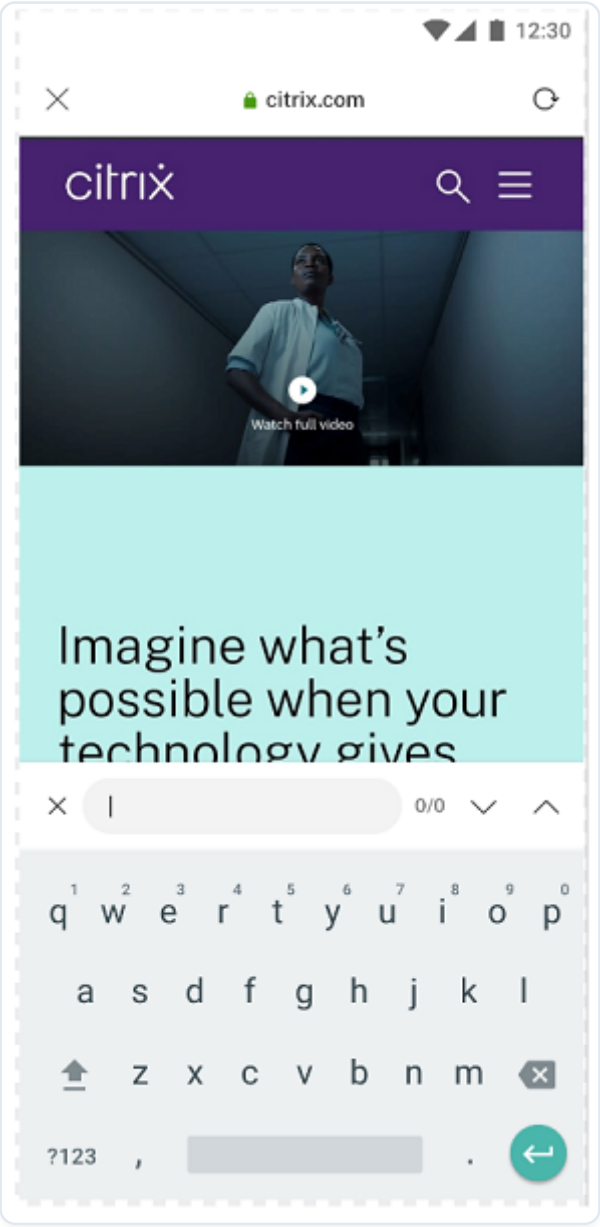
- 21.4.0リリース以降、WebおよびSoftware-as-a-Service (SaaS) アプリ内で単語やフレーズを検索できるようになりました。

  検索するには、次の手順に従います。

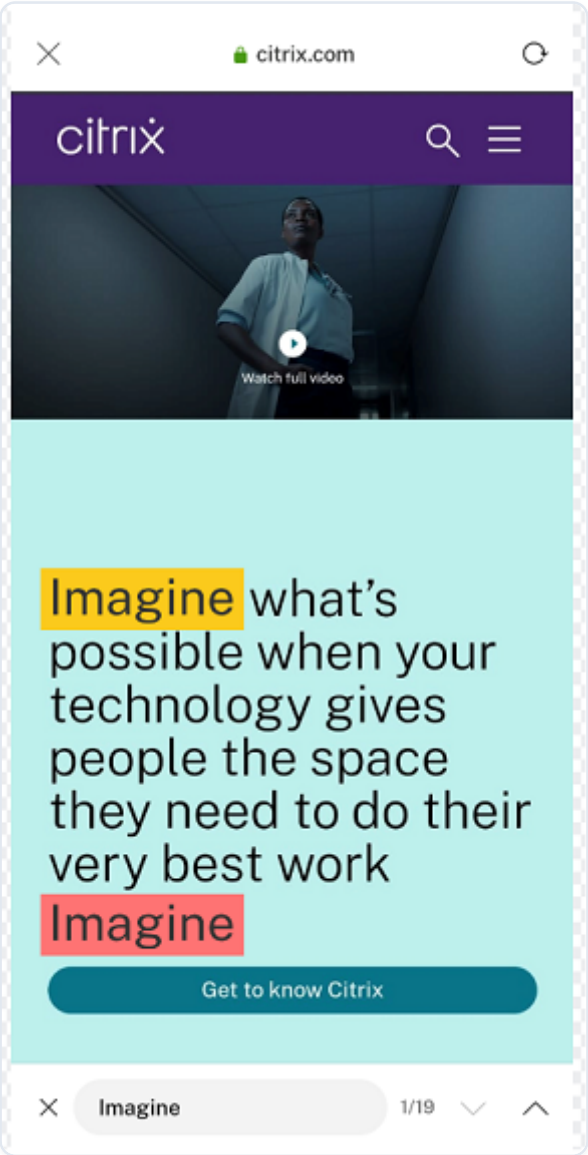
  a. 右下の省略記号ボタンをタップし、**ページ内検索**を選択します。



a. キーボードが表示されます。



a. 入力すると、検索結果が表示されます（例：「imagine」という単語）。



- 21.6.0リリース以降、テキスト、オーディオ、ビデオファイル（直接リンクあり/なし）をダウンロードできます。直接リンクのあるテキスト、オーディオ、ビデオファイルの場合は、リンクをタップして直接ダウンロードします。オーディオファイルとビデオファイルは、ダウンロードする前にプレビューできます。

  直接リンクのないファイルをダウンロードするには、右下の省略記号ボタンをタップし、**ダウンロード**を選択します。



ダウンロードが完了すると、ファイルがダウンロードフォルダーに保存されたことを示す通知が表示されます。



- 21.8.5リリース以降、Android向けCitrix WorkspaceアプリでAndroid 12 Beta 4をサポートするようになりました。Citrix Workspaceアプリバージョン21.8.5にアップグレードすると、Android 12 Beta 4に更新されたデバイスに対する中断のないサポートが保証されます。
- 21.9.0リリース以降、Citrix WorkspaceアプリはAndroid 12 Beta 4をサポートします。HTTPベースのストアを使用している場合は、セキュリティコンテキストのためにHTTPSベースのストアに移行することをお勧めします。詳細については、HTTPSを参照してください。
- 22.2.0リリース以降、Citrix Workspaceアプリのアイコンを長押しすると、最近起動したアプリのリストにアクセスしてすばやく起動できます。

「長押し」(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/long-press.png)

Googleアシスタントとの統合

Citrix Workspaceアプリを毎回起動することなく、Googleアシスタントと連携してアプリやデスクトップなどのリソースを起動できます。最近アクセスしたすべてのリソースは、Googleアシスタントのショートカットの下に表示されます。ショートカットとして追加したいものを選択してください。

設定するには：

1. Citrix Workspaceアプリを起動し、ショートカットとして追加したいリソースを開きます。
2. デバイスからGoogleアシスタントの設定を開きます。

   > **注：**
   >
   > Googleアシスタントの設定へのアクセス方法は、Androidのバージョンや使用しているAndroidデバイスによって異なる場合があります。
   >
   > ヒントとして、音声コマンドを使用してGoogleアシスタントの設定を開くことができます。

3. スクロールして**ショートカット**をタップします。
4. **Citrix Workspaceアプリ**をタップし、ショートカットとして追加したいリソースを選択します。 これで、音声コマンドを使用してリソースを起動できます。

   「ショートカット」(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/google-assistant-shortcut.png)
5. （オプション）音声コマンドを編集および更新できます。

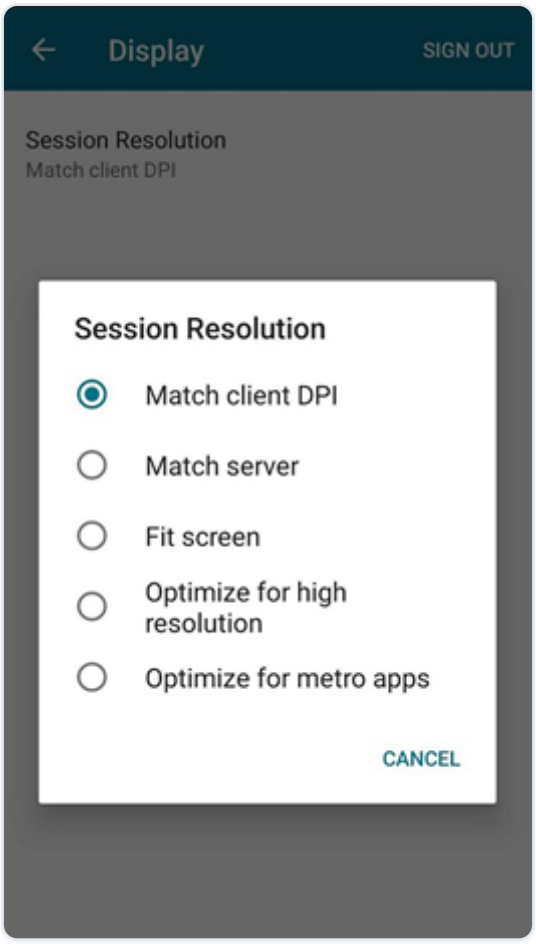
   「ショートカットの編集」(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/google-assistant-edit-shortcut.png)

セッションエクスペリエンス

DPIマッチング

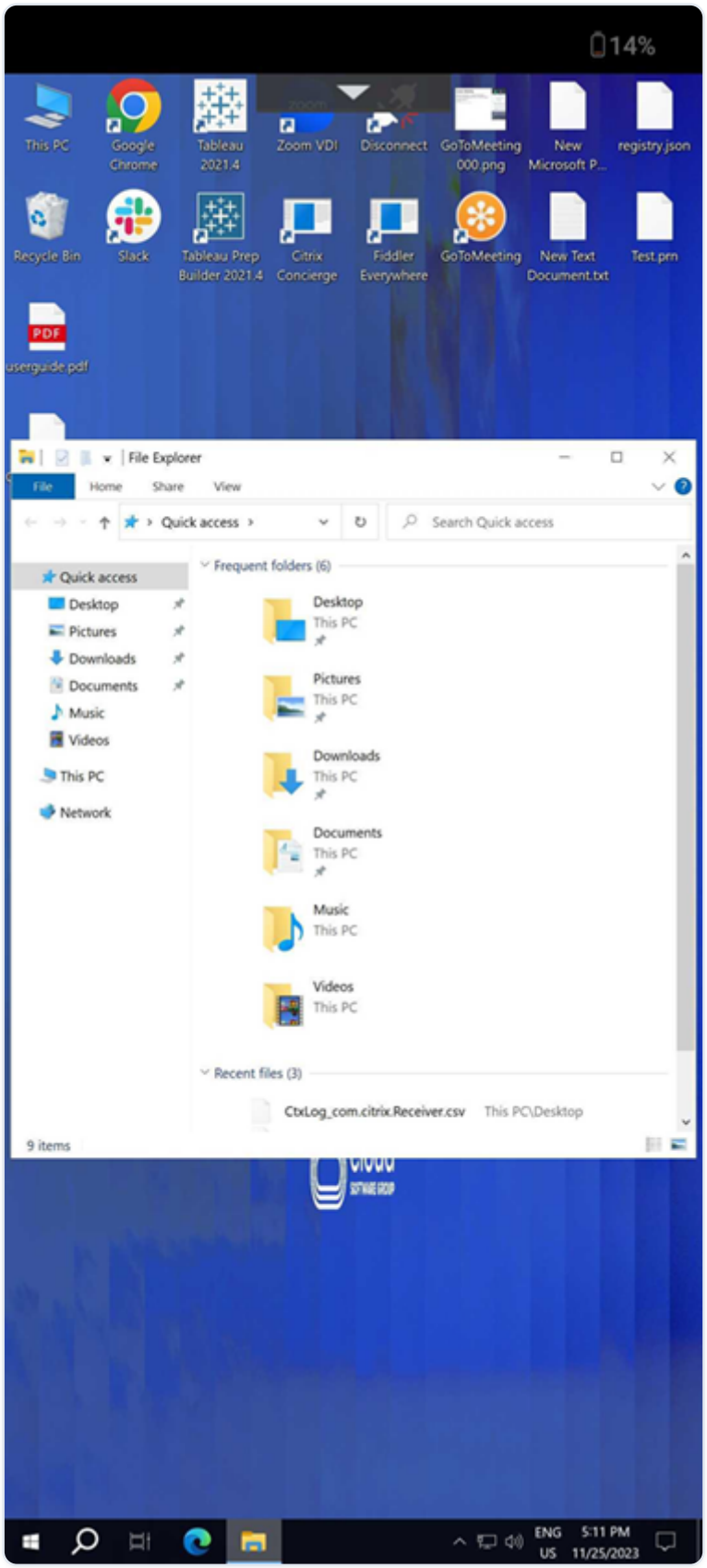
DPIマッチング機能により、仮想セッションがデバイスのDPIに合わせてレンダリングされるようになります。以前は、高DPIの携帯電話やタブレットでも、セッション表示にデバイスのDPIが考慮されていませんでした。24.1.0リリース以降、新しい表示設定によりDPIマッチングを実現できます。

デバイスで、Citrix Workspaceアプリ for Androidの **設定** > **一般** > **表示** > **セッション解像度** に移動し、**クライアントDPIに合わせる** オプションを選択します。

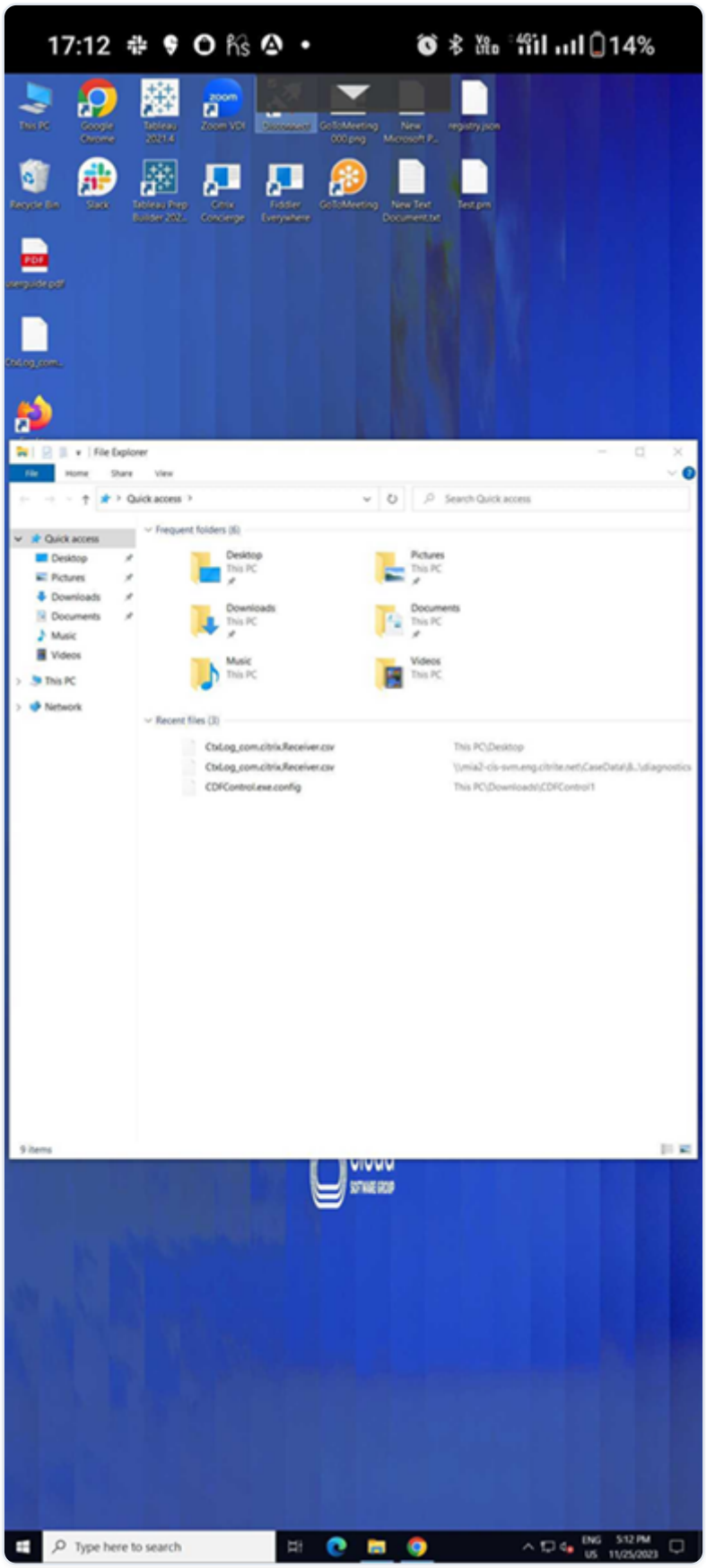


つまり、Citrix Workspaceアプリは、Androidデバイスの表示解像度とDPIスケール設定をCitrixセッションに自動的に合わせようとします。この機能により、電話やタブレットのDPIに合わせてセッションが表示されるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。セッションのアイコン、テキスト、画像の鮮明度が向上し、より見やすくなりました。

たとえば、**クライアントDPIに合わせる** オプションを選択すると、セッションのアイコン、テキスト、画像が鮮明になります。



対照的に、**画面に合わせる** オプションを選択すると、セッションのアイコン、テキスト、画像が小さくなります。


17:12
14%
File Explorer
Quick access
Desktop
Pictures
Downloads
Documents
Music
Videos
This PC
Network
Recent files (3)
Type here to search

> **注：**

> 外部モニターを接続した場合、Androidの制限により、セッションはプライマリデバイスのDPIで引き続きレンダリングされます。

エンライトンド データ転送 (EDT)

以前のリリースでは、Citrix GatewayとVDA間でEnlightened Data Transport (EDT) 接続を確立できない場合、セッションの起動は失敗していました。21.5.0リリース以降、EDT接続が失敗した場合はTCPにフォールバックします。

EDTスタックパラメーターはデフォルトで有効

21.7.0リリース以降、EDTスタックパラメーターはデフォルトで有効になっています。その結果、**設定 > 詳細設定**から**EDTスタックパラメーター**オプションを削除しました。

これまで、EDTスタックパラメーターを無効にするオプションがユーザーに提供されていました。このオプションが利用可能だったため、すべてのクライアントがカスタムEDT最大セグメントサイズ（MSS）要件を一貫して遵守しているわけではありませんでした。その結果、HDX™パフォーマンスの低下を伴うフラグメンテーションが発生し、これらのクライアントのセッション確立に問題が生じました。EDTスタックパラメーターがデフォルトで新たに有効になったことで、全体的なユーザーエクスペリエンスと満足度が向上しました。

並列接続

21.7.0リリース以降、EDTとTCPの並列接続機能を導入しています。この機能により、接続時間が短縮されます。

以前は、接続を確立する際に、Citrix WorkspaceアプリはEDTを使用して接続を試行していました。EDT接続の試行が失敗するとTCPにフォールバックし、現在では解決されている以下の問題を引き起こしていました。

- フォールバックシナリオでの接続時間の増加。
- セッションの信頼性と自動クライアント再接続はTCPを優先する傾向がありました。
- TCPを再度試行するために接続を切断する必要がありました。

EDTに追加されたMTU検出機能

Enlightened Data Transport (EDT) に最大転送単位検出機能を追加しました。その結果、EDTによって提供される一貫して安定したHDXエクスペリエンスを享受できるようになりました。

以前は、パケットサイズによるパケット損失が原因で、VPN、Wi-Fi、4Gまたは3G接続、Microsoft Azureなどのいくつかのシナリオでは EDTが失敗していました。

セッションを起動しようとすると、パケットのフラグメンテーションによりセッションが切断されました。回避策として、StoreFrontファイルでEDT MSS（最大セグメントサイズ）を調整する必要があり、これは追加の構成を意味しました。EDTに追加された*MTU検出機能*により、これらの問題が解決されます。

EDTに追加されたMTU検出機能は、1912 VDA以降でホストされているセッションで機能します。

ICA®ファイルの自動起動

リソースをタップすることで、公開されているアプリやデスクトップを起動できます。この機能には、StoreFront（オンプレミス）バージョン1912以降が必要です。

強化されたセッション起動

公開されたアプリとデスクトップは、個別のウィンドウで起動されます。この機能強化により、セッションから切断したりログオフしたりすることなく、ストア列挙ウィンドウを使用および操作できます。

制限事項:

- ユーザー設定を変更した後、変更を有効にするにはセッションを再起動する必要があります。
- アプリとデスクトップはタスクバーで「Workspace」と表示されます - セッション名ではありません。

バッテリーステータスインジケーター

デバイスのバッテリーステータスが、Citrix Desktopセッションの通知領域に表示されるようになりました。

> **注:**
>
> サーバーVDAではバッテリーステータスインジケーターは表示されません。

USBデバイスリダイレクト

バージョン20.9.0以降、USBリダイレクト機能は完全に機能し、一般提供の準備が整いました。デフォルトでは、USBリダイレクト機能は無効になっています。

この機能により、任意のUSBデバイスをクライアントマシンからCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSにリダイレクトできます。これにより、セッション内で、物理的に接続されているかのように、幅広い汎用USBデバイスを操作できます。

Citrix Global App Config Serviceを使用してこの機能を管理するための前提条件として、Delivery ControllerでUSBリダイレクト機能を**有効**に設定します。Delivery ControllerでのUSBリダイレクトの構成方法の詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktopsドキュメントの「汎用USBデバイス」セクションを参照してください。

Citrix Global App Configurationサービスにより、Citrix管理者は、Citrix WorkspaceサービスURLとCitrix Workspaceアプリ設定を集中管理サービスを通じて配信できます。

USBリダイレクト機能は、Citrix Global App Config Serviceと統合されており、同サービスを通じて構成可能です。ドメインに参加していないネットワークの場合、Citrix Global App Config Serviceを使用してこの機能を管理できます。

この方法で機能を構成する方法については、開発者向けドキュメントの「Global App Configuration service」を参照してください。

> **注：**
>
> この機能は、バージョン20.9.0以降で一般提供が開始されます。バージョン20.8.1以前では、オンデマンドでのみ利用可能です。

> USBリダイレクトポリシーは、Delivery Controllerで**Allowed**に設定する必要があります。Citrix StudioでのUSBリダイレクトの構成については、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントの「Configure generic USB redirection」を参照してください。

プリンターとスキャナーの場合：

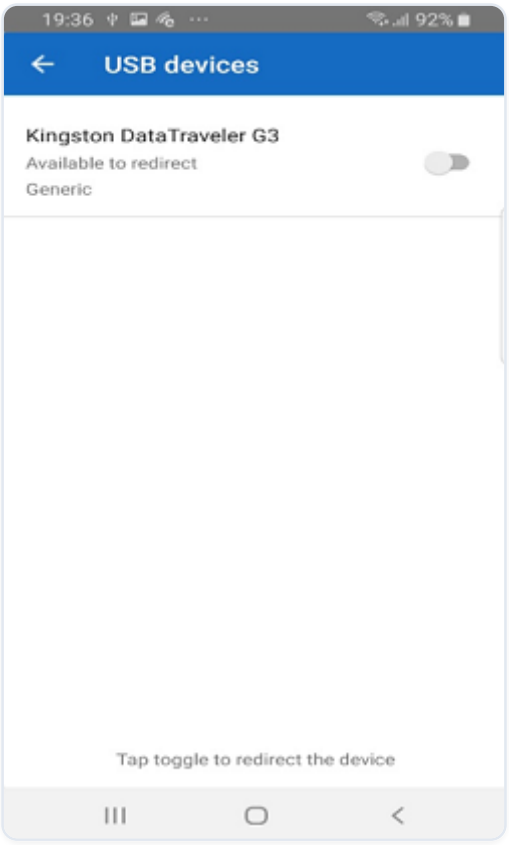
デバイスにベンダー固有のドライバーをインストールします。インストールが完了すると、ベンダーソフトウェアからUSBデバイスの再接続を求められる場合があります。USBデバイスを再接続してリダイレクトします。

携帯電話、タブレット、およびSamsung DeXでのUSBリダイレクトの構成

1. USBリダイレクトポリシーが有効なストアを追加し、セッションを起動します。
2. 以下のダイアログに表示されているセッションツールバーアイコンをタップします。

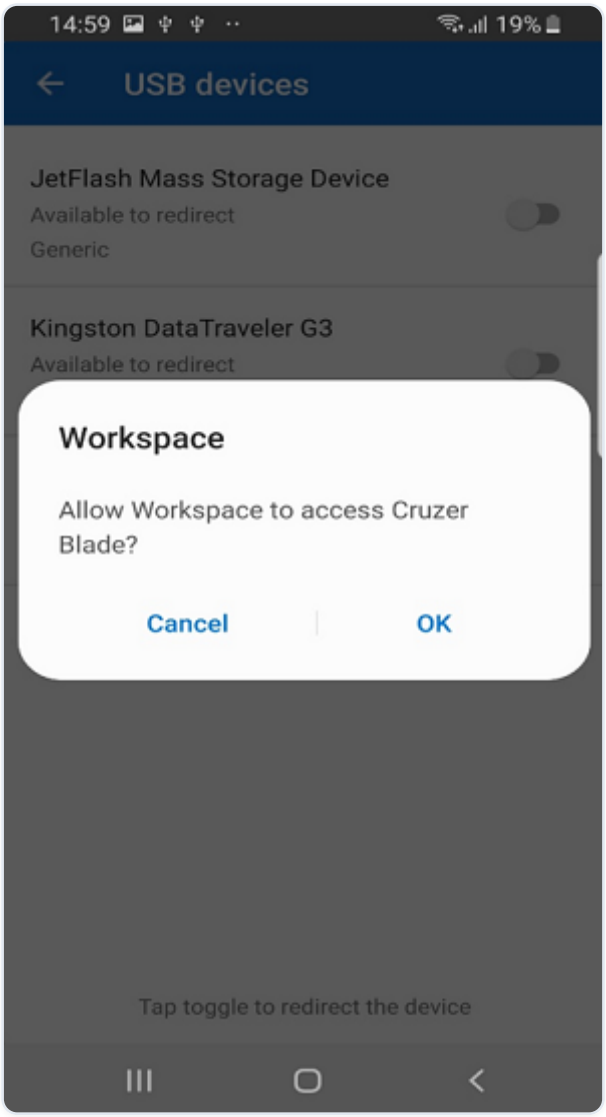


3. セッションツールバーの**USBアイコン**をタップします。
4. 接続されているUSBデバイスは、USBデバイスウィンドウに次のように表示されます。



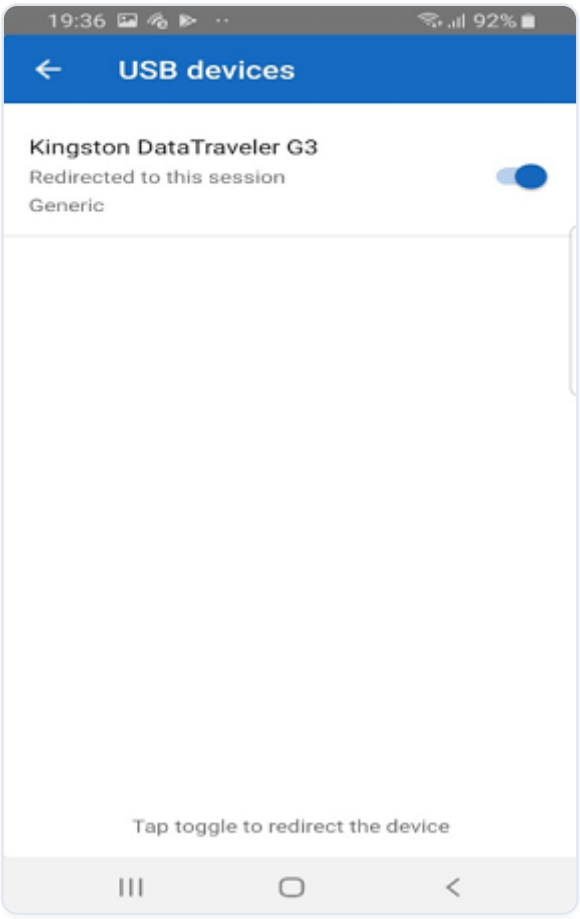
5. 特定のUSBデバイスをリダイレクトするには、そのデバイスのトグルオプションをタップします。

   Workspaceのアクセス許可ダイアログが表示されます。



6. デバイスをリダイレクトするためのCitrix Workspaceアプリのアクセス許可を付与するには、**OK**をタップします。

> **注：**
>
> この手順は、USBデバイスをリダイレクトするために必須です。
>
> USBデバイスがリダイレクトされ、ステータスは次のように表示されます。



注：

- ペンドライブがリダイレクトされると、セッションに一覧表示されます。
- プリンターまたはスキャナーがリダイレクトされると、コントロールパネルの**デバイス**セクションに表示されます。

テスト済みのUSBデバイス

デバイス	メーカー	モデル
プリンター	HP	LaserJet P2014
スキャナー	HP	スキャンジェット G3010
スキャナー	キヤノン	CanoScan LiDE 700 F
スペースナビゲーター	3Dコネクション	
プリンター	ブラザー	QL-580N

デバイス	メーカー	モデル
スキャナー	HP	スキャンジェット 200

既知の問題:

- 一度にサポートされるUSBデバイスは1つのみです。
- オーディオおよびビデオUSBデバイスは現在サポートされていません。

USBデバイスの自動リダイレクト

Citrix Workspaceアプリでは、USBデバイスを接続すると自動的にリダイレクトできます。USBデバイスを接続すると、許可を求めるプロンプトが表示されます。許可を付与すると、USBデバイスは自動的にリダイレクトされます。

> **注:**
>
> この機能はオンデマンドでのみ利用可能であり、USBデバイスリダイレクト機能が有効になっている場合にのみサポートされます。

オーディオリダイレクトの機能強化

以前は、デスクトップセッションでのオーディオリダイレクトには、複数のレベルのマイク設定が必要で、権限を設定する手順は直感的ではありませんでした。現在、マイクの権限設定は簡素化され、ユーザーフレンドリーになっています。セッション中に権限を有効にすることもできます。

デフォルトでは、**Citrix Workspaceアプリ** > **設定** > **オーディオ** のオーディオトグルは有効になっています。セッションは、すでに接続されているスピーカーを検出できるようになりました。管理者は、Global App Configuration service を使用してオーディオリダイレクトを有効または無効にできます。

> **注:**
>
> デフォルトでは、マイクの権限はCitrix Workspaceアプリの設定とストアの設定ページの両方で無効になっています。

> Citrix Workspaceアプリまたはストアのいずれかがマイクを無効にしている場合、次のいずれかのシナリオに遭遇する可能性があります。

- Citrix Workspaceアプリとストア設定の両方でマイクの権限が無効になっている場合、デスクトップセッションを開始してマイクを使用すると、「**Workspaceにオーディオの録音を許可しますか**」というポップアップメッセージが表示されます。「**アプリの使用中のみ**」をタップします。
- Citrix Workspaceアプリが有効になっているが、ストア設定でマイクの権限が無効になっている場合、デスクトップセッションを開始してマイクを使用すると、「**マイクへのアクセスを許可しますか**」というポップアップメッセージが表示されます。「**許可**」をタップします。

キーボードレイアウトの同期

Citrix Workspaceアプリでは、**設定** > **一般** > **キーボード** > **キーボードレイアウトの同期**でキーボードレイアウトの同期を有効にできます。

キーボードレイアウトの同期オプションを使用すると、VDAとクライアントデバイス間でキーボードレイアウトを自動的に同期できます。

新規インストール時およびデフォルトでは、日本語、中国語、韓国語の場合、クライアント側のIMEが自動的に有効になり、**キーボードレイアウトの同期**オプションは**オフ**に設定されます。

動的なキーボードレイアウトの同期を有効にするには、**キーボードレイアウトの同期**オプションを**オン**に設定します。

キーボードレイアウトの同期オプションが無効になっている場合、デバイスの現在の入力方式に応じて、VDA側（リモート）IMEとクライアント側IMEの両方が有効になります。たとえば、クライアント側IMEが英語で、VDA側IMEが日本語の場合、VDA側IME（リモート）が有効になります。

キーボードレイアウトの同期オプションが有効になっている場合、クライアント側IMEが優先されます。クライアント側IMEで入力言語を変更すると、VDA側IMEもそれに応じて変更されます。たとえば、クライアント側IMEを日本語に変更すると、VDA側IMEも自動的に日本語に変更されます。同時に、セッション中はクライアントデバイスの日本語IMEが使用されます。

前提条件：

- Linux VDAの場合、**クライアントキーボードレイアウトの同期**および**IMEの改善**ポリシーを有効にします。
- Windows VDAの場合、**Unicodeキーボードレイアウトマッピング**、**クライアントキーボードレイアウトの同期**、および**IMEの改善**ポリシーを有効にします。

- VDAはバージョン7.16以降である必要があります。

機能の制限事項：

- この機能は、デバイスのソフトキーボードでのみ機能し、外部キーボードでは機能しません。
- キーボードレイアウトの同期はGboard（Googleキーボード）をサポートしていません。
- キーボードレイアウトは、クライアントからサーバーにのみ同期できます。サーバー側のキーボードレイアウトを変更しても、クライアントのキーボードレイアウトは変更できません。
- クライアントのキーボードレイアウトを互換性のないレイアウトに変更した場合、VDA側でレイアウトが同期されることがありますが、機能は確認できません。

Windows VDAおよびLinux VDAのキーボードレイアウトのサポート

ANDROIDのキーボードレイアウト	キーボード言語	WINDOWSのキーボードレイアウト	LINUXのキーボードレイアウト
ベラルーシ語（ベラルーシ）	ベラルーシ語（ベラルーシ）	ベラルーシ語（ベラルーシ）キーボード	by
ブルガリア語	ブルガリア語	ブルガリア語（タイプライター）キーボード	bg
中国語（簡体字）	中国語 (簡体字、中国)	Citrix IME - 中国語 (簡体字、中国)	zh
中国語 (繁体字)	中国語 (繁体字、台湾)	Citrix IME - 中国語 (繁体字、台湾)	tw
クロアチア語	クロアチア語 (クロアチア)	クロアチア語キーボード	hr
チェコ語	チェコ語	チェコ語キーボード	cz
デンマーク語	デンマーク語	デンマーク語キーボード	df
オランダ語	オランダ語 (オランダ)	米国-インターナショナルキーボード	us
オランダ語 (ベルギー)	オランダ語	ベルギー (ピリオド) キーボード	be

ANDROIDのキーボードレイアウト	キーボード言語	WINDOWSのキーボードレイアウト	LINUXのキーボードレイアウト
英語 (オーストラリア)	英語 (オーストラリア)	米国キーボード	us
英語 (カナダ)	英語 (カナダ)	USキーボード	us
英語 (英国)	英語 (英国)	英国キーボード	gb
英語 (米国)	英語 (米国)	USキーボード	us
エストニア語	エストニア語	エストニア語キーボード	ee
フィンランド語	フィンランド語	フィンランド語キーボード	fi
フランス語 (カナダ)	フランス語 (カナダ)	フランス語キーボード	fr
フランス語 (スイス)	フランス語 (フランス)	スイスフランス語キーボード	ch
フランス語 (フランス)	フランス語 (フランス)	フランス語キーボード	fr
ドイツ語 (オーストリア)	ドイツ語 (オーストリア)	ドイツ語キーボード	at
ドイツ語 (スイス)	ドイツ語 (スイス)	スイスドイツ語キーボード	ch
ドイツ語 (ドイツ)	ドイツ語 (ドイツ)	ドイツ語キーボード	at
ギリシャ語	ギリシャ語	ギリシャ語キーボード	gr
ハンガリー語	ハンガリー語	ハンガリー語キーボード	hu
アイスランド語	アイスランド語	アイスランド語キーボード	is

ANDROIDのキーボードレイアウト	キーボード言語	WINDOWSのキーボードレイアウト	LINUXのキーボードレイアウト
アイルランド語	アイルランド語		ie
イタリア語	イタリア語 (イタリア)	イタリア語キーボード	it
日本語	日本語	Citrix IME - 日本語	jp
韓国語	韓国語	Citrix IME - 韓国語	kr
ラトビア語	ラトビア語	ラトビア語キーボード	lv
ノルウェー語	ノルウェー語 (ブークモール)	ノルウェー語キーボード	no
ポーランド語	ポーランド語	ポーランド語 (プログラマー用) キーボード	pl
ポルトガル語 (ブラジル)	ポルトガル語 (ブラジル)	ポルトガル語 (ブラジル ABNT) キーボード	br
ポルトガル語 (ポルトガル)	ポルトガル語 (ポルトガル)	ポルトガル語キーボード	pt
ルーマニア語	ルーマニア語 (ルーマニア)	ルーマニア語 (レガシー) キーボード	ro
ロシア語 (ロシア)	ロシア語	ロシア語キーボード	ru
スロバキア語	スロバキア語	スロバキア語キーボード	sk
スロベニア語	スロベニア語	スロベニア語キーボード	si
スペイン語 (メキシコ)	スペイン語 (メキシコ)	ラテンアメリカキーボード	ラテンアメリカ

ANDROIDのキーボードレイアウト	キーボード言語	WINDOWSのキーボードレイアウト	LINUXのキーボードレイアウト
スペイン語 (スペイン)	スペイン語 (スペイン)	スペイン語キーボード	es
スウェーデン語 (スウェーデン)	スウェーデン語 (スウェーデン)	スウェーデン語キーボード	se
トルコ語	トルコ語	トルコ語Fキーボード	tr
ウクライナ語	ウクライナ語	ウクライナ語キーボード	ua

強化されたキーボードおよびIME診断ツール

バージョン24.11.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、Windows Virtual Delivery Agent (VDA) でホストされる新しいセルフサービスコマンドラインツールをサポートし、キーボードおよび入力メソッドエディター (IME) 関連の問題を診断します。このツールは、さまざまなユーザー要件を満たし、プラットフォームの汎用性を提供し、パーソナライズされたニーズに対応します。キーボードとIMEの機能は、VDAおよびCitrix Workspaceアプリのさまざまな構成と機能に依存します。VDAまたはクライアント側の設定が正しくないと、予期しない入力動作が発生する可能性があります。 このツールを使用すると、これまで見つけるのが困難だった問題を簡単に特定できます。それらは次のとおりです。

- **クライアントキーボードレイアウトとVDAキーボードレイアウトの不一致:** このツールは、クライアントキーボードレイアウトがVDAキーボードレイアウトと一致するかどうかを確認します。
- **CJKクライアントIME入力の予測テキスト設定チェック:** このツールは、クライアントキーボードの予測テキスト設定をチェックし、ベストプラクティスを提案します。
- **キーボード入力モードの選択:** このツールは、VDAポリシーと選択されたキーボード入力モードをチェックし、キーボード機能が正常に動作するかどうかを確認します。

前提条件

- Android向けCitrix Workspaceアプリ24.11.0以降。
- Windows VDA 2411 以降。

このコマンドラインツールは、`CtxKbImeDiagnostics.exe` として Windows VDA でホストされています。

コマンドラインインターフェイスは次のとおりです。

インターフェイス	説明	注
`CtxKbimeDiagnostics`	現在のユーザーのICAセッションの診断結果を表示します。	ユーザーが管理者権限を持っている場合、すべてのアクティブなICAセッションの診断を表示します。ユーザーが管理者権限を持っていない場合、現在のユーザーのICAセッションの診断を表示します。
`CtxKbimeDiagnostics [-v]`	現在のユーザーのICAセッションの設定情報と診断結果を表示します。	ユーザーが管理者権限を持っている場合、すべてのアクティブなICAセッションの診断を表示します。
`CtxKbimeDiagnostics [-v] [-s Session_Id]`	現在のセッションの設定情報と診断結果を表示します。	
`CtxKbimeDiagnostics [-s Session_Id]`	セッションに固有で、このセッションのそれぞれの診断結果を表示します。	ユーザーが管理者権限を持っている場合、他のICAセッションを照会できます。ユーザーが管理者権限を持っていない場合、自分のICAセッションのみを照会できます。
`CtxKbimeDiagnostics [-s Session_Id] [-v]`	セッションに固有で、このセッションのすべての設定情報と診断結果を表示します。	ユーザーが管理者権限を持っている場合、他のICAセッションを照会できます。ユーザーが管理者権限を持っていない場合、自分のICAセッションのみを照会できます。
`CtxKbimeDiagnostics [-h]`	サポートされている引数/パラメーターと例を表示します。	「ヘルプ」インターフェイス。
`CtxKbimeDiagnostics [-V]`	現在のツールバージョンを表示します。	

サービス継続性

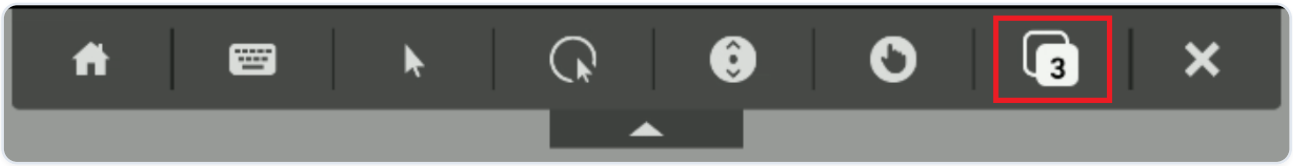
サービス継続性により、接続プロセスに関わるコンポーネントの可用性への依存が排除または最小化されます。ユーザーは、クラウドサービスの健全性ステータスに関係なく、仮想アプリとデスクトップを起動できます。

詳細については、Citrix Workspaceドキュメントのサービス継続性セクションを参照してください。

アプリの切り替え

この機能により、エンドユーザーは同じセッション内の複数の公開済みアプリを切り替えることができます。「**切り替え**」アイコンをタップすると、スクロールしてアプリを選択でき、フォーカスされているアプリが強調表示されます。アプリのタイトル、プレビュー画像、ウィンドウタイトルを表示できます。

アプリを開いたり閉じたりすると、アプリのカウントがそれに応じて更新されます。別のセッションで一部のアプリが開かれている場合、アプリのカウントには開かれているすべてのアプリが含まれます。

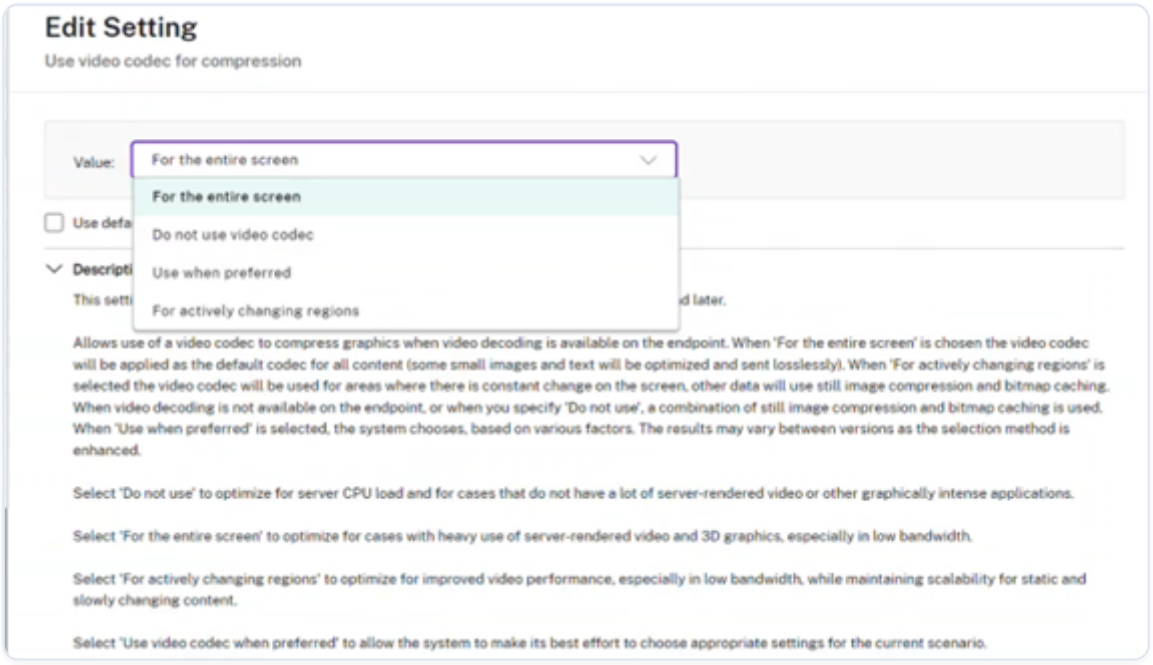


全画面表示のサポート

バージョン23.8.0以降、H264コーデックは全画面モードでのビデオレンダリングの改善をサポートしています。頻繁にビデオを視聴したり、ビデオコンテンツに大きく依存している場合は、この機能をお勧めします。パフォーマンス、ビデオ品質、リソース利用率の面でビデオ体験を向上させるように設計されています。

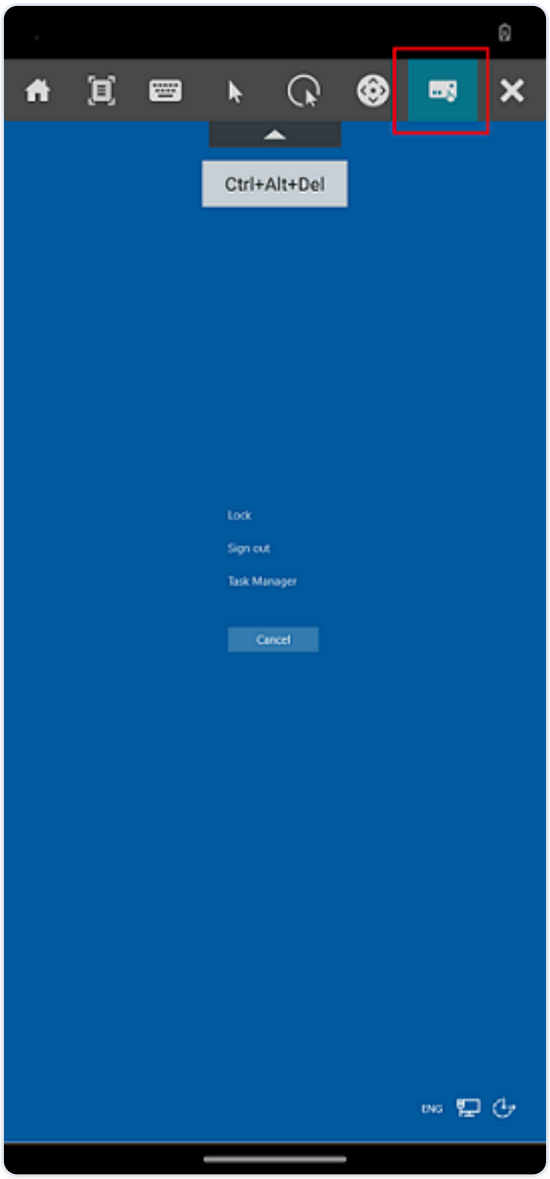
構成

DDCマシンで、ビデオ圧縮を最大60FPSに改善するために、ポリシー **Use video codec for compression** を **For the entire screen** に設定します。



セッションツールバーへのCtrl+Alt+Delショートカットの追加

バージョン23.9.5以降、セッションツールバーにはボタンをタップするだけでCtrl+Alt+Del機能を実行するオプションが追加されました。このオプションにより、ユーザーはサインアウト、ユーザーの切り替え、デバイスのロック、またはタスクマネージャーへのアクセスが容易になります。



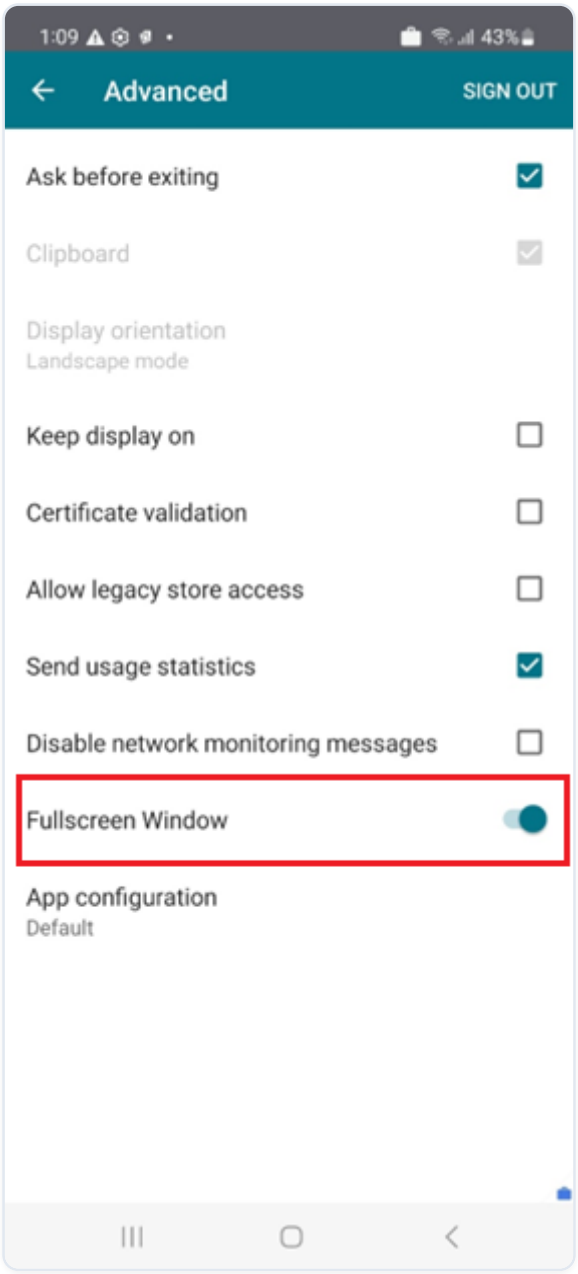
アプリセッションの全画面モードのサポート

以前は、アプリセッションを開始すると、ウィンドウモードで表示できました。

バージョン23.9.5以降、Citrix Workspaceアプリ for Androidは、アプリセッションを全画面モードで表示する新しいオプションを導入しました。この機能は、次の場合に役立ちます。

- タッチデバイスで完全没入モードでセッションを開始する
- 画面を複製してキャストしようとする
- より小さい画面でCitrix Workspaceアプリを表示する。

このオプションを有効にするには、Android版Citrix Workspaceアプリの **設定** > **詳細設定** > **全画面表示ウィンドウ** に移動し、オンに切り替えます。次のスクリーンショットにオプションが表示されます。



アクセシビリティとTalkBack

Citrix Workspaceアプリは、TalkBack機能により強化されたユーザーエクスペリエンスを提供します。TalkBack機能は、画面が見えにくいエンドユーザーを支援します。UIを使用すると、ナレーターが画面要素を読み上げます。

AndroidのTalkBack機能を使用するには、エンドユーザーはAndroidの **設定** > **ユーザー補助** > **TalkBack** から有効にする必要があります。

詳細については、ヘルプドキュメントのアクセシビリティとTalkBackを参照してください。

この機能の既知の問題

- 外部キーボードをデバイスに接続した場合:

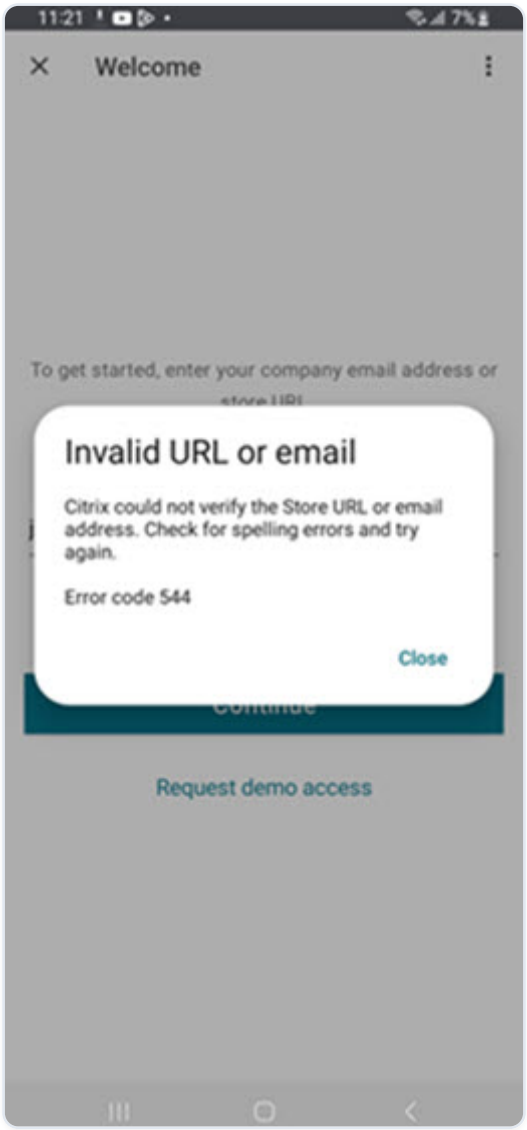
- CapsLockキーをナレーターキーとして使用しようとすると、期待どおりに動作しない場合があります。回避策として、Insertキーを押してください。
- ナレーターを有効にするためにWin+Ctrl+Enterのキーの組み合わせを使用しても、仮想デスクトップセッション内では効果がありません。回避策として、Winキーまたはスタートメニューを使用して「ナレーター」と入力してください。

改善されたエラーメッセージ

以前は、エラーメッセージには実用的な説明が不十分でした。

23.12.0リリース以降、エラーメッセージには、明確でユーザーフレンドリーなタイトル、各エラーの具体的な説明、および可能な場合はエラーコードが含まれるようになりました。エラーコードは、管理者が問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。エンドユーザーへの改善されたメッセージは、問題をトラブルシューティングするための十分な詳細を提供します。未解決の問題がある場合は、IT管理者に連絡してさらにサポートを受けることをお勧めします。

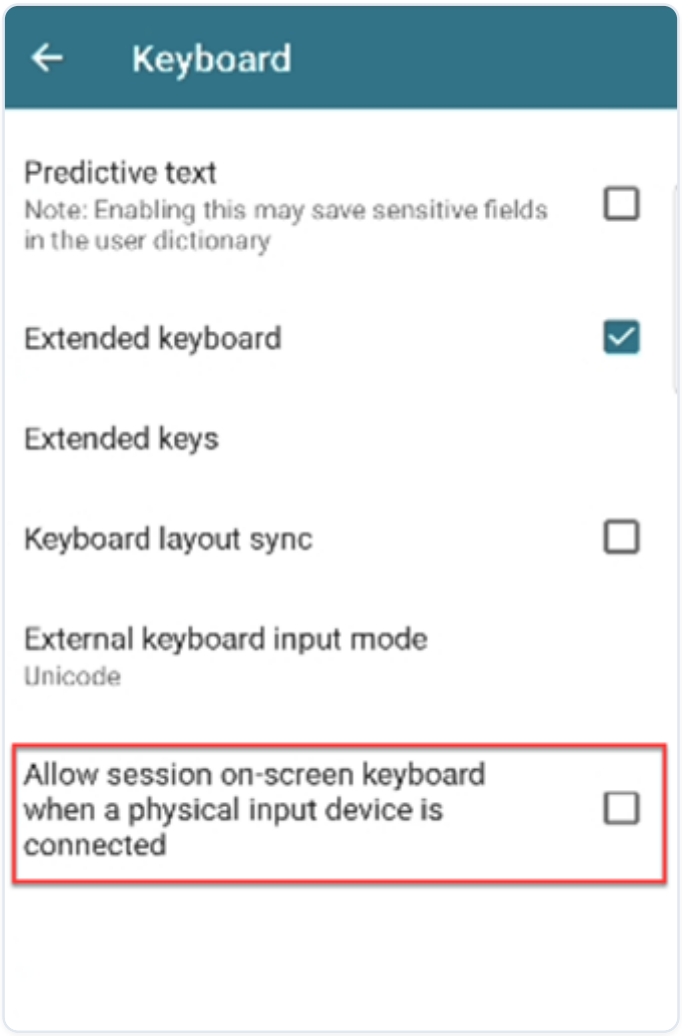
たとえば、ユーザーがサインインできない場合、次のエラーメッセージが表示されます。



バーコードスキャナーのソフトキーボードサポート

以前は、セッション内でバーコードスキャナー（Zebraスキャナーなど）が検出されると、ソフトキーボードが表示されませんでした。これは、外部キーボードとして認識されていたためです。

バージョン24.2.0以降、バーコードスキャナーが物理入力デバイスとして接続されている場合、ソフトキーボードが表示されるようになりました。この機能をサポートするために、新しいキーボード設定が追加されています。エンドユーザーは、Citrix Workspaceアプリの**設定** > **キーボード**に移動し、**物理入力デバイスが接続されている場合にセッションのオンスクリーンキーボードを許可する**オプションを選択できます。



予測テキストの管理

予測テキストは、次に入力できる単語を提案することで、より良い入力エクスペリエンスを支援します。アプリまたはデスクトップセッション中にこの機能を有効にすると、パスワードが予測リボンに表示される可能性があります。この動作を制御するため、この機能はデフォルトで無効になっています。

注：

- デバイスのデフォルトのキーボード設定で**予測テキスト**オプションが無効になっている場合、Citrix Workspaceアプリ for Androidで有効にしても、この機能を使用することはできません。
- セッションで、GBoardキーボードのデフォルトとしてCJK入力レイアウトが設定されている場合、CJKレイアウトの代わりに英語レイアウトが表示されます。CJKキーボード

レイアウトを表示するには、アプリの**設定** > **キーボード**に移動し、**予測テキスト**オプションを有効にします。

ドキュメントスキャナー

Citrix Workspaceアプリにサインインしている場合、ドキュメントスキャナー機能を使用して多数のドキュメントをスキャンし、スキャンしたドキュメントを仮想デスクトップセッションに転送できます。

注：

- この機能はデフォルトで有効になっています。

前提条件

- Client drive mapping (CDM)はストアで有効にする必要があります。
- ドキュメントスキャナーは、デバイスでの読み取りおよび書き込みアクセスを必要とします。アクセスを有効にするには、次の手順に従います。

  a. プロファイルから、アプリケーションの**設定** > **ストア設定**をタップします。

  b. 現在のストアをタップします。

  c. **デバイスストレージ**をタップし、**フルアクセス**を選択します。

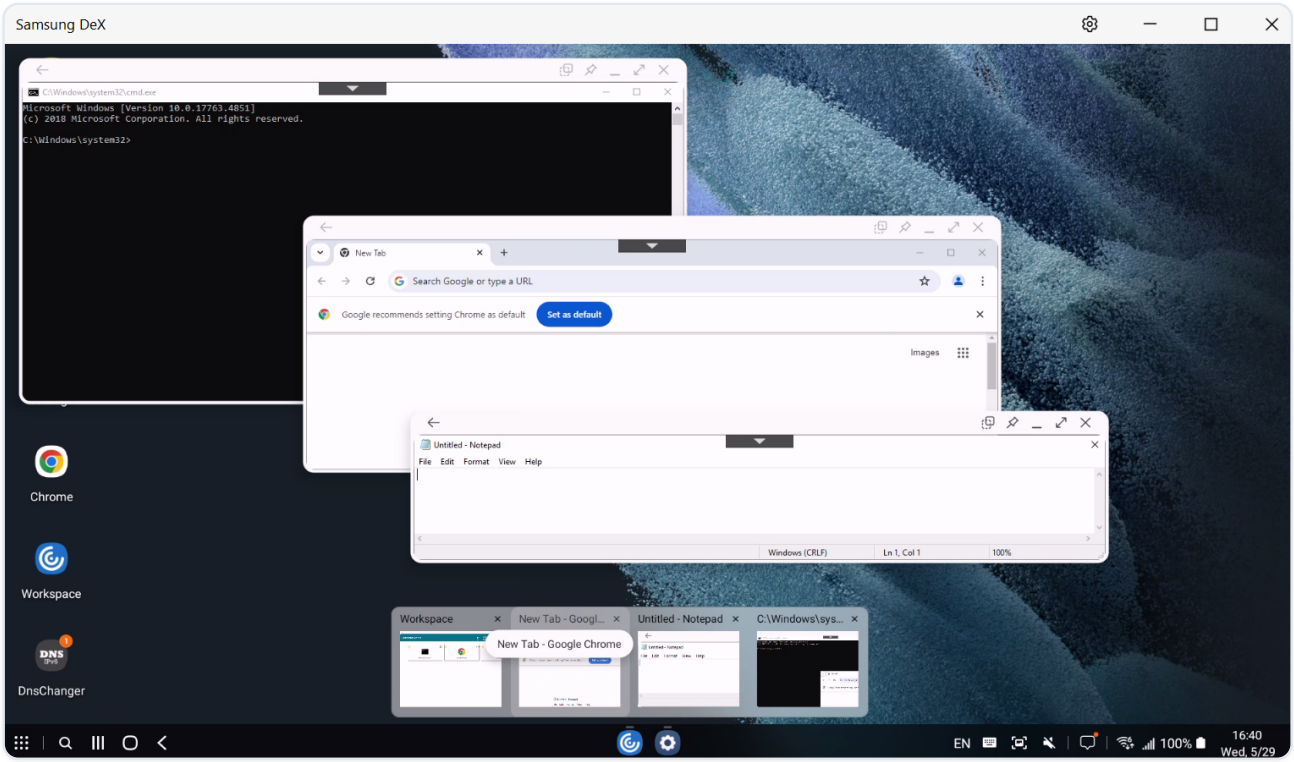
この機能の使用方法の詳細については、ヘルプドキュメントのドキュメントスキャナーを参照してください。

Samsung DeXでの単一セッションにおけるデスクトップのようなエクスペリエンスをサポートするための機能強化

以前は、Citrix Workspaceアプリはシームレスなマルチタスクをサポートし、ユーザーにデスクトップのようなエクスペリエンスを提供していました。これにより、同じセッション内で複数のアプリを同時に実行するために開くことができます。これらのアプリは別々のウィンドウで開かれました。

24.7.0リリース以降、エンドユーザーはセッション共有アプリ用に別のウィンドウを開くことができます。この機能は複数のローカルウィンドウをサポートし、マルチタスクを容易にします。各ウィンドウには、各仮想アプリの名前があります。ユーザーは、DeX画面でのみ複数の仮想アプリ

とネイティブDeXアプリを開くことができます。アクティブな仮想アプリとネイティブDeXアプリは、DeX画面でのみ、下部のタスクバーにそれぞれのアプリ名とともにアクティブなアプリとして表示されます。



注:

最初に起動するアプリは、セッションにサインインしてユーザープロファイルを読み込むのに1分ほどかかる場合があります。

ユーザーは次のことができます。

- ウィンドウの右上にあるピンボタンをクリックして、アプリウィンドウをピン留めします。ピン留めされたウィンドウは常に最前面に表示されます。
- すべてのアプリウィンドウでセッションツールバーボタンにアクセスします。
- アプリウィンドウの最小化、最大化、移動、および閉じ。
- マウスクリック、ダブルクリック、ドラッグ、およびキーボード操作を使用して、アプリの切り替えとマルチタスクを実行します。

機能の制限

- サーバー指向のウィンドウサイズ変更はサポートされていません。つまり、サーバー側のウィンドウサイズが設定または制限されている場合、クライアント側からのサイズ変更要求は成功しません。この設定により、ローカルとリモートのウィンドウグラフィック間に不一致が生じます。
- クライアント側のウィンドウには最小ウィンドウサイズがあります。たとえば、1920x1080解像度のDeX画面でのウィンドウの最小サイズは、タイトルバーを含めて220x220であり、利用可能な矩形サイズは220x189です。
- 特定のメニューオプションが親アプリの境界を超えて表示されることがあります。拡張されたメニューオプションは、他のアプリウィンドウに表示される場合があります。
- タスクバー内のアプリのプレビュー画像が、他のアプリのプレビューと重なって表示されることがあります。

強化されたEDT輻輳制御

強化されたEDT輻輳制御機能は、利用可能なネットワーク帯域幅を最適に活用し、インターネットトラフィックのスループットを向上させ、遅延を削減します。これにより、ネットワーク接続が不安定なユーザーでも、モバイルデバイスでシームレスなセッションを体験できます。全体として、この機能はAndroid向けCitrix Workspaceアプリのユーザーエクスペリエンスと使いやすさを向上させます。

> **注：**
>
> - この機能はデフォルトで有効になっています。ただし、この機能を使用するには、Citrix Workspaceアプリ > **設定** > **詳細** > **EDT** オプションを有効にしてください。
> - この機能は、クラウドストアとオンプレミスストアの両方でサポートされています。

> 構成の詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントにある「強化されたEDT輻輳制御」を参照してください。

Citrix Workspace™アプリを使用したCitrixアクセス強制

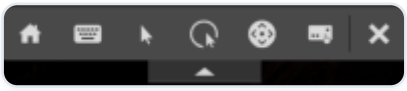
バージョン24.12.0以降、管理者はAndroidデバイスのユーザーに対し、Citrix Workspaceへのアクセスをネイティブアプリ経由のみに義務付けることができます。この機能が有効になっている場合、ストアURLやサードパーティ製ブラウザにアクセスしようとするユーザーは、自動的にCitrix Workspaceアプリにリダイレクトされます。これにより、ユーザーはネイティブアプリのすべての

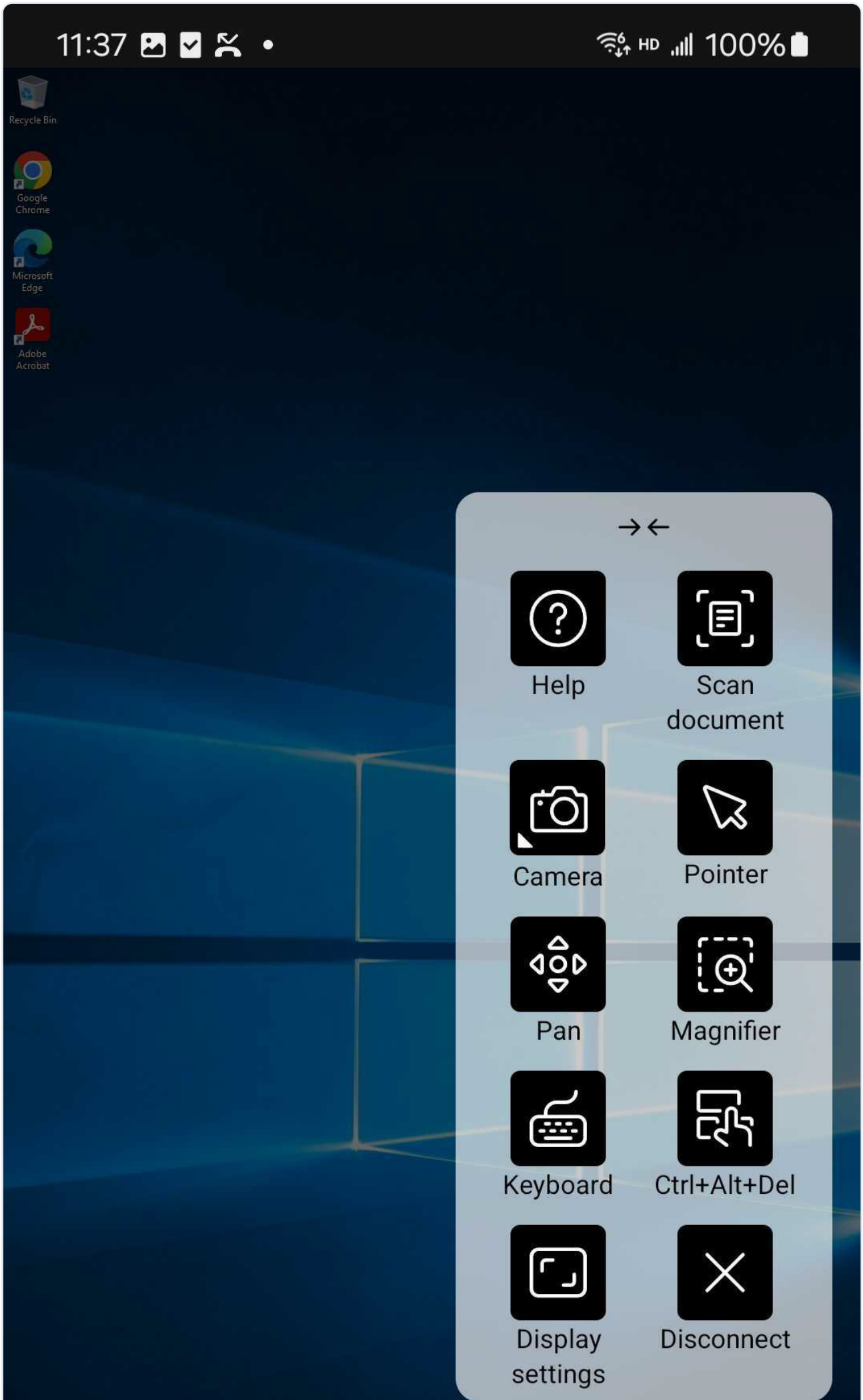
機能を活用し、シームレスなユーザーエクスペリエンスを享受できます。さらに、この機能は、認証プロセスをネイティブアプリ内に保持することで、管理者にユーザー環境に対するより優れた制御を提供し、セキュリティを強化し、ICAファイルをダウンロードする必要をなくします。

管理者はCitrix Cloudアカウントを使用してこの機能を有効にできます。詳細については、「Mandate end users to authenticate and access apps and desktops through native app」を参照してください。

改善されたセッション内ツールバー

バージョン24.12.0以降、デスクトップセッションを開始すると、強化されたツールバーUIが表示されます。セッション内ツールバーUIの外観が変更されました。ツールバーUIは、オプションをユーザーフレンドリーな方法で整理することで、エンドユーザーエクスペリエンスを向上させるように設計されています。




11:37
HD
100%
Recycle Bin
Google Chrome
Microsoft Edge
Adobe Acrobat
Help
Scan document
Camera
Pointer
Pan
Magnifier
Keyboard
Ctrl+Alt+Del
Display settings
Disconnect

> **注：**
>
> この機能はデフォルトで無効になっています。この機能を有効にするには、構成手順に従ってください。

利点

この強化されたツールバーには、次のものが含まれます。

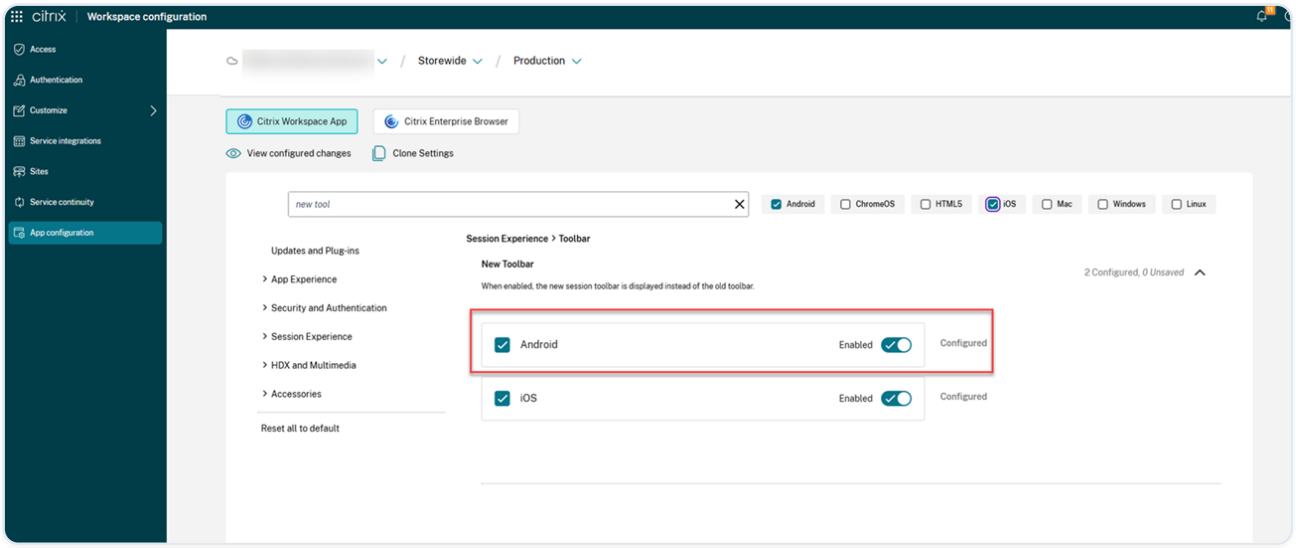
- **管理者による制御：** 管理者はツールバーをカスタマイズし、エンドユーザーに表示するオプションを選択できます。
- **強化された外観：** ツールバーは、新しいユーザーインターフェイスとスキニングオプションで刷新されました。
- **切り替え可能なレイアウト：** ツールバーは、単一列レイアウトと二列レイアウトを切り替えることができます。
- **カスタマイズ可能なツールバー：** 管理者は、古いツールバーまたは新しいツールバーをユーザーにプッシュできます。
- **ドラッグ機能：** 横向きモードでは、ツールバーのノッチは画面の上端に沿ってのみ移動できます。縦向きモードでは、ノッチを左右に水平方向、および画面の端に沿って垂直方向にドラッグできます。
- **クイックアクセスアイコン：** 頻繁に使用する機能にすばやくアクセスするための新しいアイコンが導入されました。
- **ジェスチャーガイド:** このガイドでは、シングルクリック、右クリック、ドラッグ、ズーム、ポインターの切り替え、キーボードの使用方法について説明します。
- **ツールバーガイド:** デバイス、キーボード、ポインター、拡大鏡、マウス、ディスプレイ、カメラ、切り替えなどのオプションが含まれています。

構成

新しいツールバーUIは次のように構成できます。

グローバルアプリ構成サービス

クラウド設定では、管理者は**Workspace Configuration > App Configuration > Session Experience > Toolbar > New Toolbar**に移動して、改善されたツールバー機能を有効または無効にできます。この機能を有効にするには、チェックボックスとそれぞれのトグルボタンを選択します。



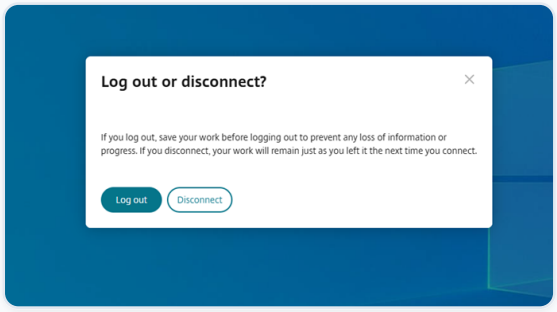
アイコンとアクション

注:

アイコンは、組織の管理者が特定の機能を有効にしている場合にのみ、エンドユーザーに表示されます。

アイコン/アクション	説明
--- --	---
ツールバーノッチ	アプリまたはデスクトップセッションを開始すると、ツールバーノッチが画面上部に表示されます。ノッチをクリックすると、ツールバーが固定解除された状態で表示されます。ツールバーノッチを画面の任意の側にドラッグして再配置します。マウスを離すと、ノッチは自動的に最も近い端に揃えられます。
ヘルプ	セッションのナビゲートと操作のためのツールバー機能、ジェスチャー、メニューオプションの使用方法に関するガイド。
ドキュメントスキャン	ドキュメントをスキャンするためのカメラアプリを開きます。

デバイス	クリックして**USBデバイス**ダイアログボックスを開きます。**追加**をクリックして、ローカルデバイスに接続されているUSBデバイスを表示します。ダイアログボックスには、セッションにリダイレクトできるデバイスが一覧表示されます。USBデバイスをリダイレクトするには、適切なデバイスを選択して**接続**をクリックします。
	注: **デバイス**アイコンは、IT管理者がポリシー設定を通じてUSBデバイスを接続するアクセス権を提供している場合にのみ表示されます。
カメラ	使用するカメラの種類（前面、背面、外部）を選択できます。
ポインター	セッションウィンドウ内にWindowsのようなマウスポインターを表示します。
パン	タップして次のアクションを切り替えます
	パン: タップして画面内を簡単に移動します。
	スクロール: タップしてページをスクロールします。
	マルチタッチ: タップしてピンチズーム、スクロール、セッションでのマルチフィンガージェスチャーを使用します。
拡大鏡	拡大レンズとともにウィンドウのようなマウスポインターを表示します。ユーザーは拡大鏡ウィンドウを画面上で移動させて、拡大表示を見ることができます。
キーボード	Androidシステムソフトキーボードと、コントロールキー付きの拡張キーボードアクセサリを表示します。

Ctrl+Alt+Del	ボタンをクリックするだけでCtrl+Alt+Del機能を実行できます。このオプションは、ユーザーがサインアウト、ユーザーの切り替え、システムのロック、またはタスクマネージャーへのアクセスを行うのに役立ちます。
ディスプレイ設定	Citrix Workspaceアプリのディスプレイ設定を開きます。
切り替え	アプリの切り替えは、単一のVDAで同時に開かれている複数の仮想アプリを切り替えるために使用されます。
可変メニューオプション	スキャン - ドキュメントをスキャンするためのフルスクリーンカメラを表示します。
切断	切断アクションは仮想デスクトップを実行したままにします。エネルギーを節約するためにログアウトします。
	注: 管理者がログアウトと切断の両方のオプションを構成すると、次のメッセージが表示されます
	
	エネルギーを節約するためにログアウト: ログアウトアクションは仮想マシンをシャットダウンし、エネルギーを節約します。エンドユーザーはログアウトする前に作業を保存していることを確認する必要があります。

	切断: 仮想デスクトップセッションウィンドウを閉じます。ただし、仮想セッションは次回のサインインまでアクティブなままです。エンドユーザーは簡単に作業を再開できます。**サステナビリティリーフアイコン**は、サステナビリティ機能が有効になっている場合にのみ表示されます。

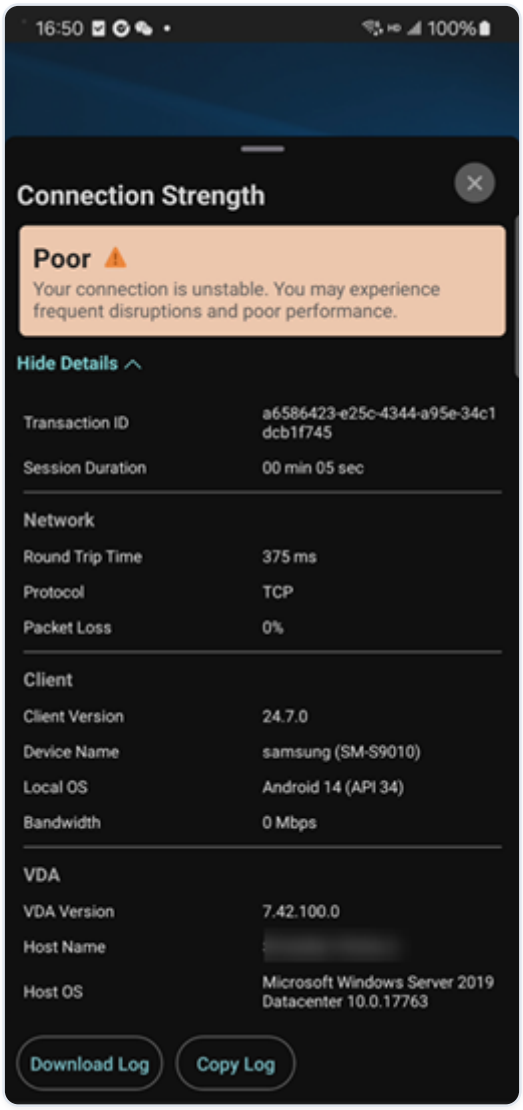
Webカメラの選択

バージョン24.12.0以降、新しいツールバーで外部Webカメラの選択が可能になりました。ユーザーはツールバーに表示されているカメラアイコンを使用できます。

接続強度インジケーター

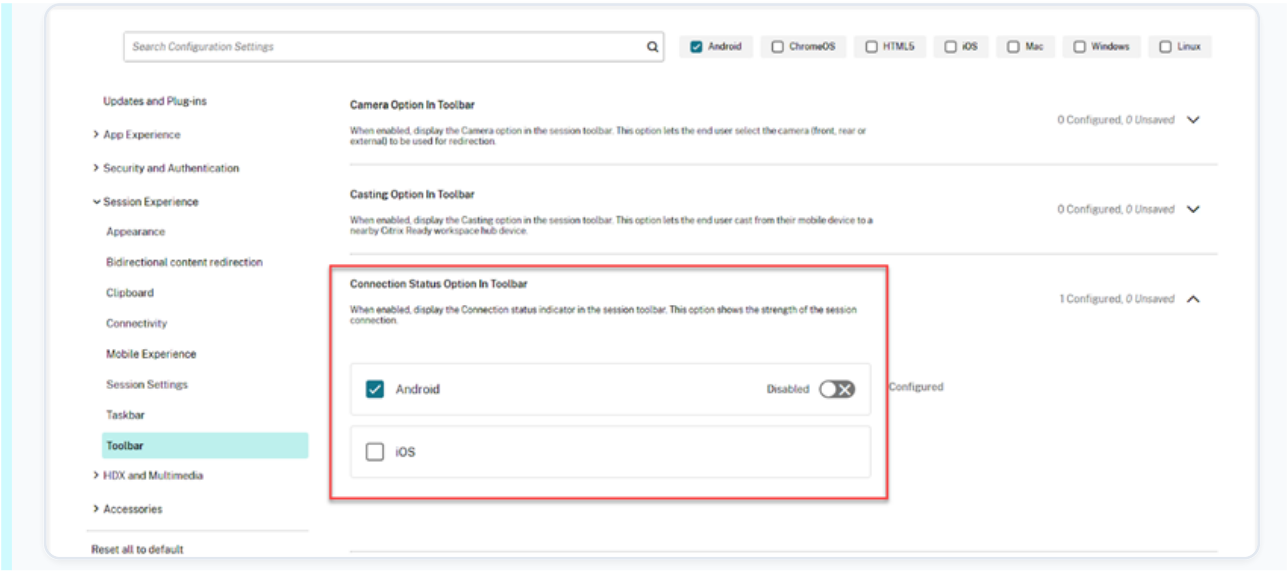
バージョン2501以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、新しいセッション内ツールバーで接続強度インジケーター（CSI）をサポートしています。この機能は、ネットワークの問題を警告するネットワーク強度アイコンを表示します。アイコンをクリックすると、クライアント、ゲートウェイ、VDAのリアルタイム接続統計を表示し、診断情報をコピーしてIT部門と共有し、高度なトラブルシューティングを行うことができます。





注:

この機能はデフォルトで有効になっています。セッションを開くと、新しいツールバーに**接続強度アイコン**が表示されます。この機能は、Global App Configurationサービスを通じて次のように無効にできます。



前提条件

この機能を使用するには、改良されたセッション内ツールバー機能を有効にする必要があります。デフォルトでは、新しいツールバー機能は無効になっています。管理者は、Global App Configurationサービスを通じて新しいツールバー機能を有効にする必要があります。この機能は、VDAバージョン2407以降でのみ利用可能です。

詳細については、改良されたセッション内ツールバー機能を参照してください。

Citrix Workspaceアプリからのサステナビリティへの取り組み

以前は、ユーザーがホームボタンをタップして仮想デスクトップを閉じると、仮想デスクトップは切断された状態のままでした。これにより、不要なエネルギーと電力リソースが消費されていました。

未使用の仮想デスクトップの実行によって消費される可能性のあるエネルギーを節約するようユーザーに促すサステナビリティへの取り組みを導入しました。また、管理者はサステナビリティメッセージのダイアログボックスの内容をカスタマイズできます。

この機能が有効になっている場合、ユーザーが仮想デスクトップを閉じると、デスクトップセッションからサインアウトするよう促すプロンプトが表示されます。この機能は、ユーザーがログインしていないときにVMをシャットダウンするために使用されるWindows OSポリシーがある場合、エネルギーの節約に役立つ可能性があります。

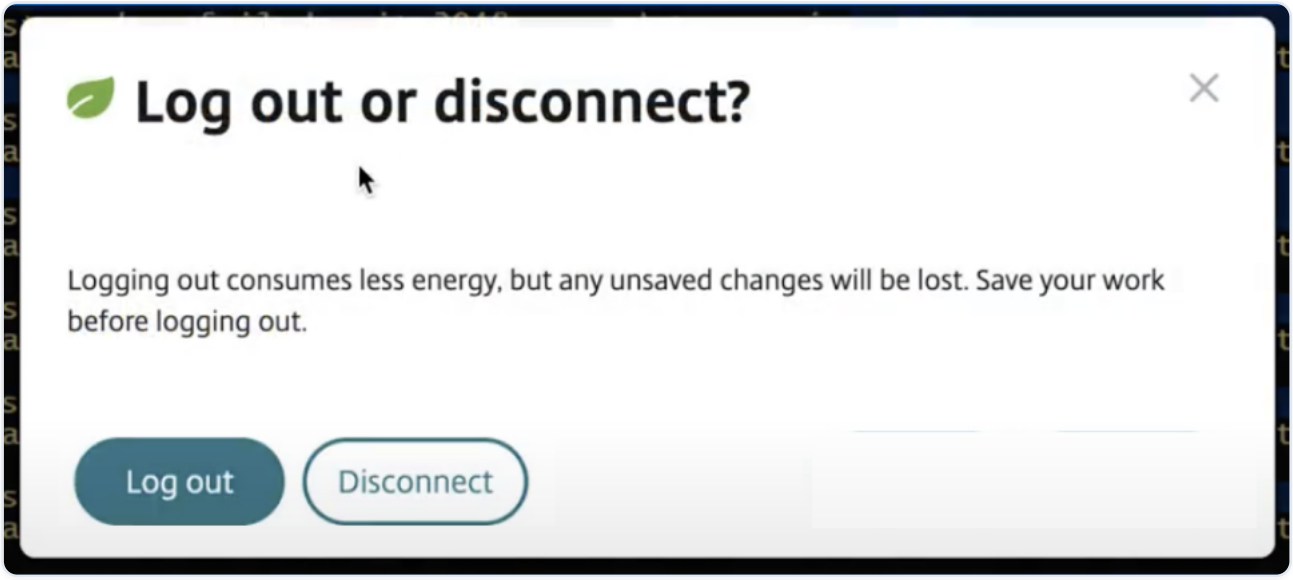
注:

- この機能はデフォルトで無効になっています。

- この機能は、クラウドとオンプレミスの両方のストアで利用できます。

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

1. Citrix Studioに移動します。
2. 左側のナビゲーションペインから**デリバリーグループ**をクリックします。
3. **デリバリーグループ**セクションから必要なVDAを選択します。
4. **編集**アイコンをクリックします。**デリバリーグループの編集**ページが表示されます。
5. 左側のナビゲーションペインから**デスクトップ**をクリックします。
6. キーワードを追加する必要があるVDAを選択します。
7. **編集**をクリックします。**デスクトップの編集**ページが表示されます。
8. **説明**フィールドで、`ICA-LogOffOnClose`キーワードを`true`に設定します。
9. **OK**をクリックします。仮想デスクトップを閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。



エンドユーザーは、次の2つの方法でセッションを終了できます。

エネルギーを節約するためにサインアウト - この持続可能性アクションは、仮想マシンをシャットダウンし、エネルギーを節約します。エンドユーザーは、サインアウトする前に作業を保存していることを確認する必要があります。

仮想デスクトップセッションウィンドウを閉じるには、**切断**します。ただし、仮想セッションは次回のサインインまでアクティブなままです。エンドユーザーは簡単に作業を再開できます。

エネルギー節約画面のテキストをカスタマイズする

管理者は、省電力画面で切断およびログアウトダイアログボックスの内容をカスタマイズできます。

構成

管理者は、オンプレミスとクラウドの両方のセットアップで、DDCの次のキーワードを使用してサステナビリティダイアログボックスの内容をカスタマイズできます。

注:

説明フィールドで許可される最大文字数は200です。

キーワード	説明
ICA-LogOffOnClose	サステナビリティを有効/無効にするためのキーワード。デフォルト値は**false**です。
ICAアイコン	サステナビリティの葉のアイコンを有効/無効にするためのキーワード。この設定が空の場合でも、**ICA-LogOffOnClose**設定が適用されます。
ICA-PromptMessage	ダイアログボックスに表示されるプロンプトメッセージをカスタマイズするためのキーワード。カスタマイズされたメッセージを指定していない場合、デフォルトのメッセージが適用されます。
ICAタイトル	ダイアログボックスに表示されるタイトルをカスタマイズするためのキーワード。カスタマイズされたメッセージを指定していない場合、デフォルトのメッセージが適用されます。

注記：

- 切断およびログアウトのダイアログボックスは、解析されたキーに従って表示されます。
- サステナビリティ機能を使用しない場合、管理者はキー **LogOffOnClose** を **false** に構成できます。ただし、ユーザーにはデフォルトのダイアログボックスが表示され、**「次回から表示しない」** チェックボックスをクリックすることを選択できます。ユーザーがこのオプションをクリックすると、セッションは切断されますが、それ以降のセッションではダイアログボックスは表示されません。

カスタマイズ：

Save Energy 画面のテキストをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

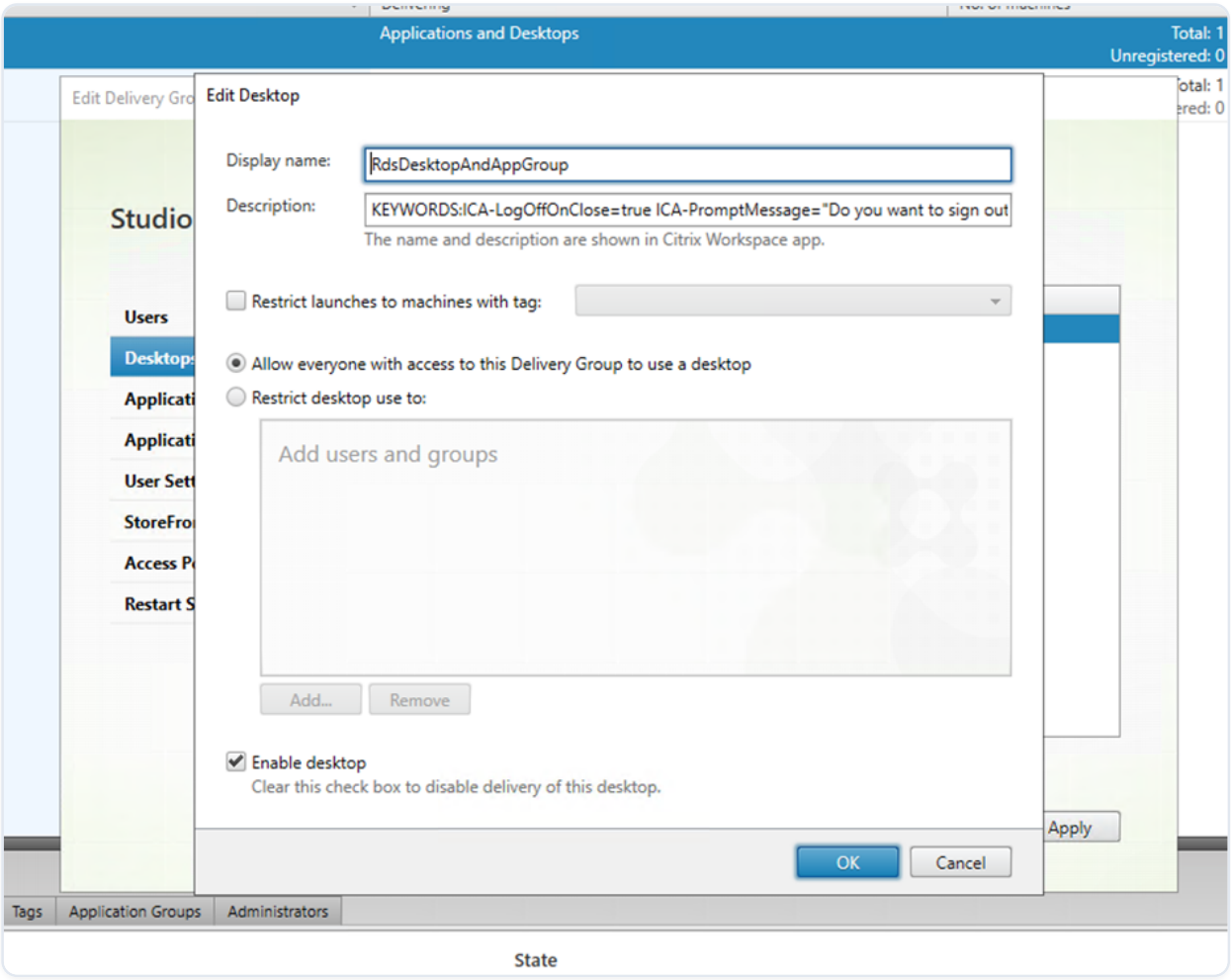
1. 前のセクションの手順1～8に従います。
2. Descriptionフィールドで、`ICA-PromptMessage` キーワードを必要なテキストに設定します。
3. Descriptionフィールドで、`ICA-Title` キーワードを必要なテキストに設定します。
4. `ICA-Icon` キーワードをtrueまたはfalseに設定します。

   例：

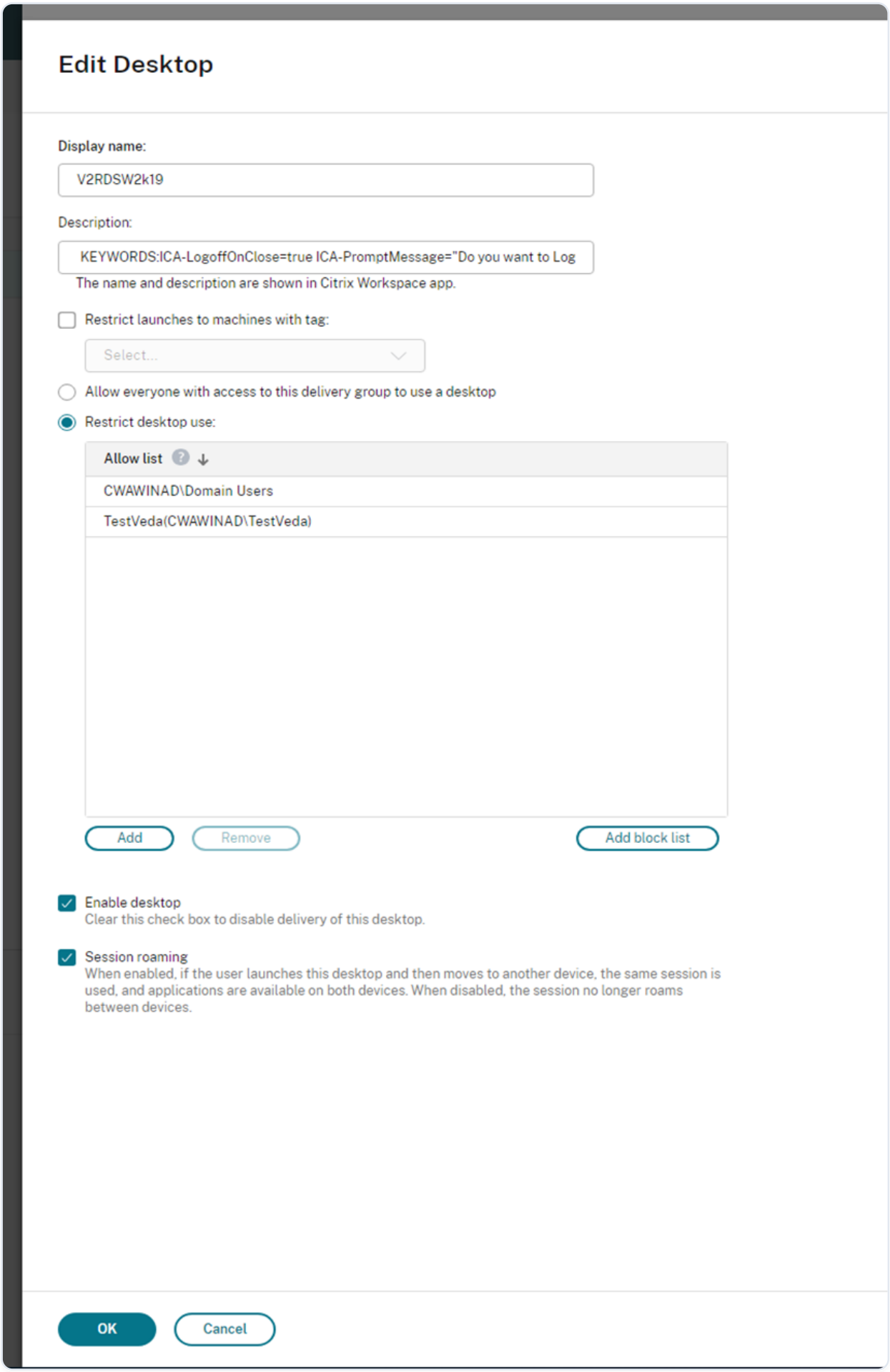
   ```
   KEYWORDS:ICA-LogOffOnClose=true ICA-PromptMessage="Do you want to sign out from the session?" ICA-Title="Sign out or disconnect" ICA-Icon=true
   ```

   次のスクリーンショットは、デスクトップグループのダイアログを編集する方法を示しています。

   オンプレミス環境の場合


Applications and Desktops
Total: 1
Unregistered: 0
Edit Delivery Gro
Edit Desktop
Display name:
RdsDesktopAndAppGroup
Description:
KEYWORDS:ICA-LogOffOnClose=true ICA-PromptMessage="Do you want to sign out
The name and description are shown in Citrix Workspace app.
Studio
Users
Desktop
Applicati
Applicati
User Sett
StoreFro
Access P
Restart S
Restrict launches to machines with tag:
Allow everyone with access to this Delivery Group to use a desktop
Restrict desktop use to:
Add users and groups
Add...
Remove
Enable desktop
Clear this check box to disable delivery of this desktop.
Apply
OK
Cancel
Tags
Application Groups
Administrators
State

クラウド環境の場合


Edit Desktop
Display name:
V2RDSW2k19
Description:
KEYWORDS:ICA-LogoffOnClose=true ICA-PromptMessage="Do you want to Log
The name and description are shown in Citrix Workspace app.
Restrict launches to machines with tag:
Select...
Allow everyone with access to this delivery group to use a desktop
Restrict desktop use:
Allow list
CWAWINAD\Domain Users
TestVeda(CWAWINAD\TestVeda)
Add
Remove
Add block list
Enable desktop
Clear this check box to disable delivery of this desktop.
Session roaming
When enabled, if the user launches this desktop and then moves to another device, the same session is used, and applications are available on both devices. When disabled, the session no longer roams between devices.
OK
Cancel

グループに割り当てられた新しいデスクトップマシンには、キーワードがデフォルトで割り当てられます。既存のデスクトップマシンについては、変更を適用するために以下のPowerShellコマンドを実行する必要があります。

```
$dg = Get-BrokerDesktopGroup -Name '<group name>' -Property
'Name','Uid'



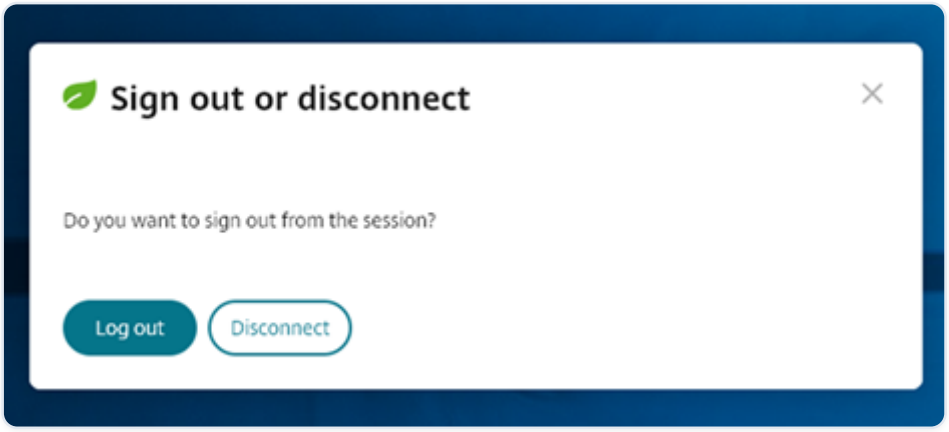
$apr = @( Get-BrokerAssignmentPolicyRule -DesktopGroupUid $dg.Uid
-Property 'Description' )



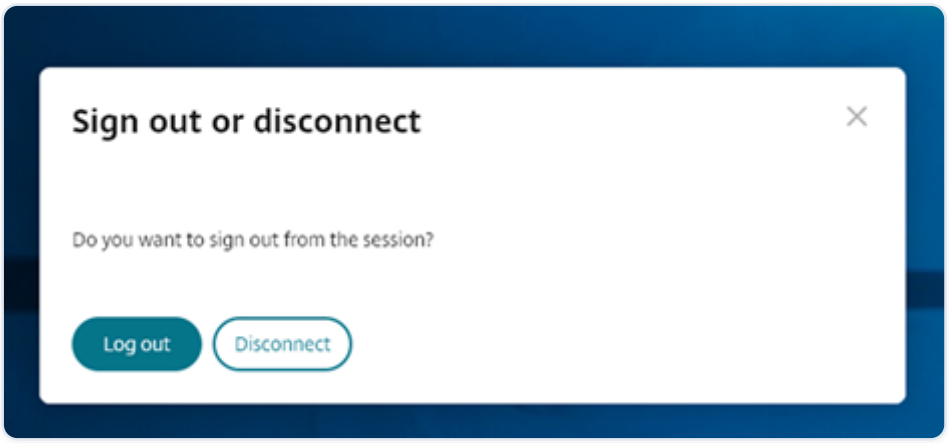
Get-BrokerMachine -DesktopGroupUid $dg.Uid -IsAssigned $true | Set-
BrokerMachine -Description $apr[0].Description
```

このPowerShellスクリプトを使用すると、単一のデリバリーグループに対して複数の割り当てポリシー規則を設定できます。Citrix Studioを使用しても、それぞれに一意の説明値と異なるキーワードのセットを持つ複数の割り当てポリシー規則を構成できます。

5. **OK**をクリックします。仮想デスクトップを閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。



ICA-Icon=falseの場合 – リーフアイコンは表示されません



地理的位置に基づくマルチサイトストアフェイルオーバーのサポート

バージョン24.5.0以降、マルチストアフェイルオーバー処理機能は、ストアアドレスチェックを非同期で実行し、新しいフェイルオーバーストアアドレスが検出されたときに古いストアエントリを削除することで、マルチストアフェイルオーバー処理を改善します。障害によりフェイルオーバーが発生した場合、グローバルサーバーロードバランサー (GSLB) はクライアントを新しいサイトにリダイレクトします。

この機能により、以前追加したストアを起動する際に、Gateway検出器がユーザーの地理的位置に基づいてストアアドレスが変更されたかどうかを確認します。新しいアドレスが見つかった場合、クライアントは自動的に古いストアエントリを削除し、新しいエントリを追加します。このプロセスはバックグラウンドで実行され、手動での介入なしに新しいストアへのシームレスな移行を可能にします。この機能はオンプレミスストアにのみ適用されることに注意してください。

前提条件

ユーザーはストアにログインする必要があります。

制限事項

ログインセッションクッキーの有効期限が切れると、URL取得用のAPIが失敗するため、マルチストアフェイルオーバーは自動的に発生しません。この場合、ログインページが表示されます。

強化されたマウスポインターモード

バージョン25.5.0以降、Citrix Workspaceアプリ for Androidはマウスポインターモードの機能強化を導入し、よりスムーズで一貫性のあるエクスペリエンスを提供します。マウスポインターは、スワイプ速度に反応してより自然に動くようになりました。

デフォルトの表示設定

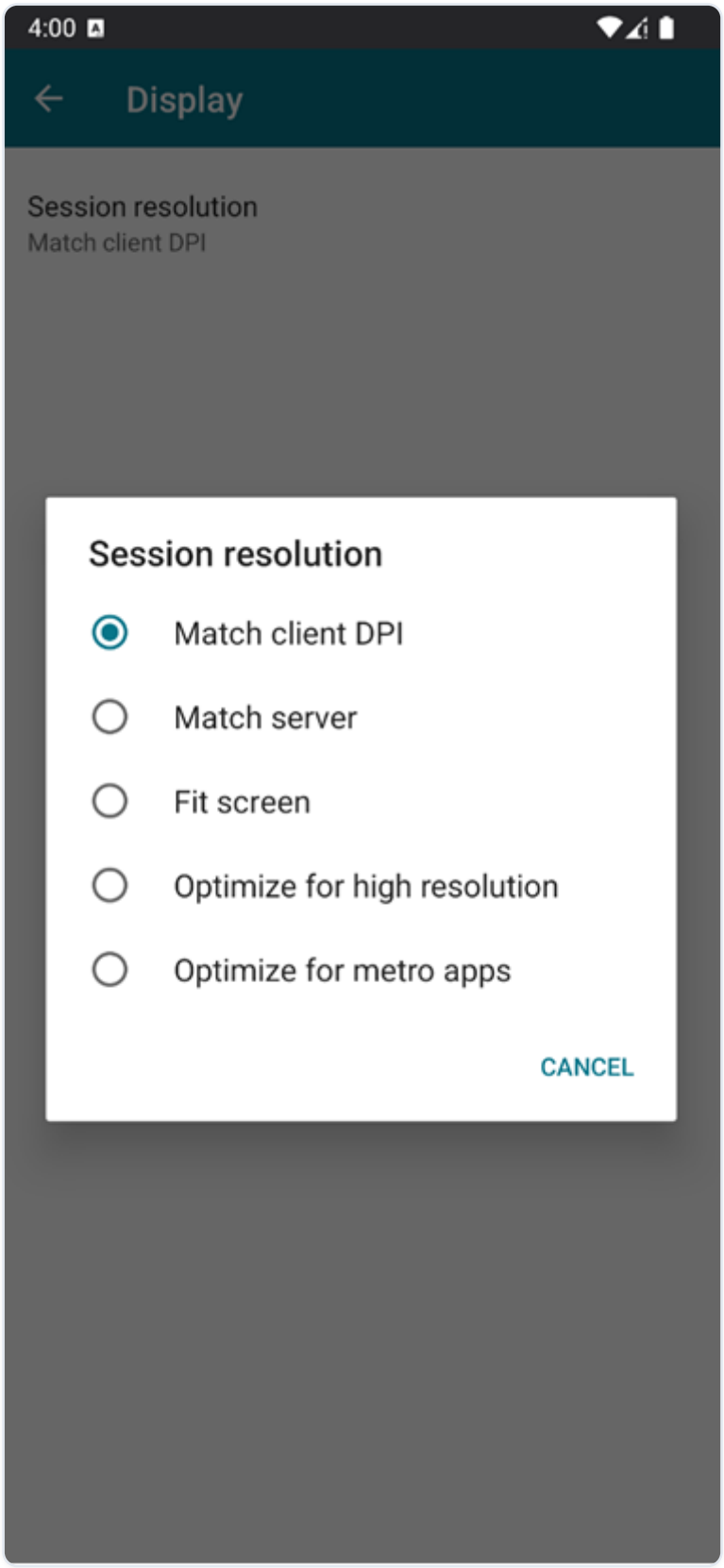
以前は、デフォルトの表示設定は**画面に合わせる**でした。

バージョン25.5.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、モバイルプラットフォーム全体でセッション解像度設定を統合します。デフォルトでは、セッションは**クライアントDPIに合わせる**モードを使用します。これにより、クライアントのDPIに一致させ、デバイス全体でより鮮明で一貫したエクスペリエンスを提供します。

ユースケース

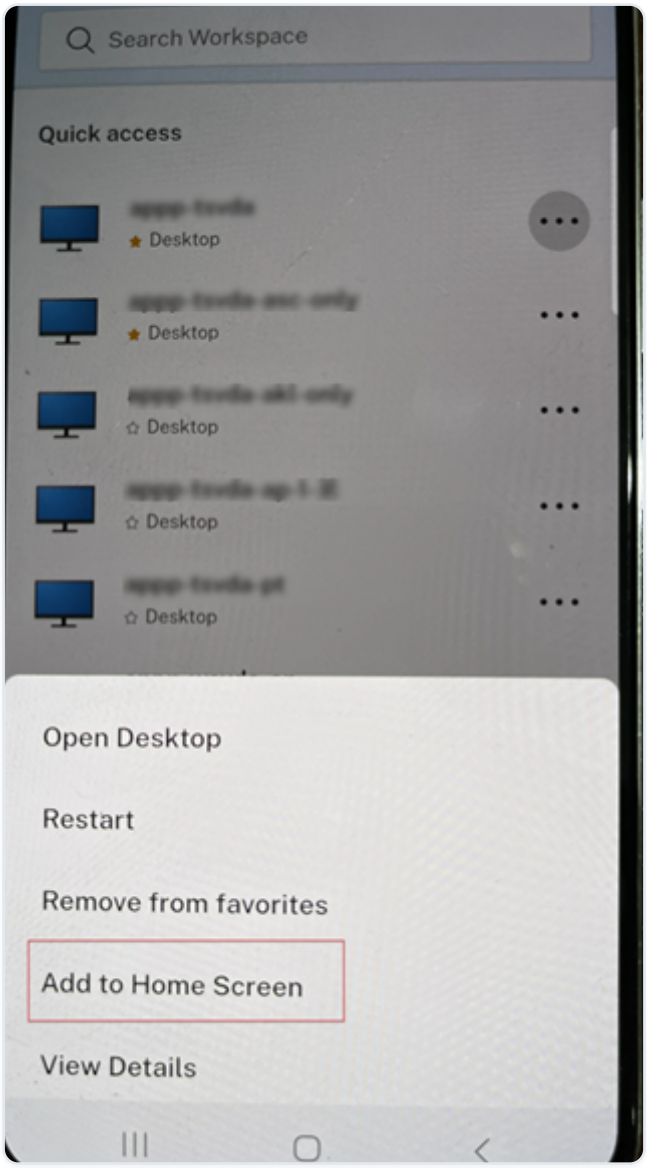
新規インストールの場合、機能フラグを有効にすると、デフォルトの表示設定が**クライアントDPIに合わせる**に設定されます。新規ユーザーはすぐに最高の表示エクスペリエンスを得られます。

既存ユーザーの場合、インストール後に機能フラグを有効または無効にしても、表示設定は変更されません。ユーザーは、**設定** > **表示**に移動して、手動で設定を更新する必要があります。



ホーム画面上の仮想化アプリとデスクトップのショートカット

バージョン25.5.0以降、ユーザーはCitrixが提供する仮想アプリとデスクトップをAndroidのホーム画面から直接起動できます。この機能により、アクセスが合理化され、ネイティブのようなアプリエクスペリエンスが提供されます。

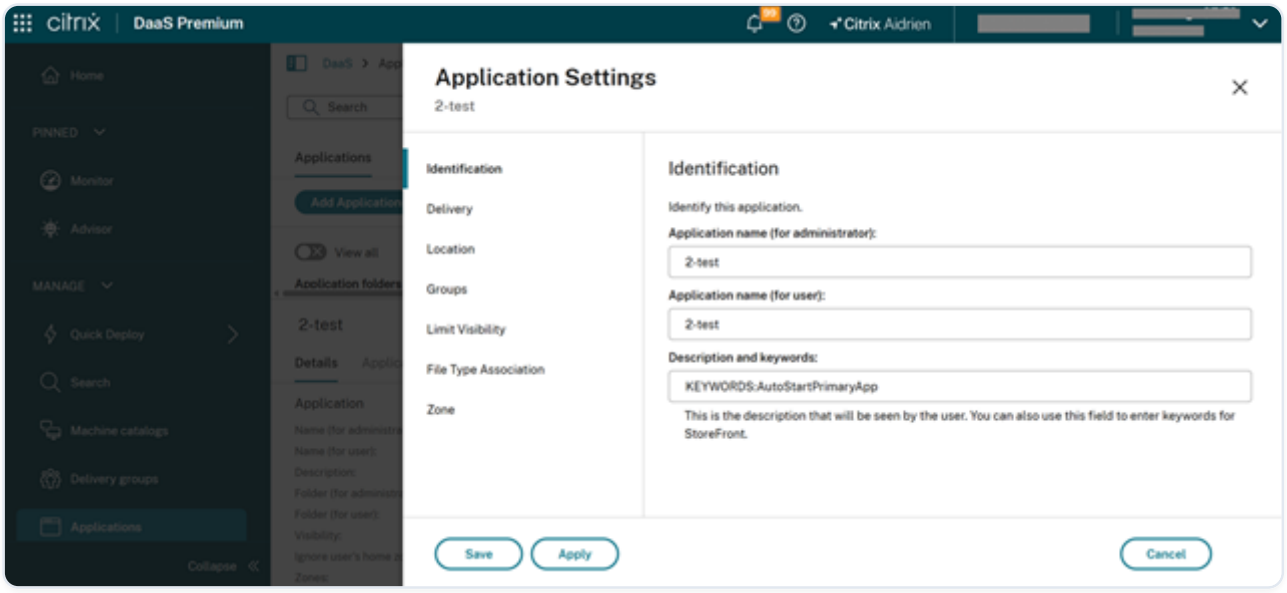


仮想デスクトップ画面のサイズ変更エクスペリエンスの強化

バージョン25.5.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、仮想デスクトップ画面のサイズ変更や引き伸ばし時にスムーズな移行を保証し、グレースクリーンやちらつきを防ぎます。この機能はデフォルトで有効になっています。

デスクトップとアプリの自動起動

バージョン2507以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、管理者の設定に基づいて、ユーザーログイン時に指定されたデスクトップまたはアプリケーションを自動的に起動します。



構成方法

Citrix Workspaceでコアアプリケーションを自動的に起動するには、管理者はアプリケーションの説明に文字列 `KEYWORDS:AutoStartPrimaryApp` を追加する必要があります。設定後、これらのアプリケーションはすべてのユーザーに対して自動的に起動します。

管理者の手順は次のとおりです。

1. 管理コンソールを開きます。
2. Citrix Studio（または組織のCitrix管理ポータル）を起動し、公開アプリケーションを編集する権限を持つアカウントでサインインします。
3. アプリケーションを見つける
4. アプリ（または同等のセクション）に移動し、自動起動したいアプリ（例：メモ帳）を見つけます。
5. アプリのプロパティを編集する
6. アプリを選択し、**「編集」**または「プロパティ」**を選択します。「説明」**フィールドを見つけます。
7. 自動起動キーワードを追加する.
8. 説明テキストの最後に、半角スペースを1つ追加し、その後に正確なキーワードを追加します。 `KEYWORDS:AutoStartPrimaryApp`
9. 変更を保存します。
10. **「OK」**または「保存」**または「更新」**をクリックして、編集したアプリケーションの説明を永続化します。

セッション起動エクスペリエンスの改善

以前は、起動の進行状況を示すダイアログボックスはユーザーにとって直感的ではありませんでした。通知メッセージは静的でした。デスクトップイメージがレンダリングされる前に灰色の画面が表示され、ちらつきやグリッチのような効果が生じていました。

バージョン25.7.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、強化されたデスクトップ起動エクスペリエンスを提供します。中間画面なしで、シームレスでちらつきのないデスクトップへの移行を体験できます。ユーザーは起動の進行状況に関する意味のある通知を表示できます。この機能はデフォルトで有効になっています。

改善されたアプリとデスクトップの起動エクスペリエンスは、より情報量が多く、モダンで、Android向けCitrix Workspaceアプリでユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを提供します。この新しい改善された起動エクスペリエンスは、起動ステータスに関するタイムリーで関連性の高い情報を提供することで、ユーザーのエンゲージメントを維持するのに役立ちます。

強化された接続強度インジケーター

バージョン25.7.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、新しいセッション内ツールバーの既存の機能である接続強度インジケーター（CSI）に、より多くの機能をサポートします。

以下に強化点を示します。

- **まったく新しいUI**: 明瞭さとユーザーエクスペリエンスを向上させるために再設計されたユーザーインターフェイス。
- **追加の接続詳細**:
  - **信号強度**: Wi-Fi信号強度を表示および記録します。
  - **帯域幅**: 帯域幅データを表示および記録します。
  - **CPU**: 現在のデバイスのCPU使用状況を表示および記録します。
  - **メモリ**: 現在のデバイスのメモリ使用状況を表示および記録します。
  - **ディスク**: 現在のデバイスのディスク使用状況を表示および記録します。
- **スコア付きメトリックと推奨事項**: 遅延、信号強度、帯域幅のスコアが計算されます。スコアが*Fair*または*Poor*の場合、問題に対処するための推奨事項がレイアウトに追加されます。
- **接続履歴**: 過去15分間の接続履歴を記録し、レイアウトの下部にあるグラフに表示します。これは、帯域幅、信号強度、および遅延に基づいて計算された複合スコアです。この履歴データは、コピーまたはダウンロードされたときにログにも含まれます。
- **ダウンロードの詳細:** すべての接続項目（つまり、遅延、帯域幅、信号強度）と、ローカルデバイスの統計（つまり、CPU使用率、メモリ使用率、ディスク使用率（パーセンテージ））を

記録します。接続履歴のステータスも含まれます。保存されたデータのタイムラインは過去15分間です。

接続強度アイコン(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/connection-strength-indicator-part-a.png)

接続強度アイコン(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/connection-strength-indicator-part-b.png)

リソース起動時のリアルタイム進行状況の可視化

バージョン25.9.0以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、アプリとデスクトップの起動中に詳細な進行状況ステータスを提供します。この機能は、進行状況追跡システムにより、仮想デスクトップまたはアプリケーションの起動中にリアルタイムのフィードバックを提供します。この機能により、ユーザーは起動のステータスをリアルタイムで監視でき、期待値を管理し、不確実性を軽減するのに役立ちます。

利点

- リソース起動中に明確で動的な進行状況の更新を表示します。
- 起動が進行中か、遅延が発生しているかをユーザーが理解するのに役立ちます。
- 接続プロセスの透明性と信頼性を高めます。
- AndroidデバイスでのCitrix Workspaceエクスペリエンス全体の使いやすさと応答性を向上させます。

Entra ID参加済みVDAのシームレスなシングルサインオン

バージョン2511以降、Android版Citrix Workspaceアプリは、クラウド展開におけるMicrosoft Entra ID参加済みVDAとのシームレスなシングルサインオン（SSO）をサポートします。以前は、このシナリオではSSOが利用できなかったため、Microsoft Entra ID参加済みVDAでHDXセッションを起動する際に、ユーザーは資格情報の入力を求められていました。この変更により、管理者はSSOを構成するオプションが提供され、セッション起動時の資格情報入力の必要性を省略でき、Entra IDを主要なIDプロバイダーとして使用する組織の認証を効率化できます。

この機能により、Active DirectoryからEntra IDに移行するユーザーは、手動で資格情報を入力することなくセッションを起動でき、改善された簡素化された認証エクスペリエンスを提供します。

システム要件

Microsoft Entra SSOを使用するためのシステム要件は次のとおりです。

- コントロールプレーン: Citrix DaaS

- Citrix Cloud コマーシャル (米国、EU、およびAPS)
- Citrix Cloud 日本
- ユーザーポータル: Citrix Workspace
- バーチャル デリバリー エージェント (VDA)
- Windows: バージョン2507以降
- Android向けCitrix Workspaceアプリ: バージョン2511以降
- セッションホストOS: Windows 11 バージョン24H2、2025年9月のWindows 11用累積更新プログラム (KB5065789) 以降がインストールされていること (ビルド26100.6725)

考慮事項

Microsoft Entra IDシングルサインオンは、Citrix Workspaceアプリを介してCitrix Workspaceにアクセスする場合にのみサポートされます。ユーザーがWebブラウザーを介してCitrix Workspaceにアクセスする場合、シングルサインオンは機能しません。

Microsoft Entra IDシングルサインオンを使用してセッションにログオンする場合、Auto Client Reconnectはサポートされません。このログオン方法が使用されると、この機能は自動的に無効になります。ネットワーク障害が発生した場合の自動再接続には、Session Reliabilityが引き続き利用可能です。

仮想デスクトップがロックされている場合、デフォルトの動作では**Windowsロック**画面が表示されます。認証要件によっては、セッションロックの動作を変更する必要がある場合があります。詳しくは、Citrix DaaSドキュメントの「セッションロックの動作」を参照してください。

Microsoft Entra IDシングルサインオンの構成方法

詳細については、Citrix DaaSドキュメントの「Microsoft Entra IDシングルサインオンの構成方法」を参照してください。

オールウェイズ オン トレーシング (AOT)

Android向けCitrix Workspaceアプリは、Always On Tracing (AOT) をサポートするようになりました。これにより、ユーザーセッションとシステムイベントの読み取り可能な診断ログが継続的にキャプチャされ、トラブルシューティングが簡素化され、Citrixサポートへの依存が軽減されます。

詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktops™ドキュメントのCitrix Virtual Apps and DesktopsコアコンポーネントからのAOTログのアップロードを参照してください。

非アクティブタイムアウト時のIdPチェーンログアウト

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、Workspaceセッションが非アクティブのためにタイムアウトした場合に、IDプロバイダー（IdP）チェーンログアウトをサポートするようになりました。この機能強化により、非アクティブタイムアウトが発生すると、Workspaceセッションと関連するIdPセッションの両方が終了し、ユーザーはその後のログイン試行のためにIdPで再認証する必要があるようになります。

以前は、非アクティブなWorkspaceセッションはWorkspaceセッション自体のみを終了していました。ユーザーが再度ログインしようとして、システムがEntra IDなどのIDプロバイダーにリダイレクトした場合、IdPセッションはアクティブなままでした。この動作により、ユーザーは資格情報を再度入力することなくWorkspaceに再入室でき、セキュリティ上のギャップが生じていました。

IdPチェーンログアウト機能は、Workspaceセッションが非アクティブのためにタイムアウトしたときにIdPログアウトをトリガーすることで、このセキュリティ上の懸念に対処します。このプロセスにより、IdPセッションが完全に終了し、非アクティブタイムアウト後のその後のログイン試行では、ユーザーがIdPで再認証する必要があるようになります。

利点

組織は、Citrix WorkspaceがログアウトしたときにIdPセッションが終了することを要求します。この機能は、非アクティブなWorkspaceセッションが関連するIdPセッションを適切に終了させることで、全体的なセキュリティとコンプライアンスを強化し、セキュリティ要件に合致します。

構成

管理者は、Workspace構成内の新しい構成設定を通じて、この機能を有効または無効にできます。この設定は、組織のセキュリティポリシーに合わせて管理できます。

非アクティブタイマー](/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/inactivity-timer.png)

重要な考慮事項

この実装は、IdPセッションからユーザーを具体的にログアウトさせるチェーンIdPログアウトを提供します。このアプローチは、他のアプリケーションのセッションを終了させるフェデレーションIdPログアウトとは異なります。この機能により、Citrix Workspaceに関連するIdPセッションのみが終了することが保証されます。

詳細については、Citrix WorkspaceドキュメントのWorkspaceセッションを参照してください。

Global App Configurationサービスおよびモバイルデバイス管理によるセッションツールバー構成

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、Global App Configurationサービス（GACS）とモバイルデバイス管理（MDM）ソリューションの両方を通じて、集中型セッションツールバー構成をサポートしています。この機能強化により、管理者はユーザーがセッション中に表示するツールバーオプションを制御できるようになり、セキュリティとコンプライアンス要件を維持しながら、組織全体でユーザーエクスペリエンスを標準化できます。

構成方法

管理者は、次の2つの方法を使用してセッションツールバーオプションを構成できます。

グローバルアプリケーション構成サービス (GACS):

管理者は、Citrix Cloudのクライアントアプリ管理インターフェイスを通じてツールバー設定を構成できます。構成プロセスは次のとおりです。

1. Citrix Cloudにサインインし、**Client app management**に移動します。
2. **Citrix Workspaceアプリ** > **セッションエクスペリエンス** > **ツールバー** を選択します。
3. 目的のツールバーオプションを選択し、必要に応じてプラットフォームフィルターを適用します。
4. チェックボックスを使用して、特定のツールバー機能を有効または無効にします。
5. **Save**をクリックし、構成を**Publish**して有効にします。

   GACSの構成変更は、キャッシュメカニズムのため、有効になるまでに最大6時間かかります。

モバイルデバイス管理 (MDM):

MDMは、エンタープライズモビリティ管理ソリューションを通じて、Android向けCitrix Workspaceアプリの管理対象構成として構成を展開します。MDM設定は、両方が存在する場合、GACS構成を上書きします。組織は、管理対象構成ポリシー内で、セッションツールバー構成を**appSettings**に名前と値のキーペアとして追加します。

サポートされているツールバーオプション

セッションツールバー構成には、次のオプションが含まれます。

名前	説明	MDM設定キー
ツールバーのカメラオプション	セッションツールバーに「**カメラ**」オプションを表示し、ユーザーがリダイレクトのためにカメラソース（前面、背面、または外部）を選択できるようにします	`enableCameraToolbarOption`
ツールバーのキャスティングオプション	セッションツールバーに「**キャスティング**」オプションを表示し、ユーザーがモバイルデバイスから近くのCitrix Readyワークスペースハブデバイスにキャストできるようにします	`enableCastingToolbarOption`
ツールバーの接続強度オプション	セッションツールバーに「**接続強度**」オプションを表示し、接続品質に関するリアルタイムの洞察を提供します	`enableConnectionStrengthToolbarOption`
ツールバーのCtrl+Alt+Del (ロック) オプション	セッションツールバーに「**Ctrl+Alt+Del (ロック)**」オプションを表示します。無効にすると、このキーの組み合わせがVDAに到達するのを防ぎます	`enableCtrlAltDelToolbarOption`
ツールバーのデバイスオプション	セッションツールバーに**デバイス**オプションを表示し、接続されているUSBデバイスのリストを表示します	`enableDevicesToolbarOption`
ツールバーの切断オプション	セッションツールバーに**切断**オプションを表示します。無効にすると、ユーザーはタブを閉じることでセッションを切断します。	`enableCloseToolbarOption`
ツールバーの表示設定オプション	セッションツールバーに**表示設定**オプションを表示し、ユーザーが変更できる表示解	`enableDisplaySettingsToolbarOption`

名前	説明	MDM設定キー
	像度設定のリストを提示します。	
ツールバーの拡張オプション	セッションツールバーに**拡張**画面オプションを表示し、ユーザーがセッション画面を外部モニターに拡張できるようにします。	`enableExtendToolbarOption`
ツールバーのヘルプオプション	セッションツールバーに**ヘルプ**オプションを表示し、ツールバーとジェスチャの使用に関するガイダンスを提供します。	`enableHelpToolbarOption`
ツールバーのキーボードオプション	オンスクリーンキーボードの表示/非表示を切り替えるための、セッションツールバーの**キーボード**オプションを表示します	`enableKeyboardToolbarOption`
ツールバーの拡大鏡オプション	カーソル下の領域を拡大するための、セッションツールバーの**拡大鏡**オプションを表示します	`enableMagnifierToolbarOption`
新しいツールバー	レガシーなツールバーインターフェイスの代わりに、新しいセッションツールバーを表示します	`enableNewToolbar`
ツールバーのポインターオプション	画面上のカーソルを表示/非表示にするための、セッションツールバーの**ポインター**オプションを表示します	`enablePointerToolbarOption`
ツールバーのドキュメントスキャンオプション	セッションツールバーに**ドキュメントスキャン**オプションを表示し、カメラを開いて写真を撮り、PDFファイルとしてスキャンします	`enableScanDocumentToolbarOption`

名前	説明	MDM設定キー
ツールバーのスクロール、パン、マルチタッチオプション	セッションツールバーに**スクロール、パン、マルチタッチ**オプションを、ページスクロール、画面パン、マルチタッチジェスチャ用の3状態オプションとして表示します	`enableScrollPanMultitouchToolbarOption`
ツールバーでのアプリの切り替え	ツールバーに**切り替え**アプリオプションを表示し、ユーザーが仮想アプリセッションでアプリケーションを切り替えられるようにします	`enableSwitchAppsToolbarOption`

利点

- **一元管理**: 管理者はGACSまたはMDMを介してツールバー構成を一元的に制御し、組織全体で一貫したユーザーエクスペリエンスを確保できます。
- **セキュリティの強化**: 組織は、セキュリティポリシーとコンプライアンス要件に基づいて、特定のツールバー機能へのアクセスを制限できます。
- **柔軟な展開**: この機能は、クラウドベースのGACSとオンプレミスMDMソリューションの両方をサポートし、さまざまな組織インフラストラクチャに対応します。
- **優先度ベースの構成**: MDM設定はGACS構成を上書きし、特定のデバイスグループまたはユーザーに対してきめ細かな制御を可能にします。
- **即時適用**: 構成キャッシュが更新された後、ツールバー構成の変更は新しいセッションにすぐに適用されます。

ストアエクスペリエンス

認証されていないユーザー

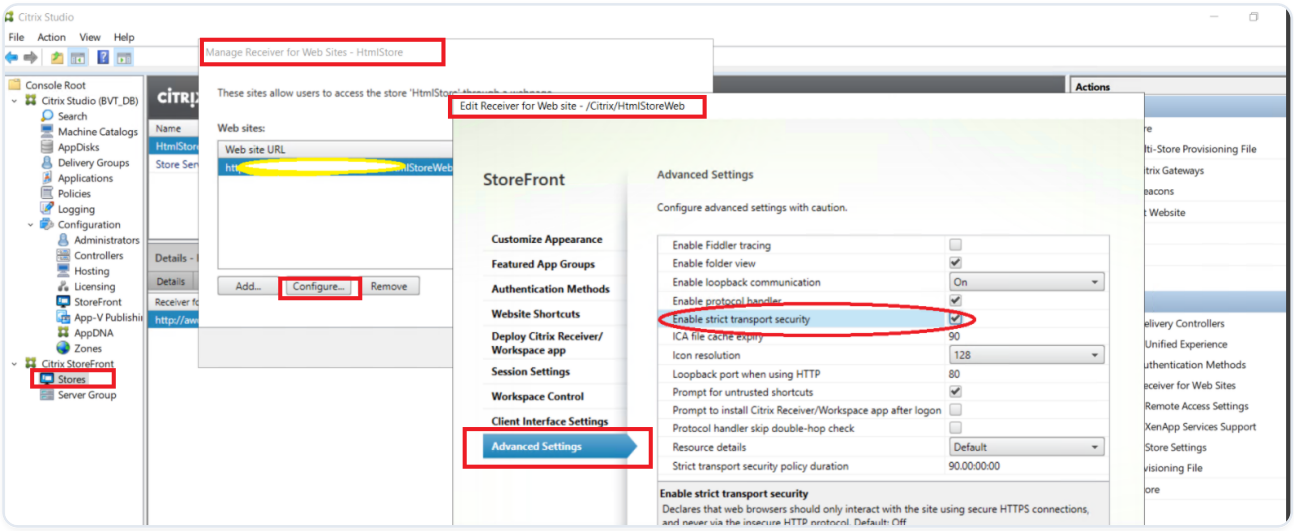
Citrix Workspaceアプリは、認証されていない（匿名）ユーザーをサポートしています。匿名ユーザーは、Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS（旧Citrix Virtual Apps and Desktops サービス）セッションを正常に起動できます。

セキュリティ設定

Citrix®は、安全なストアを使用することを推奨しています。さらに、安全なストアではHTTP Strict Transport Security (HSTS) 設定を有効にすることが推奨されます。

HSTS設定を有効にするには、次の手順を実行します。

1. **Citrix StoreFront**で、**Stores**の下にある特定のストアのリンクをタップして、セキュリティ設定を有効にします。
2. **Manage Receiver for Web Sites**ダイアログボックスが表示されます。
3. **Configure**をタップします。
4. **Edit Receiver for Web site**ダイアログボックスが表示されます。
5. **Advanced Settings**タブをタップし、**Enable strict transport security**を選択します。



認証

スマートカード

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、エディションに応じて、Citrix Gatewayを介した以下の認証方法をサポートしています。

- 認証なし（StandardおよびEnterpriseバージョンのみ）
- ドメイン認証
- SMSパスコード（ワンタイムPIN）認証
- スマートカード認証

Citrix Workspaceアプリ for Androidは、以下の製品と構成をサポートするようになりました。

スマートカードリーダー:

- BaiMobile 3000MP USBスマートカードリーダー

スマートカード:

- PIVカード
- 共通アクセスカード

構成:

- StoreFront 2または3およびCitrix Virtual Apps and Desktops 7.x以降を使用したCitrix Gatewayへのスマートカード認証。

> **注記:**
>
> - その他のトークンベースの認証ソリューションは、RADIUSを使用して構成できます。SafeWordトークン認証については、SafeWord認証の構成を参照してください。
> - 高速スマートカードは、現在、楕円曲線暗号 (ECC) スマートカードをサポートしていません。

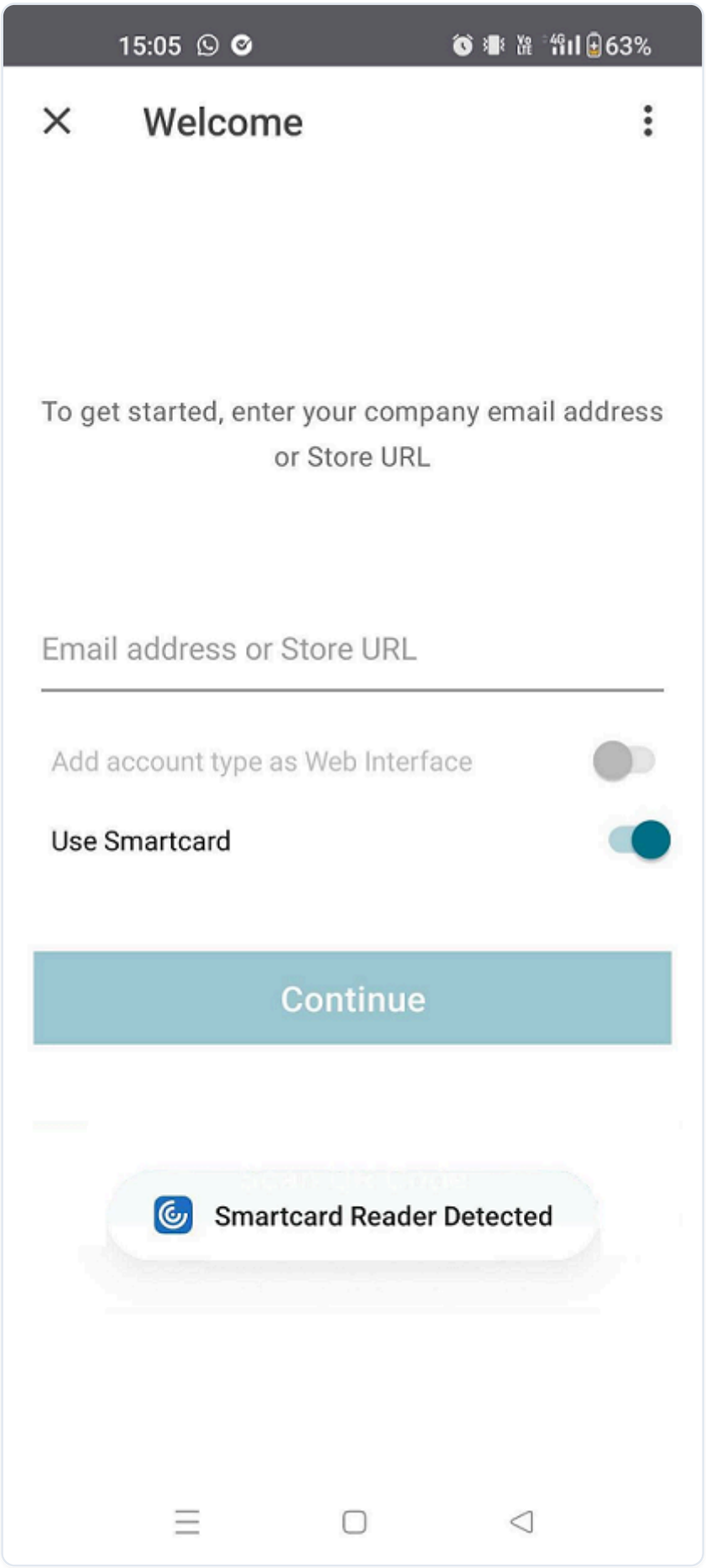
スマートカードの使用方法

前提条件

- スマートカードを使用するには、PlayストアからC4Eアプリをインストールします。ライセンスについては、連絡先メールアドレス: mailto:android@citrix.comまでお問い合わせください。

スマートカードを使用してアプリにアクセスするには:

1. アカウント作成時にアプリにアクセスできるようにCitrix Workspaceアプリを自動的に構成したい場合は、**アドレス**フィールドにストアの有効なURLを入力します。例:
   - .organization.com
   - netscalervserver.organization.com
2. サポートされているリーダーとともにスマートカードをAndroidデバイスに挿入します。Citrix Workspaceアプリはスマートカードを自動的に検出します。



3. 認証するには、**スマートカードを使用**オプションを選択します。

注:

- ストアへのアクセスは約1時間有効です。その後は、アクセスを更新するか、他のアプリを起動するためにサインインする必要があります。

HDX™セッションへの接続時のFIDO2ベース認証のサポート

バージョン23.8.0以降、Android向けCitrix Workspaceアプリは、FIDO2ベースの認証方法を使用して、Citrix Virtual Apps and Desktopsセッション内でのパスワードレス認証をサポートするようになりました。

この機能により、ユーザーはブラウザでWebAuthnをサポートするWebサイトにサインインできます。たとえば、Google ChromeやMicrosoft Edgeで、指紋やデバイスPINなどのFIDO2対応プラットフォーム認証器を使用できます。WebAuthn対応のWebサイトを開くだけで、パスワードレス認証がトリガーされます。

FIDO 2では、パスワードレス認証を使用したCitrix Workspaceアプリまたはデスクトップセッションへのサインインはサポートされていません。

注:

YubiKeyやスマートカードなどのローミング認証器は、Android向けCitrix Workspaceアプリではサポートされていません。

この機能の前提条件の詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktopsのドキュメントにある「FIDO2を使用したローカル認証と仮想認証」を参照してください。

Citrix Workspaceアプリセッションの非アクティブタイムアウト

管理者は、許可されるアイドル時間を指定できます。タイムアウト値を超えると、認証プロンプトが表示されます。

詳細については、「Citrix Workspaceアプリセッションの非アクティブタイムアウト」を参照してください。

非アクティブ後の生体認証のサポート

非アクティブタイマーが期限切れになると、エンドユーザーは顔認識や指紋スキャンなどの生体認証機能を使用して認証を求められます。

エンドユーザーが利用できる最も堅牢な生体認証形式は、デバイスのOEMによって異なり、それに応じてプロンプトが表示されます。

クラウドストアへの接続時のFIDO2を使用した認証のサポート

バージョン24.5.0以降、ユーザーはクラウドストアに接続する際に、FIDO2ベースのパスワードレス認証を使用してCitrix Workspaceアプリに認証できます。FIDO2はシームレスな認証方法を提供し、企業従業員がユーザー名やパスワードを入力することなく、仮想セッション内のアプリやデスクトップにアクセスできるようにします。この機能は、ローミング認証器（USBのみ）とプラットフォーム認証器（PINコード、顔認識、指紋のみ）の両方をサポートしています。この機能はAndroidバージョン9以降と互換性があります。

FIDO2認証はChromeカスタムタブでサポートされています。WebViewでFIDO2認証の使用に関心がある場合は、Googleフォームを使用して関心を登録してください。

> **注：**

> この機能はデフォルトで有効になっています。

スマートカード認証のYubiKeyサポート

YubiKeyを使用してスマートカード認証を実行できるようになりました。この機能により、Citrix Workspace™アプリ、仮想セッション、およびVDAセッション内の公開アプリケーションに対して、単一デバイスでの認証エクスペリエンスが提供されます。スマートカードリーダーやその他の外部認証デバイスを接続する必要がなくなります。YubiKeyはOTP、FIDOなど、さまざまなプロトコルをサポートしているため、エンドユーザーエクスペリエンスが簡素化されます。

Citrix Workspaceアプリにサインインするには、エンドユーザーはYubiKeyをAndroidデバイスに挿入し、スマートカードトグルをオンにして、ストアURLを入力する必要があります。

> **注：**

この機能は、StoreFront展開でのCitrix Workspaceアプリへの直接接続のみをサポートし、Citrix Gateway経由ではサポートしません。Citrix Gateway経由のスマートカード認証に対するYubiKeyサポートは、将来のリリースで利用可能になります。Android版Citrix Workspaceアプリは、YubiKey 5シリーズのみをサポートしています。YubiKeyの詳細については、YubiKey 5シリーズを参照してください。

ユーザーエージェント

Citrix Workspace™アプリは、ネットワーク要求でユーザーエージェント文字列を送信します。これは、認証を他のIDプロバイダー（IdP）にリダイレクトすることを含む認証ポリシーを構成するために使用できます。

注：

次の表のユーザーエージェントの一部として記載されているバージョン番号は例であり、使用しているバージョンに基づいて自動的に更新されます。

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタムCHROMEタブ）	ANDROIDタブレット (WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタムCHROMEタブ)	アンドロイドサムスンDEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイドハネウェル
クラウドストア	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DX	Mozilla/5.0 (Linux; Android 10; K) AppleWebKit/537.36	Citrix Receiver/24.7.0 Android/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DWB	Mozilla/5.0 (Linux; Android 13; SM-T875 Build/TP1A.220624.014;	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DX	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DX	Citrix Workspaceアプリのユーザーエージェント文字列:	Citrix Workspaceアプリのユーザーエージェント文字列:

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタム CHROME タブ）	ANDROIDタブレット (WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタム CHROME タブ)	アンドロイドサムスン DEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイドハネウェル
	BE CWA 対応 VPN 対応	(KHTML, like Gecko) Chrome/ 127.0.0.0 Mobile Safari/ 537.36	2 CWA Capable	wv) Apple WebKit/ 537.36 (KHTML, like Gecko) Version/4.0 Chrome/ 126.0.6478.133 Safari/ 537.36	BE CWA 対応 VPN 対応	BE CWA 対応 VPN 対応	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA Capable VPNCapable	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA Capable VPNCapable
クラウドストア - SaaS および Web	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S90	Mozilla/5.0 (Linux; Android 10; K) Apple WebKit/	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/13 TP1A.220624.014.T875	Mozilla/5.0 (Linux; Android 13; SM-T875 Build/ TP1A.	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S90	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/13 TP1A.220624.014.T875	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/13 TP1A.220624.014.T875	Citrix Receiver/ 24.7.0 Android/13 TP1A.220624.014.T875

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタム CHROME タブ）	ANDROIDタブレット (WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタム CHROME タブ)	アンドロイド サムスン DEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイド ハネウェル
アプリ	1EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/127.0.0.0 Safari/537.36	XXU2DWB2 CWA Capable	22062 4.014; wv) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Version/4.0 Chrome/126.0.6478.133 Safari/537.36	1EXXS7DXBE CWA Capable VPNCapable	XXU2DWB2 CWA Capable	XXU2DWB2 CWA Capable	XXU2DWB2 CWA Capable
オンプレミスストア	**形式:** `CitrixReceiver/<App-version>`	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.2310	Citrix Receiver/24.7.0 Android/13 TP1A.22062	Citrix Receiver/24.7.0 Android/13 TP1A.22062	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.2310	**形式:** `CitrixReceiver/<App-version>`	**形式:** `CitrixReceiver/<App-version>`	**形式:** `CitrixReceiver/<App-version>`

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタム CHROME タブ）	ANDROIDタブレット (WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタム CHROME タブ)	アンドロイドサムスン DEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイドハネウェル
	`Android/<OS-version><os-build-id>CWACapable.` 例: Citrix Receiver/23.6.5 Android/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DVK3 CWA Capable	05.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	4.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応 VPN 対応	4.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応	05.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	`Android/<OS-version><os-build-id>CWACapable.` 例: Citrix Receiver/23.6.5 Android/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DVK3 CWA Capable	`Android/<OS-version><os-build-id>CWACapable.` 例: Citrix Receiver/23.6.5 Android/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DVK3 CWA Capable	`Android/<OS-version><os-build-id>CWACapable.` 例: Citrix Receiver/23.6.5 Android/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DVK3 CWA Capable
NetScaler Gateway を使用し	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14	Citrix Receiver/24.7.0 Android/13	Citrix Receiver/24.7.0 Android/13	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタム CHROME タブ）	ANDROIDタブレット (WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタム CHROME タブ)	アンドロイドサムスン DEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイドハネウェル
たオンプレミスストア	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	TP1A.220624.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応 VPN 対応	TP1A.220624.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応
NetScaler Gateway およびnFactor 認証を使用したオンプレミスストア	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	Citrix Receiver/24.7.0 Android/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応 VPN 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/13 TP1A.220624.014.T875XXU2DWB2 CWA 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応	Citrix レシーバー/24.7.0 アンドロイド/14 UP1A.231005.007.S901EXXS7DXBE CWA 対応 VPN 対応

シナリオ	ANDROIDスマートフォン（WEB VIEW）	ANDROIDスマートフォン（カスタムCHROMEタブ）	ANDROIDタブレット(WEB VIEW)	ANDROIDタブレット (カスタムCHROMEタブ)	アンドロイドサムスンDEX	ANDROID ZEBRA 電話モード	ANDROID ZEBRA ドックモード	アンドロイドハネウェル
サードパーティゲートウェイを備えたオンプレミスストア	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA

Citrix WorkspaceアプリとCitrix GatewayによるSAML認証

前提条件

Citrix WorkspaceアプリとCitrix GatewayでのSAML認証をサポートするには、SAMLポリシーをAdvanced (nFactor) 認証ポリシーとして構成し、Gatewayの負荷分散/VPN仮想サーバーに直接ではなく、認証 (AAA) 仮想サーバーにバインドします。基本的なSAMLポリシーバインディングはブラウザアクセスでは機能しますが、Workspaceアプリ接続では機能しません。

主要なポイント

- Citrix WorkspaceアプリはSAMLをサポートしますが、ポリシーをAdvanced Authentication (nFactor) フローで構成した場合に限ります。
- Citrix WorkspaceアプリとGatewayプラグインは、SAMLリダイレクトとプロファイルバインディングを処理するために認証仮想サーバーを必要とするため、nFactorが必要です。

- SAMLをGateway (クラシック/基本認証) に直接バインドすると、Citrix Workspaceアプリは失敗します。

セキュリティ

セキュリティのためにProGuardを有効化

Citrix Workspace for Android を難読化によって安全にするため、ProGuard を有効にしました。ProGuard は、スタックトレースの検査を防ぎ、Workspace アプリを安全にするために、コードのさまざまな部分の名前を変更します。ProGuard はまた、アプリのクラス、メソッド、フィールドの名前を短縮することで、アプリのサイズを削減します。

暗号化

この機能は、セキュアな通信プロトコルにおける重要な変更点です。TLS_RSA_ のプレフィックスを持つ暗号スイートは、前方秘匿性を提供せず、脆弱であると見なされます。

`TLS_RSA_` 暗号スイートは削除されました。リリース 20.6.5 以降では、高度な `TLS_ECDHE_RSA_` 暗号スイートがサポートされています。環境が `TLS_ECDHE_RSA_` 暗号スイートで構成されていない場合、脆弱な暗号が原因でクライアントを起動できません。

以下の高度な暗号スイートがサポートされています。

TLS v1.2 は以下をサポートします:

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA

TLS v1.3 は以下をサポートします:

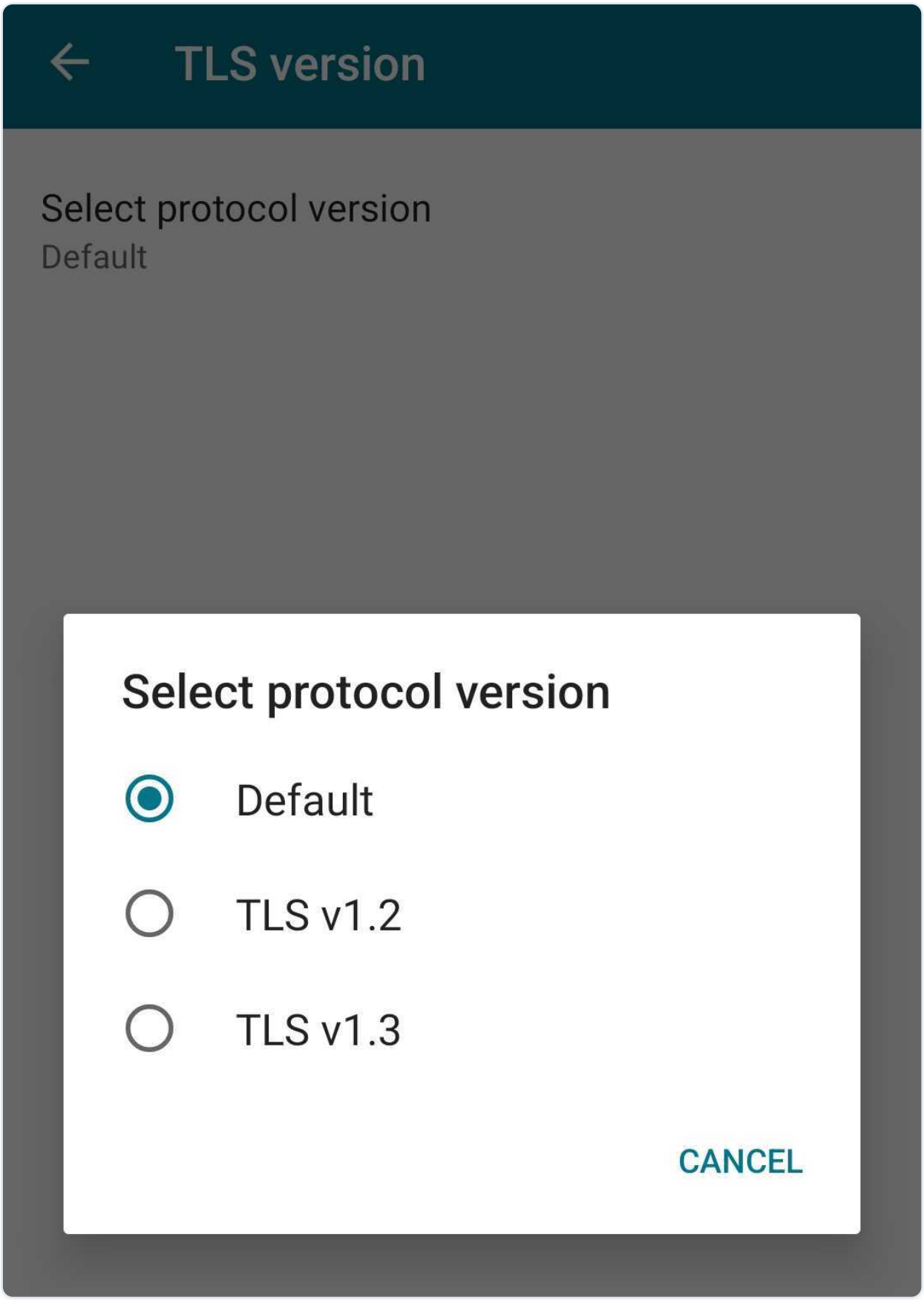
- TLS_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_AES_128_GCM_SHA256

Transport Layer Security 1.3 のサポート

Citrix Workspace app for Android は、Transport Layer Security (TLS) 1.3 をサポートするようになりました。これにより、パフォーマンスと効率が向上します。TLS 1.3 は、強力な暗号スイートとワンタイムセッションキーにより、堅牢なセキュリティを提供します。

エンドユーザーは、Citrix Workspace app for Android で次のように有効にできます。

1. Citrix Workspace アプリの **設定** > **TLS バージョン** に移動します。
2. **プロトコルバージョンの選択** オプションをタップし、**TLS v1.3** を選択します。

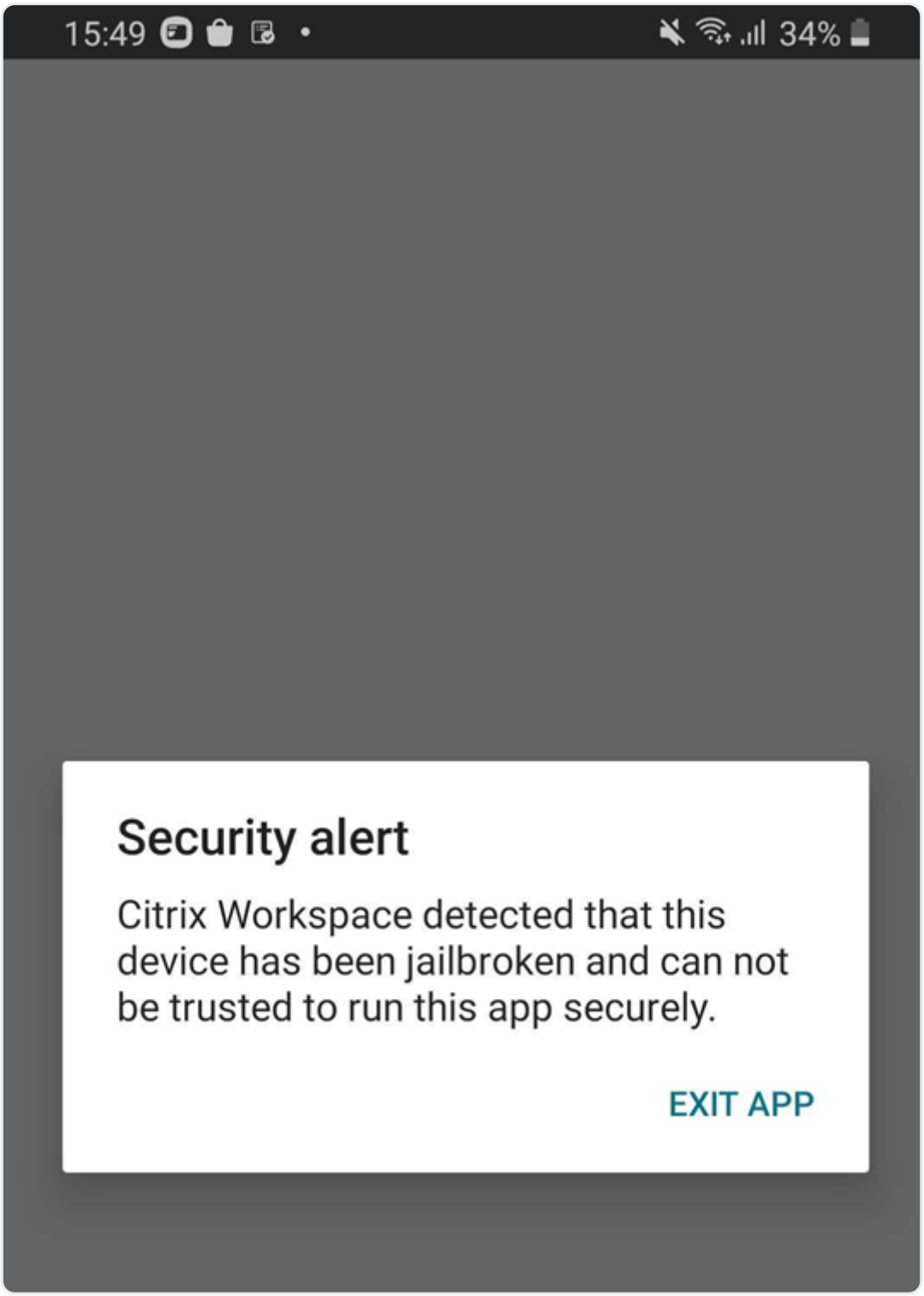


詳細については、「暗号化」を参照してください。

ヘルプドキュメントの詳細については、「TLS バージョン」を参照してください。

ジェイルブレイクされたデバイス

ジェイルブレイクされたデバイスとは、通常、セキュリティ保護を回避するために所有者によって変更されたデバイスのことです。ジェイルブレイクされた Android デバイスは、ユーザーが接続すると展開にセキュリティリスクをもたらします。Citrix Workspace app for Android がジェイルブレイクされた Android デバイスの基本的な検出を行うと、アプリはユーザーに警告を表示します。



環境のセキュリティをさらに強化するために、StoreFront™ または Web Interface を構成して、検出されたジェイルブレイクされたデバイスがアプリを実行できないようにすることができます。

> **注：**

> Citrix Workspace™ アプリは、データ保護とセキュリティ維持のため、ジェイルブレイクされたデバイスを検出すると自動的に非アクティブ化されます。これにより、不正な変更が加えられたデバイスでアプリが使用されることがなくなります。

> **要件：**

- Citrix Workspace アプリ for Android 24.7.0 以降。
- 管理者アカウントを介したStoreFrontまたはWeb Interfaceへのアクセス。

検出されたジェイルブレイクデバイスがアプリを実行するのを防ぐには：

1. 管理者権限を持つユーザーとして、StoreFrontまたはWeb Interfaceサーバーにサインインします。
2. 次のいずれかの場所にあるファイル **default.ica** を見つけます。
   - `C:\\inetpub\\wwwroot\\Citrix\*storename* conf` (マイクロソフト インターネット インフォメーション サービス)
   - `C:\\inetpub\\wwwroot\\Citrix\*storename*\\App _Data` (マイクロソフト インターネット インフォメーション サービス)
   - `./usr/local/tomcat/webapps/Citrix/XenApp/WEB-INF` (アパッチ トムキャット)
3. セクション の下に、次を追加します: `AllowJailBrokenDevices=OFF`
4. ファイルを保存し、StoreFrontまたはWeb Interfaceサーバーを再起動します。

StoreFrontサーバーを再起動すると、ジェイルブレイクデバイスに関する警告が表示されるユーザーは、StoreFrontまたはWeb Interfaceサーバーからアプリを起動できなくなります。

検出されたジェイルブレイクデバイスがアプリを実行できるようにするには：

`AllowJailBrokenDevices` を設定しない場合、デフォルトではジェイルブレイクデバイスのユーザーに警告を表示しますが、アプリケーションの起動は許可されます。

特にジェイルブレイクデバイスでユーザーがアプリケーションを実行できるようにしたい場合は、`AllowJailBrokenDevices=ON` を設定します。

`AllowJailBrokenDevices` を ON に設定すると、ユーザーにはジェイルブレイクデバイスの使用に関する警告が表示されますが、StoreFrontまたはWeb Interfaceを介してアプリケーションを実行できます。

トラブルシューティング

アプリのバージョンを確認する方法

使用しているCitrix Workspaceアプリのバージョンを確認するには、ヘルプドキュメントの「アプリのバージョンを確認する方法」を参照してください。

最新バージョンにアップグレードする方法

Citrix Workspaceアプリを最新バージョンに手動でアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Playストアを開きます。
2. Citrix Workspaceを検索します。

   更新が利用可能な場合は、**更新**をタップします。

アプリを自動的に更新する

デフォルトでは、以下の条件が満たされるとアプリは自動的に更新されます。

- デバイスがWi-Fiネットワークに接続されている。
- デバイスが充電中である。
- デバイスがアイドル状態である（アクティブに使用されていない）。
- Citrix Workspaceアプリがフォアグラウンドで実行されていない。

> **注：**

> Google Play ストアは1日に1回アプリの更新を確認します。そのため、アプリの更新が更新キューに追加されるまでに最大24時間かかる場合があります。アプリがキューに追加されると、条件が満たされた次回の更新時に自動的に更新されます。

Citrix Workspaceアプリをリセットする方法

アプリをリセットするには、次のいずれかの操作を実行します。

- Citrix Workspaceアプリのストレージデータをクリアします。Androidデバイスの**設定** > **アプリ** > **Citrix Workspaceアプリ**を選択 > **ストレージ** > **キャッシュをクリア**に移動します。

  または

- Citrix Workspaceアプリをアンインストールし、最新の修正プログラムが適用された最新のCitrix Workspaceアプリ for AndroidをGoogle Playからインストールします。

> **注**
>
> Citrix Workspaceアプリから既存のアカウントを削除すると、アカウントがリセットされ、Citrix Workspaceアプリ自体はリセットされません。

ログを収集する方法

ログの収集は、問題の特定に役立つため重要です。バージョン24.3.5以降、ログファイルには、IT管理者とカスタマーサポートチームがシナリオをより適切に分析するのに役立つ、より包括的な情報が含まれるようになりました。

詳しくは、ヘルプドキュメントの「ログを収集する方法」の記事を参照してください。

フィードバックを提供する方法

Citrix Workspaceアプリ for Androidに関するフィードバックを送信したり、同じインターフェイスを使用して問題を報告したりできます。詳しくは、ヘルプドキュメントの「フィードバックを提供する方法」の記事を参照してください。

機能強化をリクエストする方法

Citrix Workspaceアプリ for Androidの機能強化をリクエストするには、Googleフォームに記入してください。

テクニカルプレビュー機能にアクセスする方法

テクニカルプレビューの機能については、「Features in Technical Preview」を参照してください。

EARに関するフィードバックを提供する方法

EARに関するフィードバックは、こちらから提供できます: https://forms.gle/joYc7K5teg4zcWNr7 。

一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

インストールの失敗

Citrix WorkspaceアプリがAndroid TVでデフォルトでサポートされていない場合は、機能強化リクエストを通じてお問い合わせください。

認証とストアの追加

認証またはストアの追加に関する問題が見られる場合は、以下を確認してください。

無効な入力

次のいずれかを入力した可能性があります。

- 無効な資格情報
- 不正確なストアURL
- 資格情報とストアURLの入力時のタイプミス
- HTTPSの代わりにHTTP。

ウェブインターフェース モード

「**Web Interface** モード」も試すことができます。アプリの最初のページで「**Get started**」をタップします。「**Welcome**」ページでストアURLを入力し、「**Add acount type as Web Interface**」を有効にします。

Webインターフェイス(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/webinterface.png)

スマートカード

スマートカード認証が機能しない場合は、**baiMobile Credentials** アプリをインストールしてください。baiMobile Credentials アプリがスマートカードを検出した場合は、詳細について弊社までお問い合わせください。

バイモバイル クレデンシャル(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/baimobile.png)

NetScaler® ポリシー構成

接続の問題をトラブルシューティングするには、NetScaler Gateway for mobile devices Knowledge Center の記事を参照してください。

セッション起動

セッション統計を表示するには：

- セッションツールバーから、マウス ポインター アイコンを4回タップします

  または

- セッションターミナルで `ctxsession -v` コマンドを実行します。

デスクトップの起動に失敗しました

トラブルシューティングについては、以下のKnowledge Center記事を参照してください。

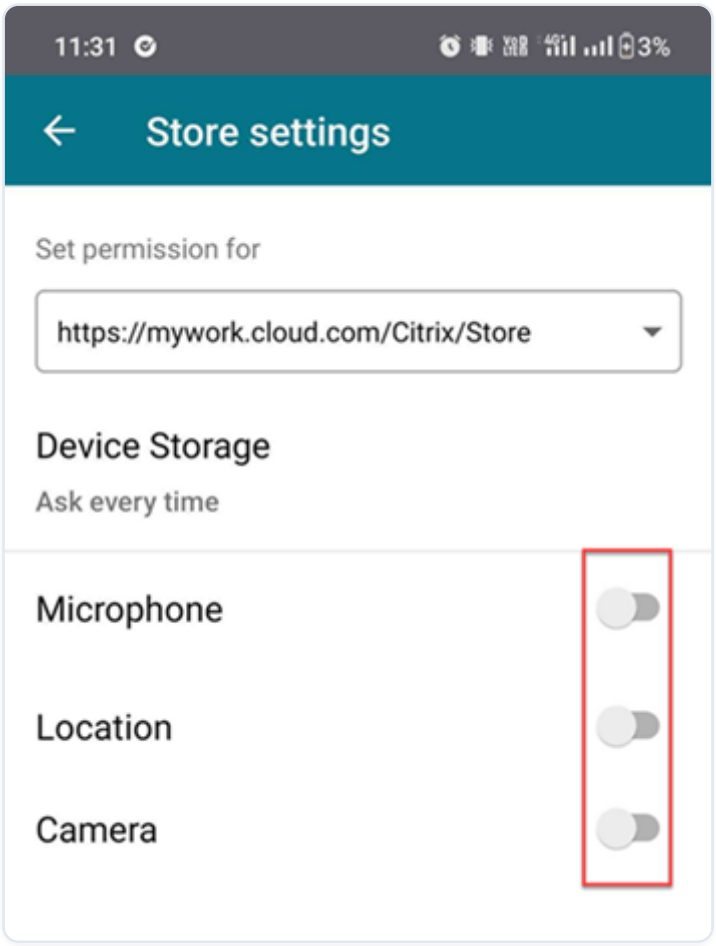
- エラーコード 2524
- エラーコード 2523
- エラーコード 2502
- エラーコード 2517

周辺機器へのアクセス権限

適切な設定権限を有効にします。

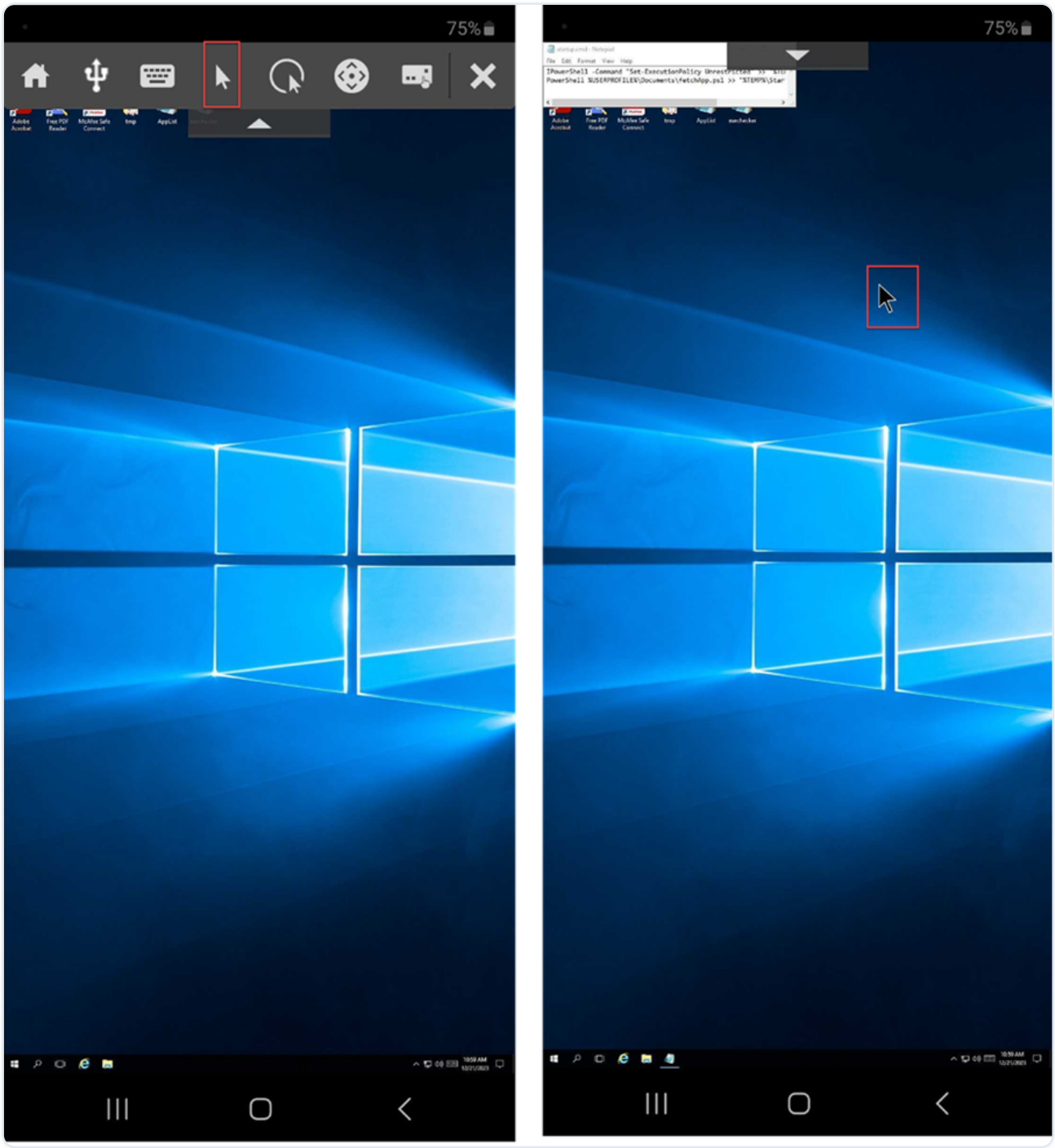
クライアント選択的信頼

マイク、位置情報、カメラの設定を有効にします。Citrix Workspaceアプリの**設定** > **ストア設定**に移動し、選択したストアのCST設定を有効にします。



マウスポインターを有効にする

セッションを開始した後、ツールバーをタップし、マウスポインターアイコンをタップしてマウスポインターを有効にします。



キーボードを有効にする

組織の管理者が自動キーボード表示機能をデフォルトで有効にしていない場合は、詳細については、組織の管理者にお問い合わせください。

管理者は、DDC設定で**自動キーボード表示**ポリシーを有効にする必要があります。

自動キーボードポリシー(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/automatic-keyboad-display-policy.png)

ジェイルブレイクされたデバイス

ジェイルブレイクされたデバイスとは、通常、セキュリティ保護を回避するために所有者によって改変されたデバイスのことです。ユーザーがジェイルブレイクされたAndroidデバイスで接続すると、展開環境にセキュリティリスクをもたらします。Citrix Workspaceアプリ for Androidがジェイルブレイクされたデバイスを検出すると、アプリはユーザーに警告を表示します。

警告(/en-us/citrix-workspace-app-for-android/media/jailbroken-alert.png)

環境のセキュリティをさらに強化するために、StoreFront™またはWeb Interfaceを構成して、検出されたジェイルブレイクされたデバイスがアプリを実行するのを防ぐことができます。

> **注：**

> Citrix Workspace™アプリは、データ保護とセキュリティ維持のため、ジェイルブレイクされたデバイスを検出すると自動的に非アクティブ化します。これにより、不正な改変が施されたデバイスでアプリが使用されることを防ぎます。

> **要件：**

- Citrix Workspaceアプリ for Android 24.7.0以降。
- 管理者アカウントによるStoreFrontまたはWeb Interfaceへのアクセス。

詳細については、ジェイルブレイクされたデバイスを参照してください。

オールウェイズ オン トレーシング (AOT)

バージョン26.3.0 (2603)以降、Citrix Workspaceアプリ for AndroidはAlways On Tracing (AOT)をサポートし、ユーザーセッションおよびシステムイベントの診断ログを継続的にキャプチャすることで、トラブルシューティングを簡素化し、Citrixサポートへの依存を軽減します。

詳細については、Citrix Virtual Apps and Desktops™ドキュメントのCitrix Virtual Apps and Desktopsコアコンポーネントからの AOTログのアップロードを参照してください。

よくある質問

- 低電力デバイスまたはモバイルデバイス向けに、仮想アプリおよび仮想デスクトップのビデオユーザーエクスペリエンスを向上させるにはどうすればよいですか？

  - 詳細については、ビデオユーザーエクスペリエンス Knowledge Centerの記事を参照してください。

- リソースへのアクセス - Citrix Workspaceアプリにサインインした後、アプリやデスクトップが表示されません。
  - 詳細については、会社のヘルプデスクまたはITサポートチームの管理者に問い合わせてください。
- 低速な接続をトラブルシューティングするにはどうすればよいですか？
  - 次のいずれかの問題が発生した場合は、回避策に従ってください。
  - Citrix Virtual Apps and Desktopsサイトへの接続が遅い
  - アプリケーションアイコンが見つからない
  - 繰り返し発生する**プロトコルドライバーエラー**メッセージ

  回避策：

  - 次のネットワークインターフェイスで**Citrix PV Ethernet Adapter**のプロパティを無効にします。
  - シトリックス バーチャル アプリ™ サーバー
  - シトリックス セキュア ウェブ ゲートウェイ™
  - ウェブインターフェース サーバー
  - **Citrix PV Ethernet Adapter**のプロパティには（すべてデフォルトで有効）：
  - ラージセンドオフロード
  - IPチェックサムオフロード
  - TCPチェックサムオフロード
  - UDPチェックサムオフロード

  サーバーの再起動は不要です。この回避策は、Windows Server 2003および2008 32ビットに適用されます。この問題は、Windows Server 2008 R2には影響しません。
- 数字キーと特殊文字に関する問題
  - 数字キーまたは中国語IME文字が正しく機能しない場合は、**Unicodeキーボード**オプションを無効にします。そのためには、**設定** > **キーボードオプション** > に移動し、**Unicodeキーボードを使用**を**無効**に設定します。

エラーコードのトラブルシューティング

次の表に、エラーコードとその考えられる解決策を示します。

エラーコード	KNOWLEDGE CENTERの記事
エラーコード 437	https://support.citrix.com/article/CTX463401
エラーコード 41E	https://support.citrix.com/article/CTX235177
エラーコード 546 または 547	https://support.citrix.com/article/CTX231798
エラーコード 518	https://support.citrix.com/article/CTX277571
エラーコード 42B	https://support.citrix.com/article/CTX260992
エラーコード 548	https://support.citrix.com/article/CTX250706
	https://support.citrix.com/article/CTX578359
不正なサーバーアドレス + エラーコード 548	https://support.citrix.com/article/CTX554245
エラーコード 451	https://support.citrix.com/article/CTX256708
一般エラー	(https://support.citrix.com/article/CTX219073/error-general-error-while-launching-applications-through-android-receiver)
もう一度接続を試してください	UDPオプションを無効にします。アプリの**設定** > **詳細設定** > **EDT**に移動します。

エラーメッセージと説明

以下の表にエラーと説明の一覧を示します。考えられる解決策は、さらなる支援のためにCitrix Technical supportに連絡することです。

エラー	説明
SessionManager.Launch.EngineLoadFailed	ICAエンジンがロード/初期化に失敗しました。
SessionManager.Launch.ConnectionFailed	ICAエンジンは接続する前に終了しました。

エラー	説明
SessionManager.Launch.LogonFailed	ログインを完了せずにセッションが切断されました
SessionManager.LeaseResolution.Failed	リース起動を試行できません。
SessionManager.clxmtp.SoftDeny	Engine CLXMTP ネゴシエーションに失敗しました (ソフト拒否)。
SessionManager.clxmtp.SoftDeny_Implicit	Engine CLXMTP 接続に失敗しました (暗黙的なソフト拒否)。
Transport.Connect.NoCGP_Fail	接続に失敗しました (CGP が無効です)。
Transport.Connect.FallbackFail	接続に失敗しました。ICA フォールバックを試行しました。
Transport.Connect.Fail	接続が利用できません。

Citrix トラブルシューティング接続

Citrix トラブルシューティング接続機能は、エンドユーザーがデスクトップまたはアプリケーションの起動失敗の可能性を効果的に自己トラブルシューティングできるように設計されています。この機能強化は、ユーザーに明確な診断、潜在的な推奨事項、および簡単なクリックで修正を実行する機能を提供することを目的としています。

仕組み

この機能は、より詳細で強化されたエラーメッセージを提供し、ユーザーが起動失敗の根本原因を明確に理解できるようにします。トラブルシューティング接続機能は、起動プロセス中に Virtual Delivery Agent (VDA) への接続の問題をリアルタイムで分析します。その後、ユーザーフレンドリーなエラーメッセージと推奨事項を提示し、ユーザーが問題を直接解決するか、必要に応じてサポートチケットのためにログを収集できるようにします。

分析された接続パス

この機能は、以下を含む重要な接続ポイントにおける仮想アプリおよびデスクトップの起動に関する潜在的な問題を診断します。

- クライアントからゲートウェイへのネットワーク接続。
- ゲートウェイからStoreFrontサーバーへの接続。

- StoreFrontサーバーからBrokerへの接続。
- BrokerからVDAへの接続。

強化されたエラーメッセージと診断

起動に失敗した場合、Citrixは、ネットワークエラー、サーバーの利用不可、VDA障害など、特定の接続問題を特定する明確でユーザーフレンドリーなエラーメッセージを表示するようになりました。管理者向けには、詳細なエラーコードがログに提供され、サーバー側とクライアント側のエラーに分類されており、詳細な調査のための貴重な参照情報として役立ちます。

自己回復と修復アクション

Citrix Troubleshoot Connection機能には、ユーザーが一般的な問題から自動的に回復するための手順が含まれており、サポート介入の必要性を最小限に抑えます。ガイド付き修復で解決できる潜在的な問題は次のとおりです。

- VDAを再起動する
- Citrix Workspaceアプリを再起動します。つまり、Citrix Workspaceアプリに再度ログインします。
- リソースリストを更新する
- アプリを更新して再試行する
- ストアを再構成する
- Citrix Workspaceアプリをアップグレードする
- Citrix Workspaceアプリを再インストールする
- ネットワークを確認する
- 待機して再試行する

システム要件

接続トラブルシューティング機能を使用するには、以下のCitrix Workspaceアプリのバージョンが必要です。

Android向けCitrix Workspaceアプリ: バージョン25.9.0以降

> **注:**

エラーメッセージには、エラーコードセクションのクラウドストアのサーバーエラーコードが含まれています。

接続トラブルシューティング機能は、DaaS環境でデフォルトで有効になっています。ブラウザで起動されたセッションとCitrix Workspaceアプリで開始されたセッションの両方で、詳細なエラーメッセージと推奨事項が利用できます。エラーコードとトランザクションIDは、管理者参照用にログに記録されます。エラーコードは、サーバー側またはクライアント側に分類されます。特定のエラーについては、Virtual Delivery Agent (VDA) を再起動する修復オプションが提供されます。この機能はハイブリッドモードのセッションをサポートしていません。たとえば、ブラウザでICAファイルをダウンロードし、そのファイルをCitrix Workspaceアプリを使用して開く場合には使用できません。

SDK と API

シトリックス仮想チャネルソフトウェア開発キット (SDK)

Citrix Virtual Channel SDKは、ICAプロトコルを使用して、サーバー側アプリケーションと他の仮想チャネル用のクライアント側ドライバーの作成をサポートします。サーバー側の仮想チャネルアプリケーションは、Citrix Virtual Apps and Desktopsサーバー上にあります。

このバージョンのSDKは、Citrix Workspaceアプリ for Android用の新しい仮想チャネルの作成をサポートします。他のクライアントプラットフォーム用の仮想ドライバーを作成する場合は、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。

Virtual Channel SDKは以下を提供します。

- Citrix Android Virtual Driver AIDLインターフェイス: **IVCService.aidl**および**IVCCallback.aidl**。これらは、Citrix Server API SDK (WFAPI SDK)の仮想チャネル機能と組み合わせて新しい仮想チャネルを作成するために使用されます。
- 独自の仮想チャネルの作成を容易にするために設計されたヘルパークラス**Marshall.java**。
- プログラミング手法を示す3つの仮想チャネルサンプルプログラムの動作するソースコード。

Virtual Channel SDKは、仮想チャネルのサーバー側を記述するためにWFAPI SDKを必要とします。SDKドキュメントの詳細については、Citrix Workspaceアプリ for Android用Citrix Virtual Channel SDKを参照してください。

非推奨

この記事のお知らせは、段階的に廃止されるプラットフォーム、Citrix®製品、および機能について事前に通知するものです。これらのお知らせを利用することで、タイムリーなビジネス上の意思決定を行うことができます。

Citrix は、顧客の使用状況とフィードバックを監視し、それらがいつ廃止されるかを決定します。お知らせは、その後のリリースで変更される可能性があり、すべての非推奨の機能や機能性を含まない場合があります。

非推奨の項目はすぐに削除されません。Citrix はこのリリースでは引き続きそれらをサポートしますが、将来的に削除されます。

項目	非推奨が発表されたCITRIX WORKSPACEアプリのバージョン	削除されたCITRIX WORKSPACEアプリのバージョン	代替
EDT ユーザー設定	26.7.0	27.3.0	管理者設定として利用可能
Metro アプリ	25.9.0	26.3.0	-
Citrix キャスティング	25.9.0	26.3.0	-
Android バージョン 13.0 より前のオペレーティングシステム	25.9.0	26.3.0	Android バージョン 14.0 以降がサポートされます
Android バージョン 12.0 より前のオペレーティングシステム	24.5.0	24.7.0	Android バージョン 12.0 以降がサポートされます

項目	非推奨が発表されたCITRIX WORKSPACEアプリのバージョン	削除されたCITRIX WORKSPACEアプリのバージョン	代替
TLS 1.0 および TLS 1.1 プロトコルのサポート	24.4.0	24.12.0	TLS 1.2 または TLS 1.3 プロトコル
XenApp Services (PNAgent としても知られています)	24.3.5	今後のリリース	Workspaceアプリ内で、XenApp Services URLではなくストアURLを使用してストアに接続します
バージョン9.0より前のAndroidオペレーティングシステム	24.1.0	24.3.0	Androidバージョン9.0以降がサポートされています
ChromeOS上のAndroid向けCitrix Workspaceアプリ	23.8.0	23.12.0	ChromeOSでCitrix Workspaceアプリを使用するには、拡張機能をインストールしてください。
インテリジェンスを備えたWorkspace	-	23.2.0	-
Android Enterpriseのサポート	-	23.2.0	-
モバイルワークスペースエクスペリエンス	-	23.2.0	-
RSA SecurID認証	2008	-	-
バージョン7.0より前のAndroidオペレーティングシステム	1903	1906	バージョン7.0 (Nougat) 以降がサポートされています